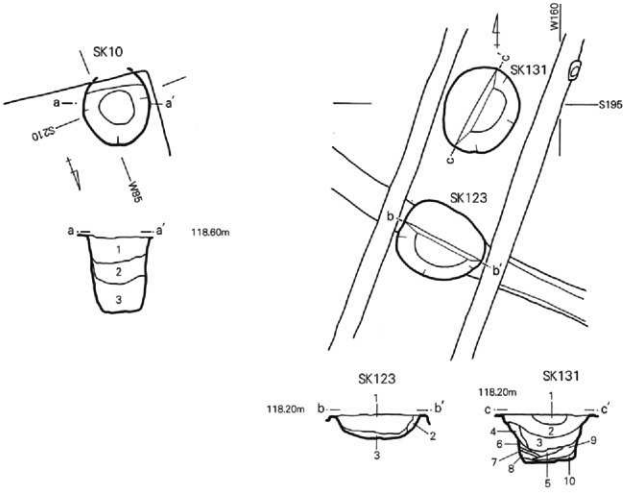
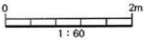
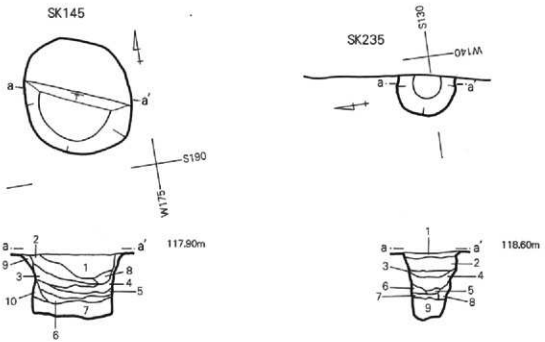


遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK10	1	7.5YR2/2 黒褐色	砂質土	φ＝5～10mm、8cm大の地山ブロック（10YR4/6）を含む。
	2			1と3の中間。
	3	7.5YR2/2 黒褐色	砂質土	地山ブロックがまだら状に混在。

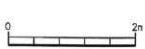
遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK123	1	10YR2/1 黒色	シルト	地山（10YR4/4）土ブロック状混入有。礫2点混入。その他遺物なし。
	2	10YR2/1 黒色	シルト	
	3	10YR3/1 黒褐色	シルト	地山（10YR4/4）土粒混入有。同ブロック状混入少量みられる。
SK131	1	10YR2/1 黒色	シルト質土	地山砂粒（10YR4/4）が少量混入。
	2	10YR2/1 黒色	シルト質土	地山砂粒（10YR4/4）が少量混入。
	3	10YR3/1 黒褐色	シルト質土	地山砂粒（10YR4/4）が少量混入。色調やや赤味が強い。
	4	10YR3/2 黒褐色	シルト質土	地山砂粒（10YR4/4）が少量混入。又、ブロック状混入も少量あり。
	5	10YR2/1 黒色	シルト質土	地山砂粒（10YR4/4）が微量混入。
	6	10YR3/3 暗褐色	砂質土（細砂）	地山砂粒（10YR4/4）が少量混入。
	7	10YR2/2 黒褐色	シルト質土	地山砂粒（10YR4/4）が多量混入。
	8	10YR4/4 褐色	砂質土	黒色ブロックがまじる。
	9	10YR3/1 黒褐色	砂質シルト	地山の崩落土（10YR4/4）が多量混入。
	10	10YR3/1 黒褐色	砂質シルト	地山崩落土（10YR4/4）が少量混入。



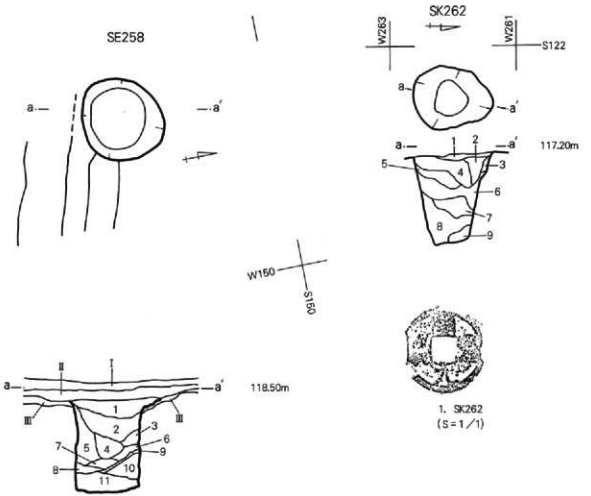
第46図　吉原Ⅰ遺跡SK10・123・131土坑



遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK145	1	10YR2/3　黒褐色	砂質土	均一。ややゆるい。
	2	10YR2/2　黒褐色	砂質土	10YR5/4砂礫の粒（1～5cm）を含む。
	3	10YR3/1　黒褐色	砂質土	均一。しまる。
	4	10YR2/3　黒褐色	砂質土	7.5YR4/4砂質土の粒子（5～8mm）を含む。
	5	10YR2/3　黒褐色	砂質土	10YR5/2砂質土（地山土）などか、層状に混じる。
	6	10YR2/1　黒色	砂質土	10YR5/4砂礫の粒（3～5cm）を少々含む。
	7	7.5YR3/2　黒褐色	砂質粘土	均一。しまる。
	8	10YR3/1　黒褐色	砂質土	均一。しまる。
	9	10YR3/1　黒褐色	砂質土	地山土（10YR4/3砂質土）の崩落混じる。
	10	10YR3/1　黒褐色	砂質土	地山土を少々混じる。
SK235	1	10YR2/2　黒褐色	土	7.5YR4/6土粒・同ブロックを少量含む。
	2	10YR2/2　黒褐色	土	1よりやや暗い色調。7.5YR4/6土粒（2～5mm大）を1よりやや少なく含む。
	3	10YR2/2　黒褐色	土	7.5YR4/6土粒・同ブロックを中程度含む。
	4	10YR2/2　黒褐色	土	7.5YR4/6土粒（2～3mm大）をわずかに含む。
	5	7.5YR3/4　暗褐色	砂	10YR2/2土粒、7.5YR4/6土粒を少量含む。
	6	10YR2/2　黒褐色	土	10YR5/4土を斑状に中程度含む。
	7	10YR2/2　黒褐色	土	7.5YR4/6褐色土を斑状に6より多く含む。
	8	10YR4/4　褐色	細砂	10YR2/2土ブロックを少量含む。
	9	10YR2/2　黒褐色	土	10YR5/4土ブロックを少量含む。

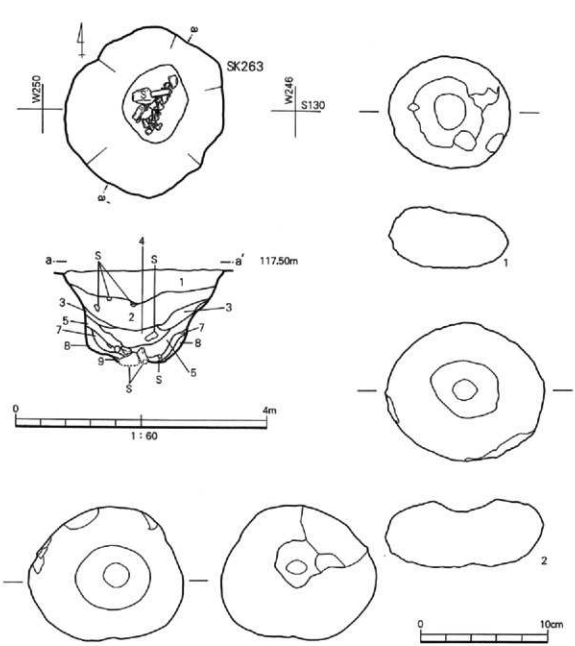


第47図　吉原Ⅰ遺跡SK145・235土坑



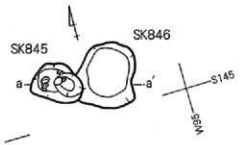
遺構番号	層位	土色	土質	備考
SE258	Ⅰ	10YR3/2 黒褐色	土	小礫を少量含む。
	Ⅱ	10YR3/2 黒褐色	土	10YR5/6土粒（2～3mm大）をわずかに含む。小礫を含む。Ⅰよりやや暗い色調。
	Ⅲ	10YR4/4 褐色	微砂	10YR3/2土を斑状に中程度含む。
	1	10YR2/2 黒褐色	土	10YR4/4土粒（1～3mm大）を少量含む。小丸礫（1～5mm大）を中程度含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	土	10YR4/4土粒をⅠよりやや多く含む。Ⅰよりもやや暗い色調。
	3	10YR3/1 黒褐色	土	10YR3/3混砂細砂を斑状に中程度含む。
	4	10YR3/2 黒褐色	土	10YR4/4土粒・同ブロック、10YR6/4土粒・同ブロックを少量含む。
	5	10YR3/3 暗褐色	土	10YR2/2土粒・同ブロック、10YR4/4土粒・同ブロックを少量含む。丸礫を少量含む。
	6	10YR3/2 黒褐色	土	10YR4/4細砂を斑状に多く含む。丸礫をやや多く含む。
	7	10YR3/3 暗褐色	土	10YR4/4細砂粒、10YR4/4土粒を中程度含む。丸礫を少量含む。
	8	10YR4/4 褐色	土	10YR3/2土粒を中程度含む。丸礫を少量含む。
	9	10YR2/1 黒色	土	10YR4/4土粒を少量含む。
	10	10YR4/4 褐色	細砂	10YR3/2黒褐土粒・同ブロック、10YR4/4土粒・同ブロックを中程度含む。
	11	10YR3/2 黒褐色	土	10YR4/4褐色土ブロック、10YR4/4細砂ブロックを中程度含む。
SK262	1	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト	地山粒（2～4 mm大）を中程度含む。炭化粒をわずかに含む。
	2	10YR4/4 褐色	砂質シルト	10YR2/2黒褐色砂質土粒を中程度含む。
	3	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト	地山粒を少量含む。
	4	10YR2/3 黒褐色	砂質シルト	地山粒・同ブロックを中程度含む。炭化粒を少量含む。
	5	10YR2/3 黒褐色	砂質土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	6	10YR2/3 黒褐色	砂質土	地山粒・同ブロックを4 より多く含む。
	7	10YR5/6 黄褐色	砂質シルト	10YR2/3黒褐色砂質土ブロックを少量含む。
	8	10YR2/2 黒褐色	砂質土	10YR5/6黄褐色砂質シルト粒、同ブロックを多量に含む。
	9	10YR2/3 黒褐色	砂質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。

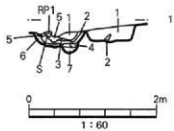
第48図　吉原Ⅰ遺跡SE258井戸跡・SK262土坑・出土遺物

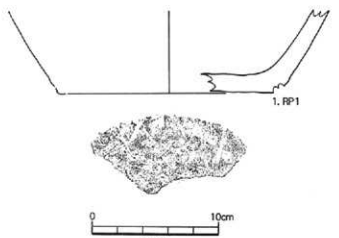


第49図　吉原Ⅰ遺跡SK263土坑・出土遺物

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK263	1	10YR2/3	黒褐色	土	地山粒、礫（5cm前大）を少量含む。10YR2/1黒色土ブロックをわずかに含む。炭化粒を少量含む。
	2	10YR2/3	黒褐色	土	1よりやや明るい色調。ぼそぼそしている。炭化粒・地山粒を少量含む。小礫を含む。砂まじりでざらざらしている。
	3	7.5YR3/3	黒褐色	土	地山粒を中程度含む。10YR2/2黒褐色土粒（2～4mm大）を少量含む。（壁の崩落土）
	4	10YR2/3	黒褐色	土	地山粒・炭化粒を少量含む。礫（5～10mm大）を多く含む。
	5	10YR5/8	黄褐色	粘質土	10YR5/6黄褐色崩砂粒・褐ブロック。10YR2/3黒褐色土粒を少量含む。（壁の崩落土）
	6	7.5YR4/4	褐色	土	砂まじり。ざらざらしている。
	7	7.5YR3/2	黒褐色	土	炭化粒をわずかに含む。地山粒（2～3mm大）を少量含む。
	8	10YR4/6	褐色	土	砂まじり。10YR2/3黒褐色土粒を少量含む。
	9	10YR3/2	黒褐色	土	地山粒を少量含む。

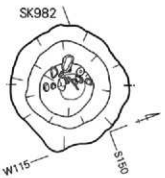


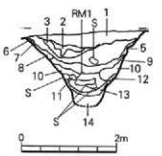




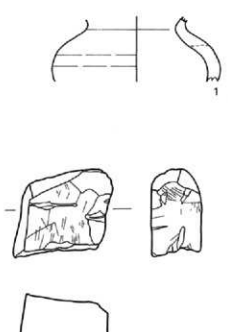
第50図　吉原Ⅰ遺跡SK845・846土坑・出土遺物

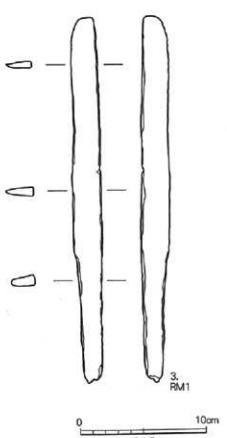
遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK845	1	7.5YR2/1　黒色	土	ほぼ均質。焼土粒（φ2～3mm）含む。(1%)
	2	10YR2/1　黒色	土	ほぼ均質。焼土粒（φ2～4mm）含む。(1%)
	3	10YR2/1　黒色	土	焼土まじる。にごる。
	4	10YR2/1　黒色	土	均質。
	5	鉄分層		10YR2/2土まじる。にごる。
	6	鉄分層		ほぼ均質。
	7	10YR2/2　黒褐色	土	鉄分多量に含む。
SK846	1	10YR2/2　黒褐色	土	ほぼ均質。礫(φ 2mm）まじる。
	2	10YR2/1　黒色	土	均質。



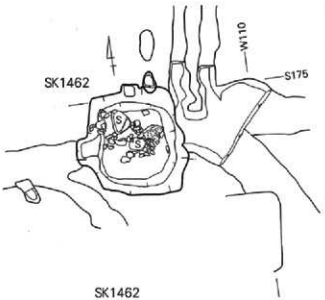


遺構番号	層位	土　色	土質	備　考
SK982	1	10YR2/2　黒褐色	土	10YR5/6土粒状（φ5～10mm）に含む（1%）礫（φ2～5mm）含む。10YR2/1土粒状（φ5mm）に含む（1%）　地土粒（φ1mm）含む（1%）
	2	7.5YR2/1　黒色	シルト	10YR5/6土粒状（φ5～20mm）に含む（1%）
	3	7.5YR2/1　黒色	土	10YR5/6土まだらに含む。（30%）
	4	7.5YR2/1　黒色	シルト	ほぼ均質。
	5	10YR2/1　黒色	シルト	10YR5/6土粒状（φ20mm）若干含む。
	6	10YR5/6　黄褐色	細砂	10YR2/2土まだらにまじる（40%）
	7	10YR5/6　黄褐色	細砂	均質。
	8	10YR2/1　黒色	土	10YR5/6細砂まだらにまじる（40%）
	9	7.5YR2/1　黒色	シルト	7.5YR3/1シルトまだらにまじる。（10%）　全体的に非常に粘性が強い。
	10	7.5YR2/1　黒色	シルト	均質。
	11	7.5YR2/1　黒色	シルト	10YR5/6細砂粒状（φ10～30mm）に含む。（5%）
	12	10YR2/1　黒色	土	砂まじり。地山粒・岡ブロックを少量含む。河原石（15～30cm大）を含む。
	13	10YR3/4　暗褐色	砂	10YR2/1土粒を少量含む。
	14	10YR2/1　黒色	土	10YR3/4砂粒・岡ブロック、地山粒・岡ブロックを多く含む。

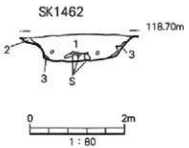


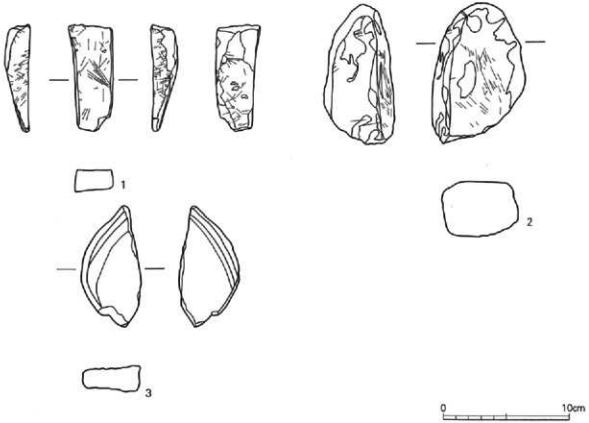


第51図　吉原Ⅰ遺跡SK982土坑・出土遺物

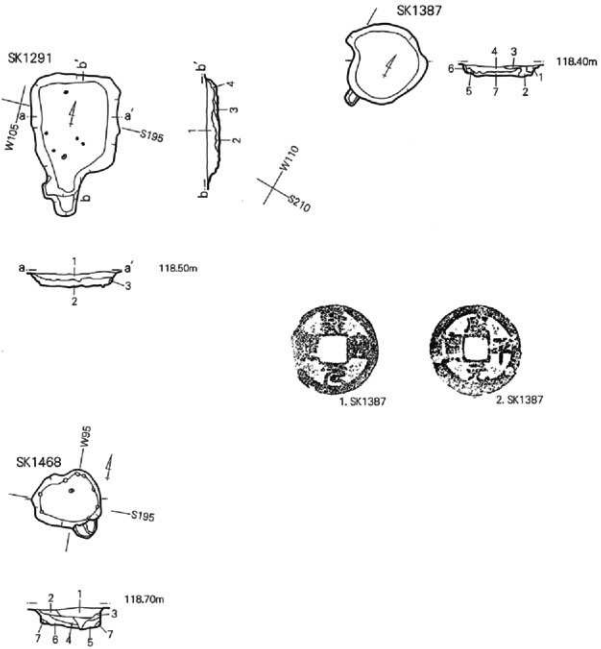


遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK1462	1	10YR2/2 黒褐色	土	10YR2/3土含む。10YR4/3土粒状(φ20mm)に含む。(1%) 砂まじる。炭化粒(φ1mm)含む。(1%)
	2	10YR2/2 黒褐色	土	10YR4/4砂まじる。
	3	10YR4/4 褐色	砂	10YR2/2土粒状(φ20mm)に含む。(1%)礫(φ20mm)含む。





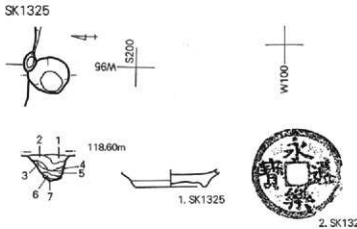
第52図　吉原Ⅰ遺跡SK1462土坑・出土遺物



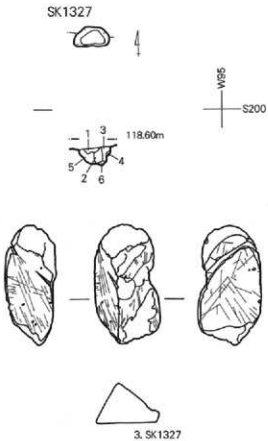
遺構番号	層 位	土 色	土 質	備 考
SK1291	1	10YR2/2 黒褐色	＋	10YR4/4土粒状（φ 10mm）に含む（2%） 褐（φ 2mm）含む。
	2	7.5YR2/2 黒褐色	＋	10YR4/4土粒状（φ 5mm）に含む（5%）
	3	10YR2/2 黒褐色	＋	砂質。
	4	10YR2/2 黒褐色	＋	10YR4/4土粒状（φ 10～30mm）に含む。（5%）
SK1387	1	10YR2/2 黒褐色	粉質土	φ 5mm～1cm前後の地山ブロック（10YR5/6）ところどころにあり。（SP1412覆土）
	2	10YR3/2 黒褐色	粉質土	φ 2cm前後の地山ブロック（10YR5/6）あり。地山粒（10YR4/4）極めて多量。（SP1424覆土）
	3	10YR2/2 黒褐色	十質砂	φ 5mm前後の地山ブロック（10YR4/4）少量。地山粒（10YR4/4）微量。
	4	10YR2/3 黒褐色	粉質土	φ 5mmの炭粉末あり。φ 5mm前後の地山ブロック（10YR4/4）全体にあり。地山粒やや少量。炭化物少量。
	5	10YR2/3 黒褐色	粉質土	φ 5mm前後の地山ブロック（10YR4/4）全体にあり。地山粒（10YR4/4）多量。
	6	10YR5/6 黄褐色	十質砂	地山。
	7	10YR2/3 黒褐色	粉質土	φ 5mm～1cmの地山ブロック（10YR4/4）やや多量。地山粒（10YR4/4）極めて多量。炭化物少量。
SK1468	1	10YR2/3 黒褐色	＋	地山粒・炭化粒を少量含む。
	2	10YR3/3 暗褐色	＋	地山粒・同ブロックを中程度含む。炭化粒を含む。
	3	10YR3/3 暗褐色	＋	地山粒・炭化粒を少量含む。
	4	10YR3/3 暗褐色	＋	地山粒・同ブロックをやや多く、炭化粒を少量含む。
	5	10YR3/3 暗褐色	＋	地山粒・同ブロックを中程度含む。
	6	10YR3/3 暗褐色	粉質土	地山粒・同ブロックを多く含む。炭化粒を少量含む。
	7	7.5YR4/4 褐色	粉質土	地山粒・同ブロックを中程度炭化粒を少量含む。

0　2m
1：80

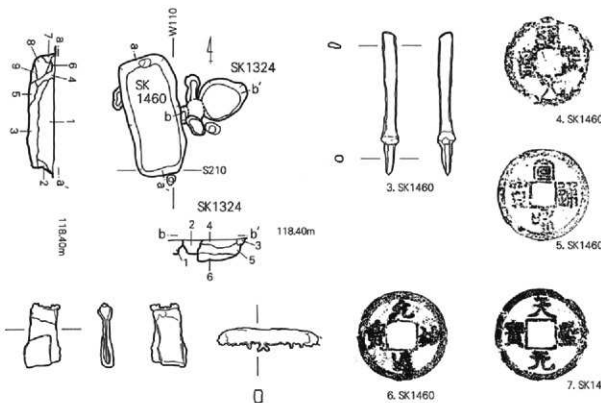
第53図　吉原Ⅰ遺跡SK1291・1387・1468土坑・出土遺物

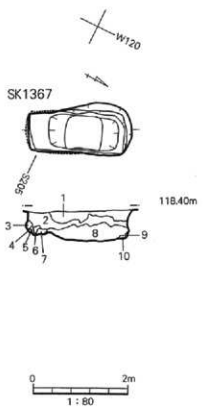


遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK1325	1	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	2	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	3	10YR3/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	4	10YR2/1　黒色	土	10YR3/2土ブロック、地山粒・同ブロックを少量含む。炭化粒をわずかに含む。
	5	10YR2/2　黒褐色	土	ややにぶい色調。10YR2/1土粒・同ブロック、地山粒・同ブロックをやや多く含む。
	6	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	7	10YR3/4　暗褐色	砂質土	地山粒・同ブロックを多く含む。
SK1326	1	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックをやや多く含む。
	2	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
	3	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒を少量含む。
	4	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	5	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
	6	10YR5/6　黄褐色	土	10YR2/3土粒・同ブロックを少量含む。
	7	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒を少量含む。
SK1327	1	10YR2/2　黒褐色	土	10YR2/1土粒・同ブロック、地山粒・同ブロックをやや多く含む。
	2	10YR3/3　暗褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。柱痕跡
	3	10YR2/2　黒褐色	土	やや明るい色調。地山粒・同ブロックを中程度含む。
	4	10YR3/3　暗褐色	土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	5	10YR5/6　黄褐色	土	10YR2/1土粒・同ブロック、地山粒・同ブロックをやや多く含む。
	6	10YR4/6　褐色	土	10YR2/2土粒・同ブロックを少量含む。



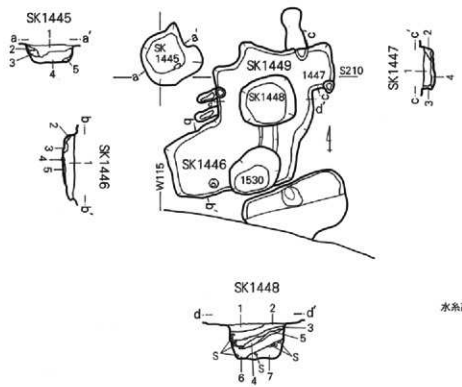
第54図　吉原Ⅰ遺跡SK1325・1326・1327土坑・出土遺物



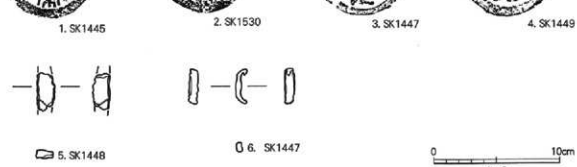


遺構番号	層位	土　色	土質	備　考
SK1460 a-a'	1	10YR2/2 黒褐色	砂質土	地山砂粒混入少量。地山砂小ブロック混入少量。（炭土上層より古銭出土）炭化物片混入少量。
	2	10YR3/2 黒褐色	砂質土	地山砂粒混入少量。地山砂小ブロック混入やや多量。炭化物片混入少量。
	3	10YR2/2 黒褐色	砂質土	1層と比べ黒味が強い。地山砂粒混入少量。地山砂小ブロック混入やや多量。黒褐土小ブロック状混入少量（10YR3/1）
	4	10YR2/2 黒褐色	砂質土	地山砂粒混入多量。地山砂小ブロック状混入やや多量。炭化物片混入少量。
	5	10YR3/2 黒褐色	砂質土	地山砂粒混入多量。地山砂小ブロック状混入やや多量。炭化物片混入少量。
	6	10YR3/2 黒褐色	砂質土	地山砂粒混入多量。地山砂小ブロック状混入多量。
	7	10YR2/3 黒褐色	砂質土	地山砂粒混入やや多量。地山砂小ブロック状混入少量。
	8	10YR3/3 暗褐色	砂質土	地山砂粒混入多量。地山砂小ブロック状混入極めて多量。径100mm大のブロックも含む。黒褐土（10YR2/2）小ブロック状混入少量。炭化物片微量混入。
	9	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質土	地山砂粒混入多量。地山砂小ブロック状混入極めて多量。炭化物片微量混入。
SP1507	1	10YR2/2 黒褐色	砂質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。炭化粒を含む。SP1506を切る。
SP1506	2	10YR2/2 黒褐色	砂質土	地山粒・同ブロックを1より多く含む。炭化粒を含む。
SK1324 b-b'	3	10YR2/2 黒褐色	砂質土	地山粒・同ブロック、炭化粒を少量含む。
	4	10YR2/2 黒褐色	砂質土	地山粒・同ブロックを3より多く含む。炭化粒を含む。
	5	10YR2/2 黒褐色	砂質土	4よりも地山粒・同ブロックを多く含む。炭化粒を含む。
	6	10YR5/6 黄褐色	砂質土	10YR2/2土粒・同ブロックを中程度含む。
SK1367	1	10YR2/2 黒褐色	砂質土	地山ブロック（φ5mm前後・10YR5/4）少量。地山粒全体にあり。
	2	10YR2/3 黒褐色	砂質土	地山ブロック（φ5mm～3cm・10YR5/4）やや少量。地山粒全体にあり。
	3	10YR3/2 黒褐色	砂質土	地山ローム粒やや多量。
	4	10YR3/2 黒褐色	砂質土	地山粒極めて多量。
	5	10YR2/2 黒褐色	砂質土	地山ブロック（φ3cm前後・10YR5/4）あり。地山粒少量。
	6	10YR3/1 黒褐色	シルト	地山ブロック（φ3mm前後・10YR5/4）あり。地山粒少量。
	7	10YR1.7/1黒色	シルト	地山ブロック（φ1cm前後・10YR5/4）多量。
	8	10YR3/2 黒褐色	シルト	地山ブロック（φ1cm前後・10YR5/4）多量。地山粒多量。
	9	10YR3/1 黒褐色	砂質土	地山ブロック（φ5mm前後・10YR5/4）あり。地山粒あり。
	10	10YR3/2 黒褐色	砂質土	均質。

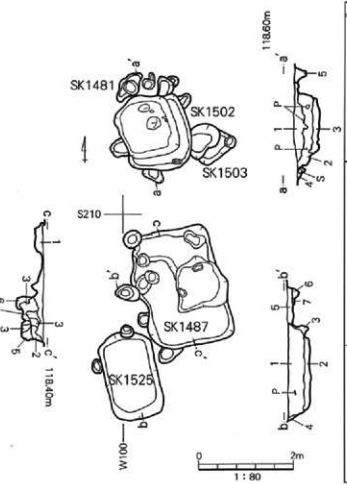
第55図　吉原Ⅰ遺跡SK1460・1324・1367土坑・出土遺物



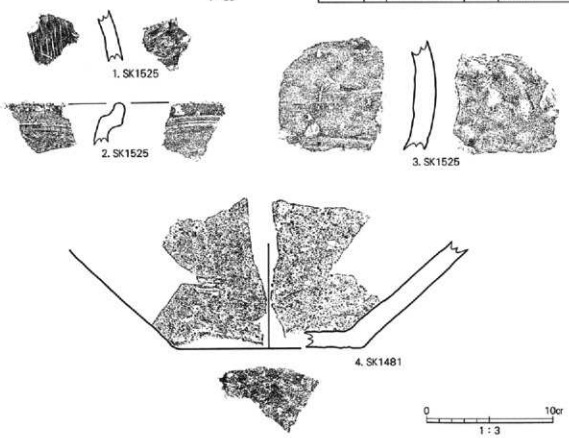
遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK1445	1	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒・岡ブロックを少量含む。焼土粒、炭化粒を含む。
	2	10YR3/3 暗褐色	土	やや黄色い色調。地山粒・岡ブロックを多く含む。
	3	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒・岡ブロックを中程度含む。下層に黒山大ブロックを含む。
	4	10YR3/2 黒褐色	砂質土	地山粒・岡ブロック、10YR2/2土粒・岡ブロックをやや多く含む。下部はやや明るい色調。
	5	10YR4/6 褐色	崩落	10YR3/2砂質土粒を少量含む。
SK1446	1	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒・岡ブロックを中程度含む。炭化粒を含む。
	2	10YR5/6 黄褐色	砂質土	ブロックの混入。
	3	10YR3/3 暗褐色	砂質土	地山粒・岡ブロックを中程度やや多く含む。
	4	10YR3/4 暗褐色	砂質土	地山粒・岡ブロックを中程度含む。
	5	10YR5/8 黄褐色	土	10YR2/2小粒・岡ブロックを中程度含む。
SK1447	1	10YR3/1 黒色	砂質土	地山砂粒混入やや多量。地山砂ハブロック状混入少量。
	2	10YR3/1 黒褐色	砂質土	地山砂粒混入やや多量。地山砂小ブロック状混入少量。
	3	10YR2/1 黒色	砂質土	地山砂粒混入やや多量。地山砂小ブロック状混入微量。
	4	10YR2/1 黒色	砂質土	地山砂粒混入多量。地山砂ハブロック状混入多量。
SK1448	1	10YR3/3 暗褐色	砂質土	地山粒・岡ブロック、炭化粒・岡ブロックを多く含む。
	2	10YR3/4 暗褐色	砂質土	地山粒・岡ブロック、上より多く含む。炭化粒、丸礫（2～5mm大）を含む。
	3	10YR3/4 暗褐色	砂質土	2よりやや明い色調。地山粒・岡ブロックを多く含む。炭化粒を少量含む。
	4	10YR3/4 暗褐色	砂質土	粘質が入る。炭化粒を少量含む。地山粒を多量に混入する。
	5	10YR3/3 黒褐色	砂質土	地山粒・岡ブロックを中程度含む。炭化粒を少量含む。
	6	10YR3/4 暗褐色	砂質土	地山粒・岡ブロック、10YR2/3砂質土粒・岡ブロックを多く含む。
	7	10YR3/4 暗褐色	砂質土	丸礫（3～6cm大）を多く土層に含む。地山粒・岡ブロックを中程度含む。



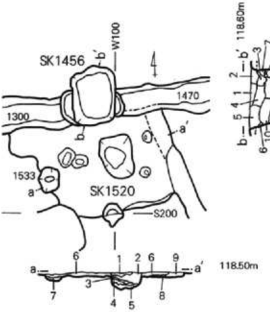
第56図　吉原Ⅰ遺跡SK1445・1446・1447・1448・1449土坑・出土遺物

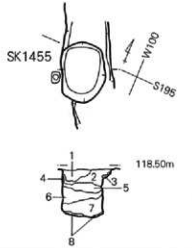


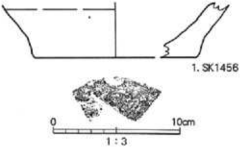
遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK1481 a	1	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。炭化粒を少量含む。青銅系、鉄クズ片を含む。
	2	10YR2/3 黒褐色	砂質土	10YR2/1土粒・同ブロック、地山粒・同ブロックを多く含む。炭化粒を少量含む。土器片を含む。
	3	10YR4/6 褐色	砂質土	10YR2/3砂質土粒・同ブロック、10YR2/1土粒・同ブロックを少量含む。
	4	10YR2/3 黒褐色	砂質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
	5	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
SK1525 b	1	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒・同ブロック、10YR2/1土粒・同ブロックを中程度含む。炭化粒を含む。土器片を含む。
	2	10YR4/4 褐色	砂質土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	3	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒・同ブロックを多量に含む。SPか。
	4	10YR4/6 褐色	土	10YR2/2土粒・同ブロックを中程度含む。
	5	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒・同ブロック、10YR2/1土粒・同ブロックを中程度含む。炭化粒を含む。
	6	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒、10YR2/1土粒を少量含む。
	7	10YR6/8 明黄褐色	土	10YR2/2土粒をわずかに含む。(地山の可能性あり)
SK1487 c	1	10YR2/2 黒褐色	土	10YR4/4砂粒状(φ5～10mm)に含む。(10%) 炭化物粒状(φ2～5mm)に含む。(1%)
	2	10YR4/4 褐色	砂	10YR2/2土まだらにまじる。
	3	10YR4/4 褐色	砂	10YR2/2土まだらにまじる。
	4	10YR2/2 黒褐色	土	10YR4/4砂まだらにまじる。10YR6/3砂ブロック(φ 20mm)含む。(10%)
	5	10YR2/2 黒褐色	土	10YR4/4砂まだらにまじる。10YR6/3砂ブロック(φ30～50mm)含む。(5%)
	6	10YR3/2 黒褐色	土	ほぼ均質。10YR2/4砂わずかにまじる。

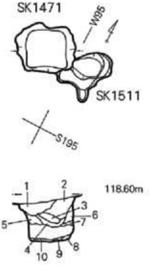


第57図　吉原Ⅰ遺跡SK1481・1487・1525土坑・出土遺物





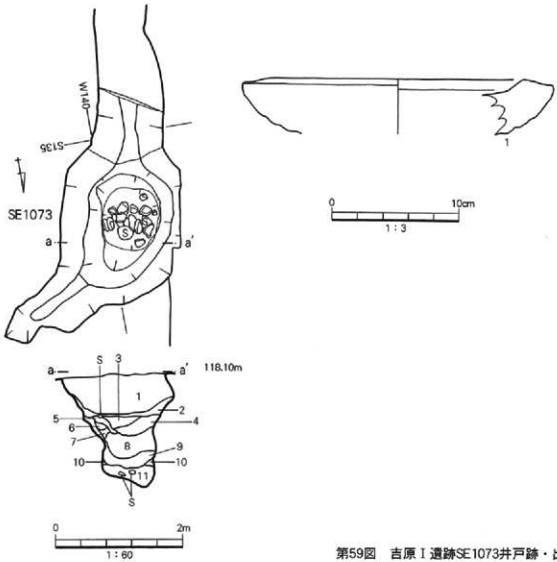




遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK1520 a	1	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒を少量含む。
	2	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックをやや多く含む。
	3	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒を少量含む。
	4	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを中程度含む。炭化粒を含む。
	5	10YR3/4　暗褐色	砂質土	地山粒・同ブロック、10YR2/3土粒・同ブロックを多量に含む。
	6	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	7	10YR2/2　黒褐色	土	6よりやや暗い色調。地山粒・同ブロックを少量含む。6よりややしまりあり。
	8	10YR2/2　黒褐色	土	6よりやや明るい色調。地山粒・同ブロックを中程度含む。
	9	10YR2/2　黒褐色	土	SD1504覆土
SK1456 b	1	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
	2	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを1よりやや多く含む。
	3	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。しまりが弱くぼそぼそしている。
	4	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを多く含む。炭化粒を少量含む。
	5	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを1よりやや少なく含む。炭化粒を少量含む。
	6	10YR2/3　黒褐色	土	やや明るい色調。地山粒・同ブロックを多く含む。
	7	10YR2/3　黒褐色	土	地山ブロックを中程度含む。
	8	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを多く含む。炭化粒・炭化ブロックを含む。
	9	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒を少量含む。
	10	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを中程度含む。炭化粒を少量含む。
	11	10YR2/3　黒褐色	土	やや暗い色調。地山ブロック（大）を中程度含む。
	12	10YR5/6　黄褐色	土	10YR2/3土粒・同ブロックを中程度含む。
SK1455	1	10YR3/4　暗褐色	砂質土	10YR2/2土粒・同ブロック、地山粒・同ブロックを多量に含む。
	2	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。炭化粒を含む。
	3	7.5YR4/1　褐色	細砂	10YR2/3土粒・同ブロックをやや多く含む。
	4	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒を少量含む。
	5	10YR3/3　暗褐色	砂質土	地山粒・同ブロック、10YR2/2土粒・同ブロックを多く含む。炭化粒を含む。
	6	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。炭化粒を含む。
	7	10YR3/4　暗褐色	砂質土	地山粒・同ブロック、10YR2/2土粒・同ブロックを多量に含む。
	8			基本的に7と同一で、地山ブロックが多い。
SK1471	1	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	2	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを1より多く含む。炭化粒を少量含む。
	3	10YR3/3　暗褐色	土	地山粒・同ブロックを多く含む。炭化粒を少量含む。
	4	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒を少量含む。
	5	10YR2/3　黒褐色	土	10YR2/1土粒を少量、地山粒・同ブロックをやや多く含む。
	6	10YR3/3　暗褐色	土	地山粒を多く含む。
	7	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒を中程度含む。
	8	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロック、10YR2/2土粒・同ブロックを多量に含む。炭化粒を含む。
	9	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
	10	10YR5/6　黄褐色	土	10YR2/3土粒を少量含む。

0　2m
1：80

第58図　吉原Ⅰ遺跡SK1456・1520・1455・1471土坑・出土遺物

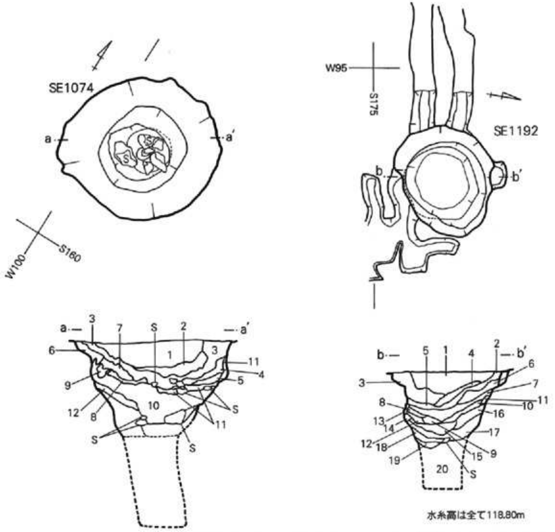


第59図　吉原Ⅰ遺跡SE1073井戸跡・出土遺物

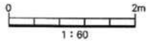
遺構番号	層位	土色	土質	備考
SE1073	1	10YR2/2	黒褐色	土	10YR4/6ブロックを大規模に含む。
	2	10YR4/4	褐色	砂質土	100%地山と同様。酸化鉄分を微量含む。
	3	10YR1.7/1	黒色	土	φ3cm、φ5cm、φ10cmの礫を含む。地山粒をまばらに含む。φ10cm程度の酸化鉄分の塊と粒状の酸化鉄分を微量含む。
	4	10YR2/2	黒褐色	土	φ2cm、φ5cmの礫を含む。地山粒をまばらに含む。10YR1.7/1ブロックを4層全体の20%程含む。
	5	10YR4/4	褐色	砂質土	10YR1.7/1を縞状に10%含む。
	6	10YR2/2	黒褐色	土	地山粒を微量含む。酸化鉄分を微量含む。
	7	10YR4/4	褐色	土	10YR2/2ブロックを50%近く混入する。φ2cmの礫を含む。
	8	10YR2/1	黒色	土	地山粒を帯状に含む。2.5YR1.7/1を帯状に含む。
	9	10YR4/6	褐色	土	φ10cmの礫を含む。2.5YR3/1の土を帯状に含む。
	10	2.5YR3/1	暗赤灰色	粘質土	10YR2/1土を微量、粒状に含む。
	11	10YR2/1	黒色	粘質土	地山粒を微量含む。φ10cm大の礫を二つ含む。酸化鉄分を微量含む。

のなどがある。

遺物は大窯期の瀬戸美濃系の皿（54－1）や永楽通寶（54－2）、砥石（54－3）などが出土している。瀬戸美濃系の皿は外面高台内部に輪ドチの痕跡が認められる。砥石は3面使用されている。



遺構番号	層位	土色	土質	備考
SE1192	1	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒を少量含む。炭化粒を少量含む。小礫を含む。
	2	10YR2/2　黒褐色	土	炭化粒をわずかに含む。地山粒ブロックを中程度含む。
	3	10YR3/2　黒褐色	土	砂まじり。地山粒・同ブロックを多量に含む。丸礫（1cm大）を少量含む。
	4	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒を少量含む。炭化粒をわずかに含む。
	5	10YR2/3　黒褐色	土	ややにぶい色調。炭化粒をわずかに含む。地山粒・同ブロックを中程度含む。
	6	10YR4/6　褐色	細砂	南側にいくほどやや明るい色調になる。10YR2/3土粒・同ブロックを中程度含む。
	7	10YR5/6　黄褐色	粗砂	10YR2/3土粒・同ブロックをやや多く含む。
	8	10YR4/6　褐色	細砂	10YR3/4細砂を斑状に中程度含む。
	9	10YR2/3　黒褐色	砂質土	地山粒を斑状に中程度含む。
	10	7.5YR3/4　暗褐色	細砂	10YR3/2砂質土粒・同ブロック、地山粒・同ブロックを多く含む。
	11	10YR4/4　褐色	細砂	壁の崩落土か。
	12	10YR2/2　黒褐色	砂質土	地山砂が横しま状にうすく堆積する。
	13	10YR3/3　暗褐色	細砂	地山ブロックを中程度含む。
	14	10YR4/6　褐色	細砂	10YR2/2砂質土ブロックを少量含む。壁の崩落土か。
	15	10YR3/2　黒褐色	砂質土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	16	10YR4/2　灰黄褐色	シルト	地山粒・同ブロック、10YR2/2土粒・同ブロックをやや多く含む。
	17	10YR3/2　黒褐色	砂質土	地山土を斑状にやや多く含む。下部に礫（30cm大）入る。10YR2/1土ブロックを含む。
	18	10YR2/2　黒褐色	土	地山砂をレンズ状にやや多く含む。
	19	10YR4/6　褐色	細砂	10YR3/3細砂をレンズ状に含む。
	20	10YR2/2　黒褐色		地山砂と10YR2/2土の互層。
SE1074	1	10YR2/2　黒褐色	土	10YR5/4細砂粒状（φ5mm）に含む。(1%)　礫（φ2mm）含む。10YR2/3土斑にまじる。(20%)
	2	10YR2/2　黒褐色	土	10YR5/4細砂粒状（φ2mm）に含む。(1%)　礫（φ30mm）含む。炭化物（φ5mm）含む（1%）
	3	10YR3/3　暗褐色	土	10YR5/4細砂ブロック（φ40mm）含む。(1%)　礫（φ50mm）含む（上下の層に偏る）
	4	10YR3/3　暗褐色	土	10YR5/4細砂まだらに含む。(20%)　礫（φ2mm）含む。
	5	10YR5/4　にぶい黄褐色	細砂	10YR2/3土まだらに含む。(10%)
	6	10YR2/2　黒褐色	土	10YR5/4細砂まだらに含む。(20%)　礫（φ20mm）含む。
	7	10YR5/4　にぶい黄褐色	細砂	10YR2/2土しま状に含む（20%）　礫（φ5mm）含む。
	8	10YR4/3　にぶい黄褐色	細砂	均質。
	9	10YR4/3　にぶい黄褐色	細砂	均質。
	10	10YR4/3　にぶい黄褐色	細砂	10YR2/2土まだらに含む。(30%)　礫（φ20mm）含む。
	11	10YR3/3　暗褐色	土	10YR5/4細砂粒状（φ2mm）に含む。(1%)　礫（φ20mm）含む。
	12	10YR5/4　にぶい黄褐色	細砂	10YR3/3土しま状に含む。(30%)



第60図　吉原Ⅰ遺跡SE1074・1192井戸跡

（6）　溝跡

溝跡は多数検出されている。そのほとんどが区画などを目的としたものと考えられる。ａ～ｄ類に分類を行い、以下、各類に属する主な溝跡について概述する。

ａ類　幅１m前後で直線的に走るもの。

ＳＤ101・218・219・121・820（第61・62図）

調査区中央部に検出され、全体で南北77m、東西70mの範囲を区画する溝跡である。幅0.8～1.1m、確認面からの深さ0.1～0.5mを測る。主軸方位は南北軸でＮ－３°－Ｅである。壁は緩やかに立ち上がり、底面は平坦で、断面形はＵ字状や箱型を呈する。覆土は黒褐色土を基調に、レンズ状に堆積する。

遺物はＳＤ101、219覆土から須恵器甕（63－１、３）、土師器坏（63－２）などが出土した。

ＳＤ13・17・1470・1490・1300・1265（第64図）

調査区南半部で検出され、やや蛇行するが、２条平行して東西に走る。ＳＴ１やＳＴ1456など中世の遺構に一部切られている。幅0.6～1.2m、確認面からの深さ0.1～0.3mを測り、検出長は東西約52mである。主軸方位は南北軸でＮ－０°30′－Ｅを測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面は基本的に平坦だが、一部凹凸がみられる。溝間に遺構が希薄であることから道路状遺構と思われる。

遺物はＳＤ1490から、底部切離しがヘラ切の須恵器坏（64－１）や須恵器甕（64－２）が出土した。

ＳＤ261（第65図）

Ｃ区中央部に検出された、南北に伸びる溝跡である。中央北側で一度途切れ、北と南に分かれるが、形状・覆土から同一遺構と判断した。幅0.8～0.9m、確認面からの深さは0.2～0.4mを測る。主軸方位はＮ－９°－Ｅである。南北が調査区外となるため全体の長さは不明であるが、検出長は17.6mである。壁は緩やかに立ち上がり、底面は平坦である。また底面にクワなどの工具の痕跡が確認された。

遺物は覆土上層から底部にヘラ記号「×」のある須恵器坏（65－1）が出土した。

上記の溝跡は出土遺物、覆土などから奈良・平安時代の遺構と考えられる。

ＳＤ819・1214・1174・1102・1077（第75図）

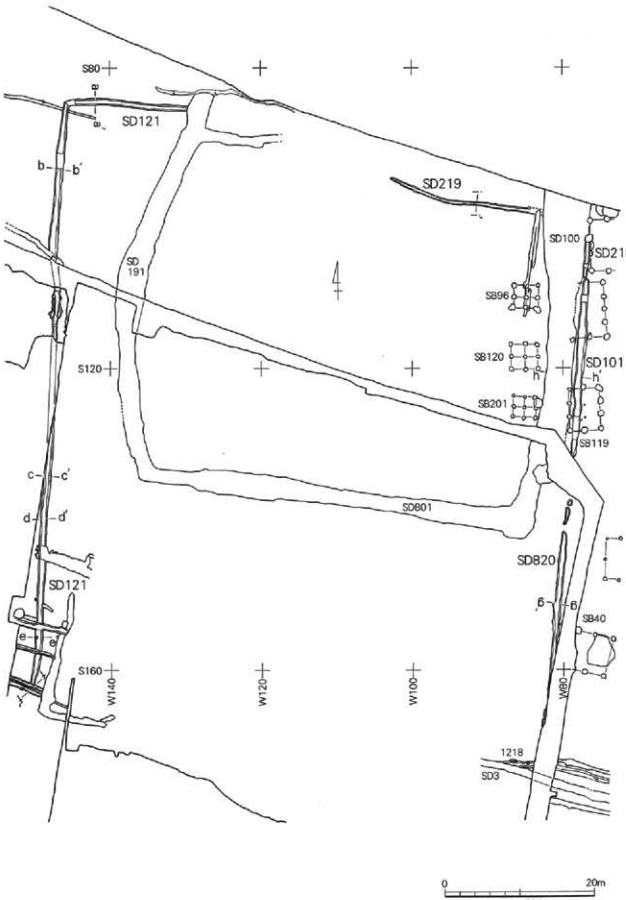
Ｇ区北半、ＳＤ801の南に検出され、全体で南北30m、東西56mの範囲を区画すると考えられる溝跡である。ＳＤ1077、819の北端がＳＤ801のコーナー部付近にあり、ＳＤ801の溝跡を意識して構築されたものと思われる。ＳＤ801と1214は攪乱により分断されるが、同一遺構と判断される。ＳＤ1102、1174が検出された地区は、土取りなどにより上部が削平を受けているため、溝幅も狭く、確認面からの深さも浅い。幅は0.7～1.1m、確認面からの深さは0.5～0.7mを測る。主軸方位は南北軸でＮ－９°－Ｅである。壁の立ち上がりは緩やかで、断面形は逆台形状を呈する。底面は平坦である。遺物は出土していない。

ｂ類　幅0.8～２m前後で直線的に走るもの。

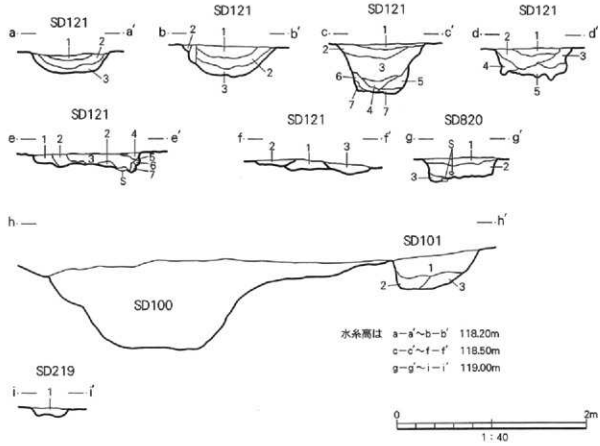
ＳＤ３・1107・1179・1463（第71図）

Ａ、Ｇ区南半に検出され、主軸方向などから、竪穴状遺構を区画すると考えられる溝跡である。ＳＤ３、ＳＤ1179は、形状・覆土から同一遺構と判断される。

幅0.8～2.1m、確認面からの深さは0.3～0.7mを測る。主軸方位はＳＤ３の南北軸でＮ－12°－Ｗで

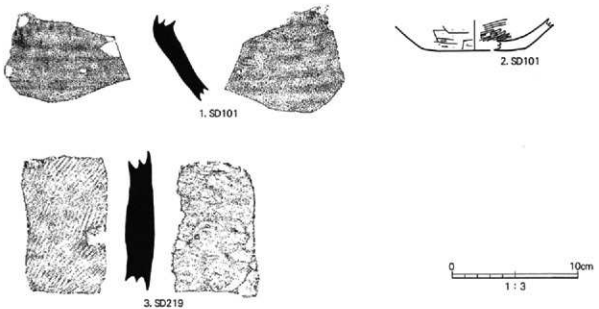


第61図　吉原Ⅰ遺跡SD101・218・219・121・820溝跡平面図



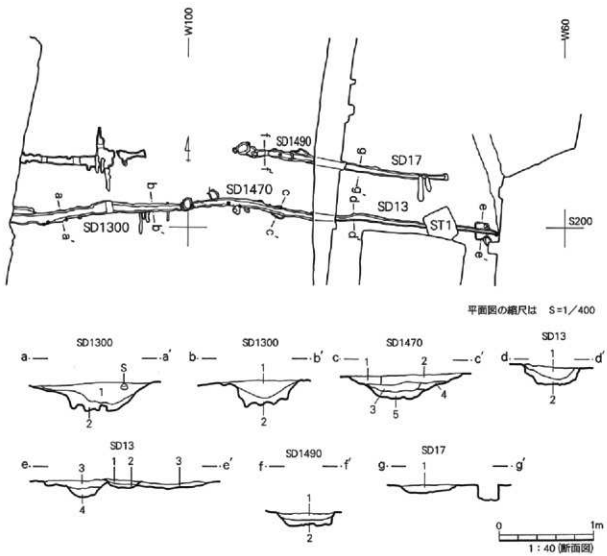
第62図　吉原Ⅰ遺跡SD101・218・219・121・820土層断面

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SD121ab	1	10YR2/1　黒色	シルト質土	地山砂粒（10YR4/4）が少量混入有。
	2	10YR2/1　黒色	シルト質土	地山ブロックが多量に混ずる。
	3	10YR3/1　黒褐色	シルト質土	地山粒が多量に混ずる。遺物の混入等見られる。（縄文期の遺物入る）
SD121c	1	10YR2/2　黒褐色	土	10YR5/4砂質土粒（1〜5mm大）を少量含む。
	2	10YR2/2　黒褐色	土	10YR5/4砂質土粒（1〜3mm大）をわずかに含む。
	3	10YR2/2　黒褐色	土	2よりやや明るい色調。10YR5/4砂質土粒（1〜3mm大）を2と同程度含む。
	4	10YR2/2　黒褐色	土	10YR5/4砂質土粒（1〜2mm大）を微量含む。
	5	10YR2/2　黒褐色	土	10YR5/4砂質土粒・同ブロックを中程度含む。
	6	10YR5/6　黄褐色	砂質土	10YR2/2土粒・同ブロックを中程度含む。
	7	10YR3/3　暗褐色	土	10YR6/4土粒・同ブロック、10YR2/2土粒・同ブロックを中程度含む。
SD121d	1	10YR2/2　黒褐色	土	10YR5/6黄褐土粒（1〜2mm大）を微量含む。
	2	10YR2/2　黒褐色	土	10YR5/6黄褐土粒（1〜3mm大）を少量含む。
	3	10YR2/3　黒褐色	土	10YR5/6黄褐土粒（2〜3mm大）を1よりやや多く含む。
	4	10YR2/3　黒褐色	土	10YR5/6黄褐土粒・同ブロックを少量含む。
	5	10YR2/3　黒褐色	土	ぼそぼそしている。10YR5/4にぶい黄褐土粒・同ブロック、10YR5/6黄褐土粒（1〜3mm大）を中程度含む。
SD121e	1	10YR3/1　黒褐色	土	10YR4/4のブロック混じる。
	2	10YR2/1　黒色	土	10YR1.7/1のブロック、10YR4/4のブロック混じる。
	3	10YR1.7/1　黒色	砂質土	細砂混じる。
	4	10YR2/1　黒色	土	10YR4/4のブロック混じる。
	5	10YR3/1　黒褐色	土	10YR4/4のブロック、10YR2/1のブロック混じる。
	6	2.5Y4/4　オリーブ褐色	細砂	凝結している。
	7	10YR2/1　黒色	土	2.5Y4/4のブロック混じる。
SD121f	1	10YR2/2　黒褐色	土	SD245覆土よりも、やや暗い色調。10YR5/6黄褐細砂粒（2〜3mm大）を少量含む。小丸礫を少量含む。
	2	10YR2/2　黒褐色	土	10YR5/6細砂粒状をわずかに含む。SD245覆土。
	3	10YR2/2　黒褐色	土	ほとんど混じりがない。SD246覆土
SD820g	1	10YR3/2　黒褐色	砂質土	焼土ブロックφ5mmあり。砂粒少量。
	2	10YR2/1　黒色	砂質土	φ3cmの礫あり。焼土粒全体にあり。砂粒やや少量。
	3	10YR2/2　黒褐色	砂質土	7.5YR4/4地山粒多量。
SD101h	1	10YR2/2　黒褐色	土	7.5YR4/4褐色土粒（1〜5mm大）を中程度含む。酸化鉄粒を中程度含む。土器片を含む。
	2	10YR2/3　黒褐色	粘質土	10YR6/4粘質土粒（2〜5mm大）を中程度含む。
	3	10YR5/4　にぶい黄褐色	粘質土	10YR2/3土粒・同ブロックを少量含む。酸化鉄粒を少量含む。一部酸化していて赤味を帯びた部分あり。
SD219i	1	10YR2/2　黒褐色	土	10YR5/6黄褐土粒（1〜3mm大）を少量含む。

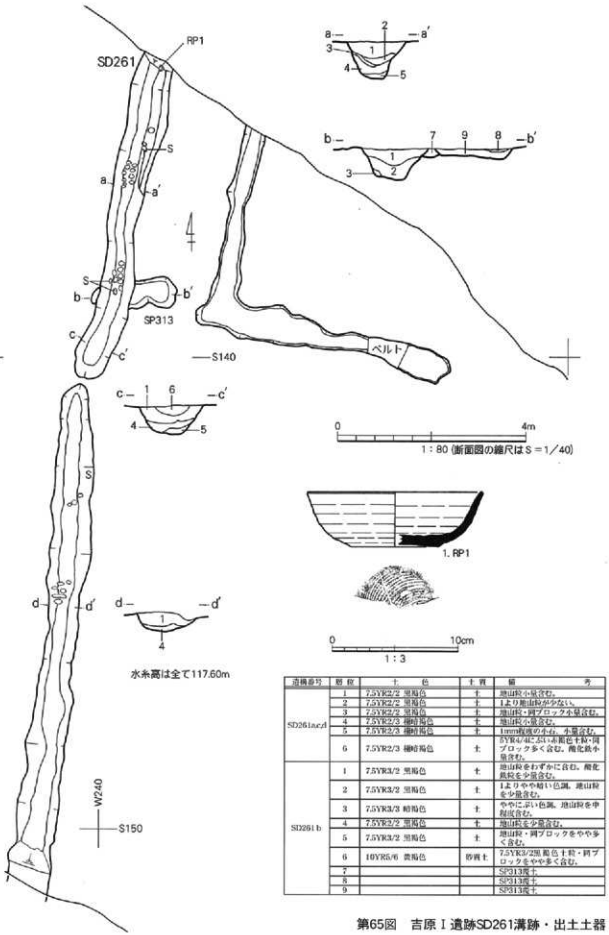


第63図　吉原Ⅰ遺跡SD101・219出土土器

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SD1300a,b	1	10YR1.7/1 黒色	シルト	
	2	10YR2/1　黒色	シルト	φ5mm前後の地山ブロック(10YR5/4) やや少量。
SD1470c	1	10YR2/1　黒色	砂質土	均質。
	2	10YR2/1　黒色	砂質土	φ5mmの地山ブロック（10YR5/4）微量、鉄分微量。
	3	10YR3/3　暗褐色	砂質土	φ3cm前後の地山ブロック（10YR5/4）多量、焼土（7.5YR5/6）少量。
	4	10YR3/2　黒褐色	砂質土	φ5mmの地山ブロック（10YR5/4）少量。
	5	10YR2/2　黒褐色	砂質土	φ1cm前後の地山ブロック（10YR5/4）少量、地山砂（10YR4/4）ところどころにあり。
SD13d,e	1	10YR2/3　黒褐色	土	10YR4/6褐色土粒（2～3mm大）を少量含む。
	2	10YR4/4　褐色	土	10YR4/6褐色土粒（2～3mm大）を1より多く含む。10YR2/3黒褐色土粒（2～3mm大）を少量含む。
	3			SK14覆土
	4			SK14覆土
SD1490f	1	10YR2/1　黒色	砂質土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	2	10YR5/6　黄褐色	細砂	10YR2/1砂質土粒・同ブロックを上部に多く含む。
SD17g	1	7.5YR1.7/1 黒色	砂質土	5YR2/2砂がまじる。

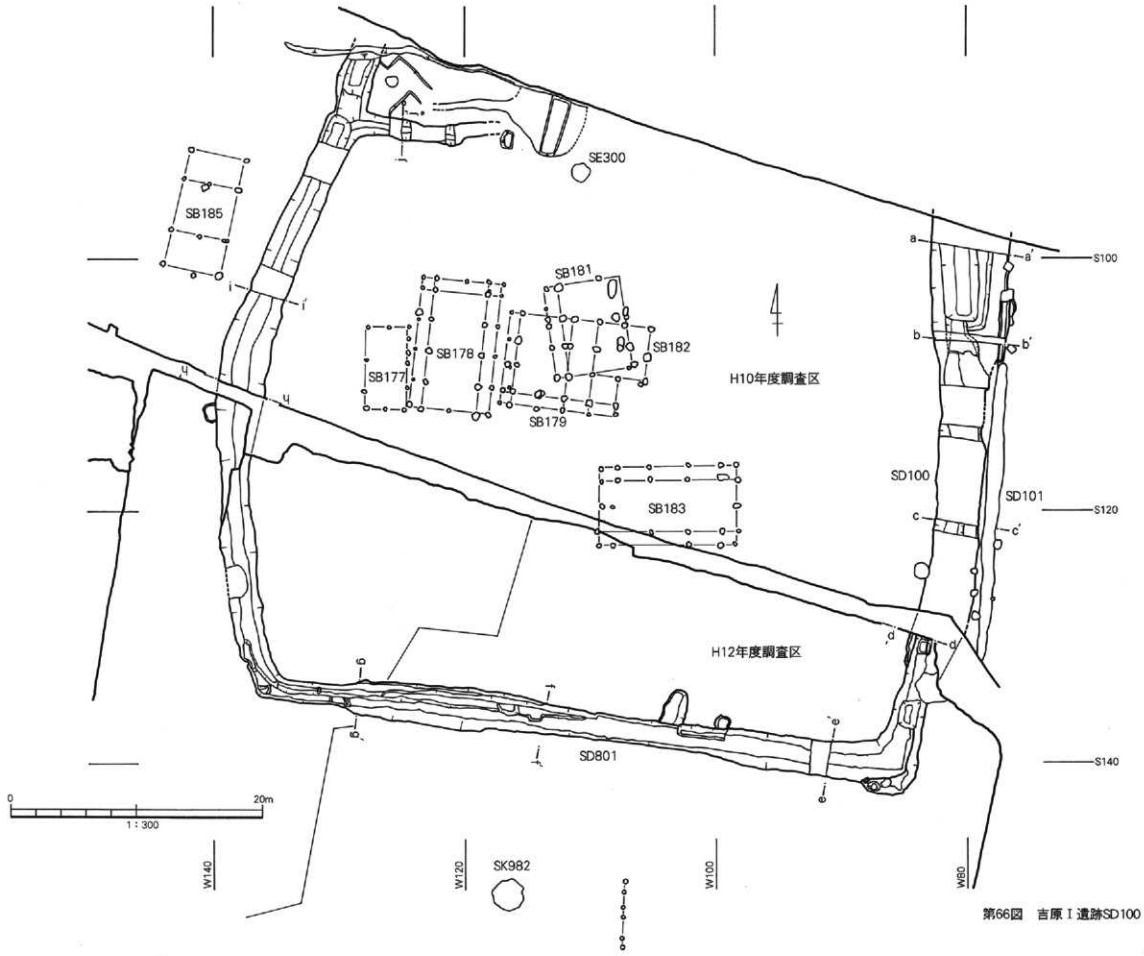


第64図　吉原Ⅰ遺跡SD13・17・1470・1490・1300溝跡・出土土器

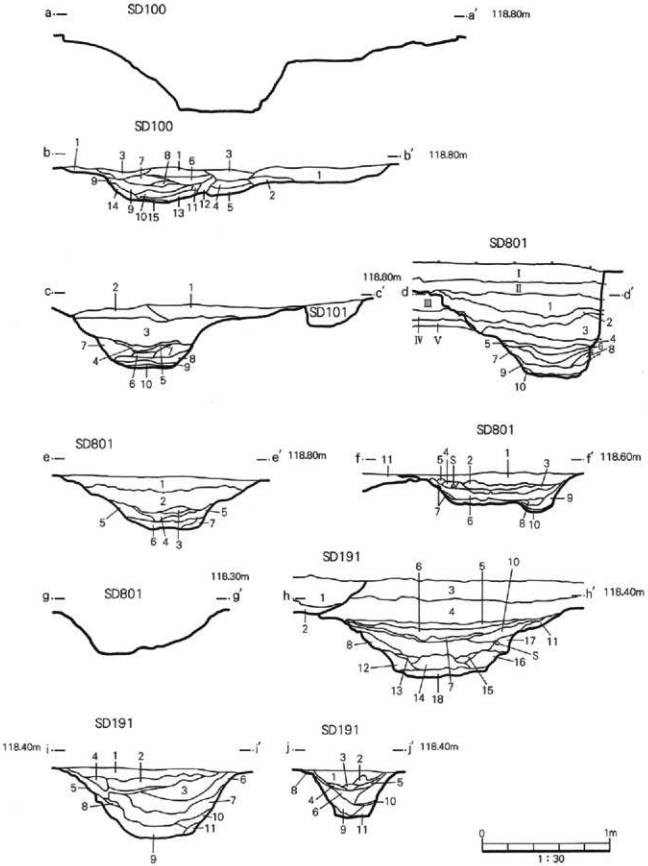


遺構番号	層 段	土　色	土 質	備　考
SD261a.c.d	1	7.5YR2/2 黒褐色	土	地山粒小量含む。
	2	7.5YR2/2 黒褐色	土	1より地山粒が少ない。
	3	7.5YR2/2 黒褐色	土	地山粒・褐ブロック大量含む。
	4	7.5YR2/3 極暗褐色	土	地山粒小量含む。
	5	7.5YR2/3 極暗褐色	土	1mm程度の小石、小礫含む。
	6	7.5YR2/3 極暗褐色	土	10YR5/4に25％赤橙土粒・褐ブロック多く含む。褐化鉄小量含む。
SD261b	1	7.5YR3/2 黒褐色	土	地山粒をわずかに含む。褐化鉄粒を少量含む。
	2	7.5YR3/2 黒褐色	土	1よりやや暗い色調。地山粒を少量含む。
	3	7.5YR3/3 暗褐色	土	ややにぶい色調。地山粒を中程度含む。
	4	7.5YR2/2 黒褐色	土	地山粒を少量含む。
	5	7.5YR3/2 黒褐色	土	地山粒・褐ブロックをやや多く含む。
	6	10YR5/6 黄褐色	砂質土	7.5YR3/2黒褐色土粒・褐ブロックをやや多く含む。
	7			SP313埋土
	8			SP313埋土
	9			SP313埋土

第65図　吉原Ⅰ遺跡SD261溝跡・出土土器

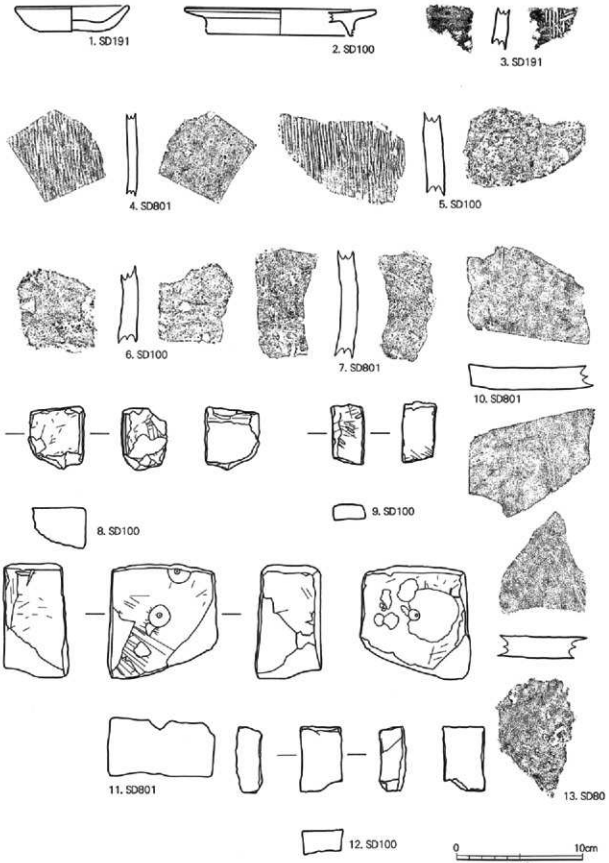


第66図　吉原Ⅰ遺跡SD100・191・801堀跡平面図

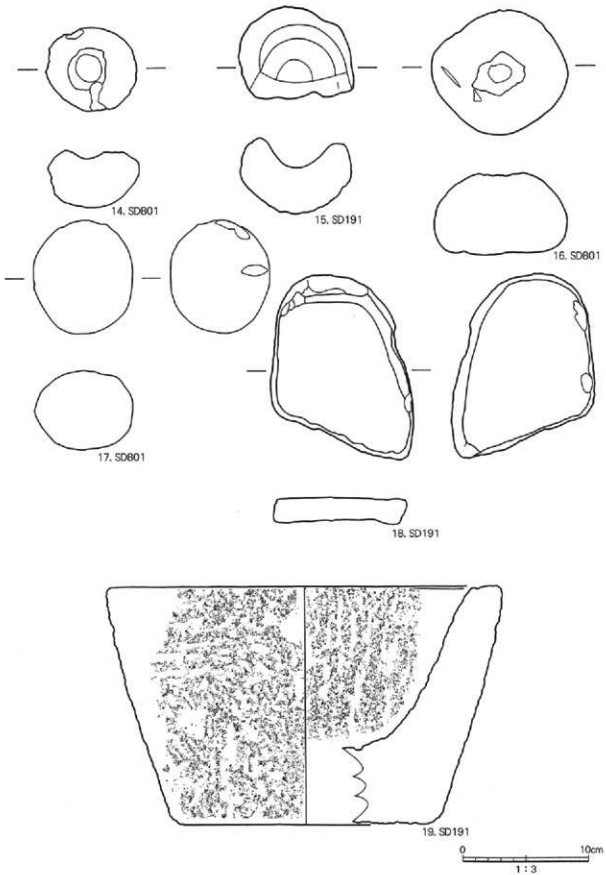


第67図　吉原Ⅰ遺跡SD100・191・801土層断面

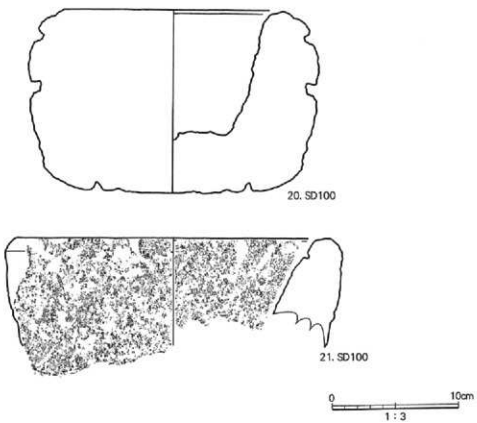
遺構番号	層位	土色	土質	備考
SD100 b-b′	1	10YR6/6　明黄褐色	砂礫	7.5YR5/8明褐土粒（2～3mm大）を中程度含む。上層にやや多く含む。
	2	10YR4/3　にぶい黄褐色	土	10YR2/3粘質土ブロックを多く含む。7.5YR5/8土粒を少量含む。
	3	10YR6/6　明黄褐色	土	0.5～1.5cm大の丸礫を多量に含む。
	4	10YR6/6　明黄褐色	土	酸化鉄粒（2～3mm大）を中程度含む。
	5	10YR2/3　黒褐色	土	4よりややにぶい色調。酸化鉄粒（2～3mm大）を中程度含む。
	6	10YR2/3　黒褐色	粘質土	10YR6/6明黄褐土粒・同ブロック。7.5YR5/8土粒を多く含む。
	7	10YR2/2　黒褐色	砂質土	7.5YR5/8土粒（1～4mm大）を少量含む。酸化鉄粒を少量含む。
	8	10YR3/4　暗褐色	粘質土	7.5YR5/8土粒を少量含む。
	9	10YR2/1　黒色	細砂	10YR5/6黄褐土粒（2～3mm大）。7.5YR5/8土粒を中程度含む。
	10	10YR3/2　黒褐色	粘質土	7.5YR5/8明褐土粒（2～3mm大）を少量含む。
	11	10YR2/1　黒色	粘質土	10YR5/6黄褐土粒（3～4mm大）をわずかに含む。
	12	10YR2/1　黒色	粘質土	7.5YR5/8明褐土粒（1～5mm大）を多く含む。10YR3/4砂質土粒を少量含む。
	13	10YR2/3　黒褐色	粘質土	10YR3/4暗褐細砂が幅1cm大のレンズ状に2層に入る。（互層になった状態）
	14	10YR2/1　黒色	土	10YR5/6黄褐土粒（1～3mm大）を中程度含む。
	15	10YR2/3　黒褐色	土	7.5YR5/8明褐土粒（2～4mm大）、10YR6/4土粒（2～4mm大）を中程度含む。
SD100 c-c′	1	10YR2/3　黒褐色	土	やや明るい色調。7.5YR5/8明褐土粒（1～3mm大）を中程度含む。上層に多く含む。酸化鉄粒を中程度含む。
	2	10YR2/3　黒褐色	粘質土	7.5YR5/8明褐土粒（1～3mm大）を中程度含む。酸化鉄粒を中程度含む。
	3	10YR2/1　黒色	粘質土	7.5YR5/8明褐土粒（1～4mm大）。10YR6/8土粒・同ブロックをやや多く含む。
	4	10YR2/3　黒褐色	粘質土	7.5YR5/8明褐土粒（2～4mm大）を少量含む。
	5	10YR2/1　黒色	粘質土	7.5YR5/8土粒を多く含む。
	6	10YR2/3　黒褐色	粘質土	7.5YR5/8土粒（1～2mm大）を少量含む。
	7	10YR3/3　暗褐色	粘質土	7.5YR5/8土粒（2～5mm大）をやや多く含む。
	8	10YR2/1　黒色	シルト質土	7.5YR5/8土粒を7より多く含む。酸化鉄粒を中程度含む。
	9	7.5YR3/2　黒褐色	シルト質土	
	10			地山
SD801 d-d′	Ⅰ	10YR2/2　黒褐色	土	表土。
	Ⅱ	10YR3/2　黒褐色	土	旧耕作土。
	Ⅲ	7.5YR2/1　黒色	土	鉄分含む。礫（φ5mm）含む。
	Ⅳ	10YR6/4　にぶい黄褐色	細砂	7.5YR2/1でまじる。ⅢとⅤの漸移層。
	Ⅴ	10YR6/4　にぶい黄褐色	細砂	均質。
	1	10YR2/2　黒褐色	土	鉄分多量に含む。礫（φ2～10mm）含む。（10%）砂まじる。炭化物（φ5mm）含む。
	2	10YR2/2　黒褐色	土	鉄分多量に含む。礫（φ2～5mm）含む。（5%）1よりぼそぼそしている。
	3	7.5YR2/1　黒色	土	鉄分若干含む。10YR5/8細砂粒（φ5mm）含む。（1%）
	4			鉄分若干含む。10YR5/8細砂粒（φ5～10mm）含む。（5%）
	5			鉄分若干含む。10YR6/4細砂粒（φ5～10mm）含む。（7%）
	6	10YR2/1　黒色	シルト	均質。鉄分わずかに含む。
	7	7.5YR2/1　黒色	土	鉄分多量に含む。10YR5/8細砂粒（φ5～10mm）含む。（10%）
	8	7.5YR2/1　黒色		鉄分多量に含む。ほぼ均質。
	9	7.5YR2/1　黒色		10YR6/4細砂粒（φ5mm）含む。（1%）鉄分含む。
	10	10YR2/1　黒色	土質	10YR6/4細砂ブロック（φ5～15mm）含む。（20%）鉄分若干含む。
SD801 e-e′	1	10YR2/2　黒褐色	土	鉄分多量に含む。礫（φ2～10mm）含む。（10%）砂まじる。炭化物（φ5mm）含む。
	2	10YR2/2　黒褐色	土	鉄分多量に含む。礫（φ2～5mm）含む。（5%）1よりぼそぼそしている。
	3	10YR2/1　黒色	シルト	鉄分若干含む。ほぼ均質。
	4	10YR2/1　黒色	シルト	均質。鉄分わずかに含む。
	5	10YR3/1　黒褐色	シルト	ほぼ均質。砂まじる。鉄分わずかに含む。
	6	10YR2/1　黒色	土	10YR6/4細砂ブロック（φ5～15mm）含む。（20%）鉄分若干含む。
	7	7.5YR2/1　黒色	土	10YR6/4細砂ブロック（φ5～10mm）含む。（5%）鉄分含む。砂まじる。
SD801 f-f′	1	7.5YR2/2　黒褐色	土	10YR4/6細砂粒状（φ3～10mm）に含む。（1%）10YR2/3土。まだらにまじる。鉄分若干含む。
	2	7.5YR2/1　黒色	土	10YR4/6細砂粒状（φ1mm）に含む。（1%）ほぼ均質。
	3	7.5YR2/1　黒色	シルト	ほぼ均質。鉄分若干含む。
	4	7.5YR2/1　黒色	土	10YR4/4シルト粒状（φ3mm）に含む。（1%）
	5	7.5YR2/1　黒色	土	10YR4/4シルト粒状（φ5mm）に含む。（1%）植物根による攪乱。
	6	7.5YR2/1　黒色	シルト	7.5YR2/1土。まだらにまじる。10YR3/2シルト粒状（φ5mm）に含む。（1%）⇒南側たちあがり付近に偏る。鉄分若干含む。
	7	7.5YR3/2　黒褐色	シルト	7.5YR2/1シルトまだらに含む。10YR4/6細砂粒状（φ5mm）に含む。（7%）
	8	7.5YR3/1　黒褐色	シルト	10YR5/3粘質細砂粒状（φ5～50mm）に含む。（30%）鉄分若干含む。炭化物粒状（φ0.5mm）に含む。（1%）
	9	7.5YR1.7/1　黒色	シルト	ほぼ均質。
	10	10YR4/2　灰黄褐色	細砂	7.5YR1.7/1シルト粒状（φ2mm）に含む。（1%）鉄分含む。
	11	N2/　黒色	土	均質。
SD191 h-h′	1	7.5YR3/4　暗褐色	砂質土	10YR5/8のブロック、7.5YR5/8のブロック、植物の根をまばらに含む。
	2	10YR3/3　暗褐色	砂質土	10YR5/8のブロック少量まじり。植物の根、微少含む。
	3	10YR3/3　暗褐色	砂質土	7.5YR5/8の微小Bブロックを少々まばらに含む。植物を全体的に含む。現表土。
	4	7.5YR3/2　黒褐色	砂質土	10YR5/8のブロック、7.5YR5/8のブロック、10YR2/1のブロックそれぞれ微小ブロックをまだらに含む。
	5	7.5YR3/2　黒褐色	砂質土	4層よりも、ブロックが大きく混じりも多い。
	6	10YR2/2　黒褐色	砂質土	10YR1.7/1、10YR4/3、10YR4/6、7.5YR3/2のブロックをまだらに全体的に含む。
	7	10YR4/1　褐灰色	土質砂	10YR4/6、10YR1.7/1のブロックを含む。
	8	10YR2/3　黒褐色	砂質土	7.5YR5/8、10YR2/2のブロック、10YR4/6の微小ブロックを含む。
	9	7.5YR2/2　黒褐色	シルト質粘土	5YR3/6の酸化物と10YR5/8のブロックを全体的に含む。
	10	7.5YR2/2　黒褐色	砂質土	5YR3/6の酸化物と7.5YR5/8のブロック、10YR2/1のブロックを含む。
	11	10YR2/2　黒褐色	砂質土	地山削りすぎ。
	12	2.5Y2/1　黒色	砂質土	10YR8/1、10YR4/6ブロック、5YR3/6の酸化物を含む。
	13	10YR2/1　黒色	シルト質粘土	5YR3/6の酸化物、10YR4/6のブロックをまばらに含む。
	14	10YR2/2　黒褐色	土質粘土	10YR1.7/1の微小ブロック、10YR3/6の酸化物を全体的に含む。
	15	2.5Y3/1　黒褐色	砂質土	10YR6/3のブロック、10YR3/6の酸化物を含む。
	16	2.5Y3/1　黒褐色	シルト質粘土	10YR2/1、2.5Y6/1、10YR4/6、10YR3/6のブロックをまだらに全体的に含む。
	17	10YR3/1　黒褐色	粘質土	16層と同一であるが、まじりが弱い。
	18	10YR2/3　黒褐色	土	10YR8/1のブロック、10YR1.7/1の微小ブロック、10YR3/6の酸化物、10YR4/6のブロックをまばらに含む。
SD191 i-i′	1	7.5YR2/3　極暗褐色	シルト質土	
	2	7.5YR2/2　黒褐色	土質シルト	
	3	7.5YR4/4　褐色	粘土質シルト	
	4	10YR2/2　黒褐色	砂質土	
	5	10YR2/3　黒褐色	土質砂	
	6	10YR4/2　灰黄褐色	シルト質土	
	7	7.5YR1.7/1　黒	シルト質土	
	8	10YR2/2　黒褐色	粘土質シルト	
	9	7.5YR3/1　黒褐色	土質シルト	
	10	10YR2/2　黒褐色	シルト質土	
	11	7.5YR3/2　黒褐色	土	
SD191 j-j′	1	7.5YR1.7/1　黒	土	
	2	7.5YR2/1　黒	シルト質土	
	3	7.5YR4/4　褐色	シルト質土	
	4	7.5YR5/6　明褐色	粘土質シルト	
	5	7.5YR2/1　黒	シルト質土	
	6	7.5YR3/1　黒褐色	シルト質土	
	7	7.5YR2/2　黒褐色	シルト質土	
	8	7.5YR1.7/1　黒	シルト質土	
	9	7.5YR4/4　褐色	粘土質シルト	
	10	7.5YR3/3　暗褐色		
	11			



第68図　吉原Ⅰ遺跡SD100・191・801出土遺物（1）



第69図　吉原Ⅰ遺跡SD100・191・801出土遺物（2）



第70図　吉原Ⅰ遺跡SD100・191・801出土遺物（3）

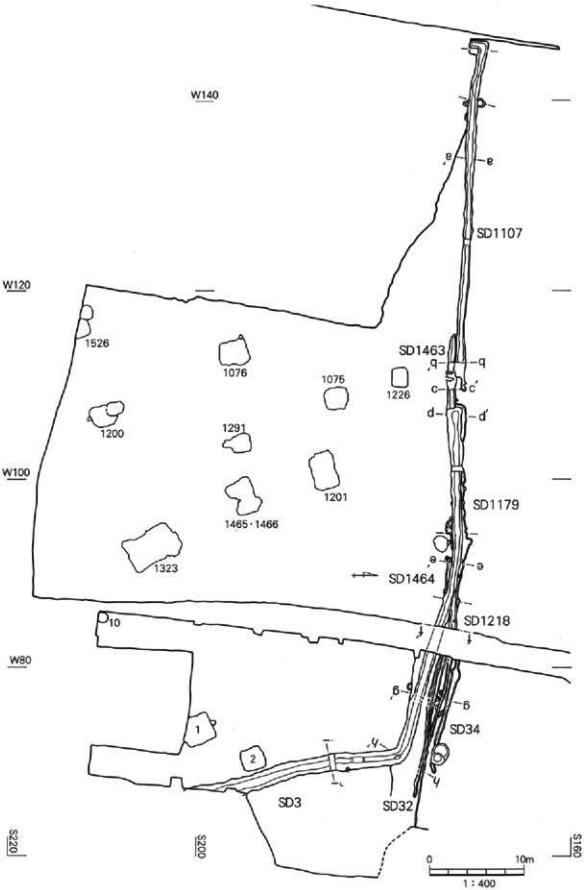
ある。壁の立ち上がりは緩やかで底面は平坦である。検出長は東西約75m、南北20m以上を測る。西に向かって傾斜しているため、排水などの機能も果たしていたものと考えられる。

遺物は瓷器系陶器甕（73－1・2・4・5）、鉢（73－3）、砥石、凹石が出土した。3は使用により内面が磨耗している。

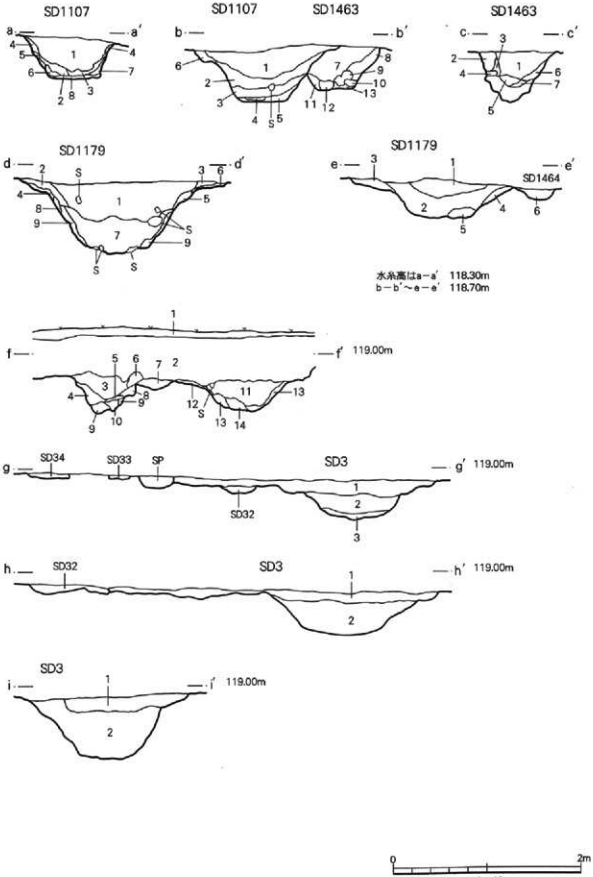
ＳＤ1227・1504（第74図）

Ｇ区南半に検出され、竪穴状遺構と主軸方向を同じくすることから、これらを区画すると考えられる溝跡である。上述のＳＤ3・1179他の区画との関連も考えられる。ＳＤ1470を境に北側をＳＤ1227、南側をＳＤ1504としたが、形状・覆土などからみて、同一の遺構と判断される。ＳＤ1227はＳＴ1226・ＳＴ1075を切り、ＳＤ1504はＳＴ1465に切られる。

幅は1.0～1.4m、確認面からの深さは0.2～0.4mを測る。主軸方位は南北軸でＮ－26°－Ｗである。壁の立ち上がりは緩やかで、底面はやや凹凸がある。遺物は出土していない。



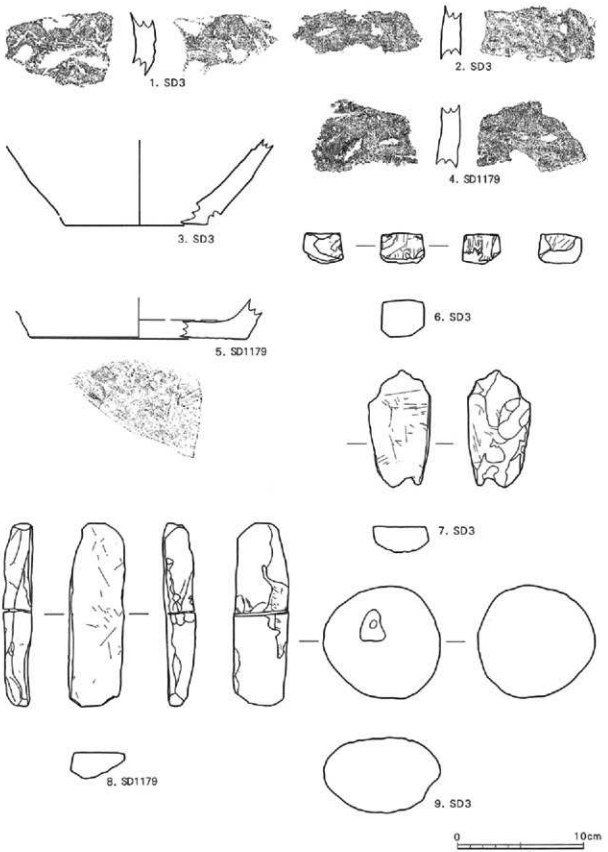
第71図　吉原Ⅰ遺跡SD3・1107・1179・1463溝跡平面図



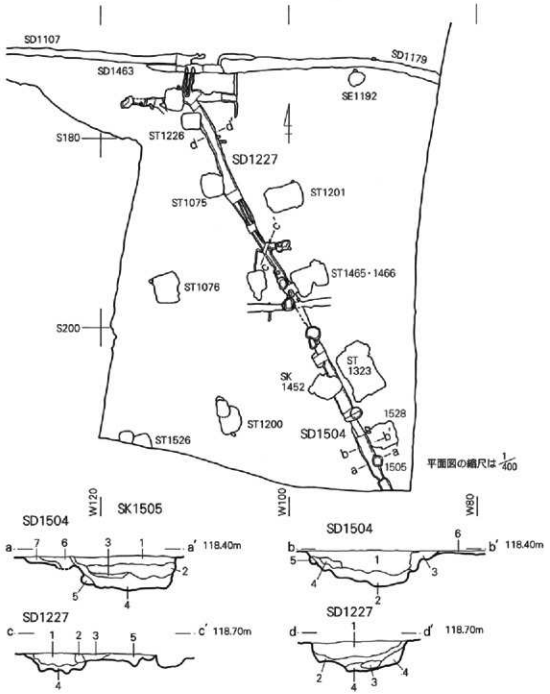
第72図　吉原Ⅰ遺跡SD3・1107・1179・1463土層断面

遺構番号	層位	土色		土質	備考
SD3g．h	1	10YR3/2	黒褐色	土	10YR5/6黄褐土粒（2~4mm大）を少量含む。
	2	10YR3/2	黒褐色	土	10YR5/6黄褐土粒・同ブロックを1より多く含む。
	3	10YR3/1	黒褐色	土	10YR5/6黄褐土粒・同ブロックを中程度含む。
	SP	10YR2/2	黒褐色	土	10YR4/6褐色砂質土粒（2~3mm大）を中程度含む。やや赤味を帯びた色調。
	SD32	10YR3/1	黒褐色	土	10YR5/6黄褐土粒（2~3mm大）をやや多く含む。SD3F2よりやや暗い色調。
	SD33	10YR2/2	黒褐色	土	10YR4/6褐色砂質土粒（2~3mm大）を少量含む。
	SD34	10YR2/2	黒褐色	土	10YR4/6褐色砂質土粒を極少量含む。やや赤味を帯びた色調。
SD3	1	10YR3/2	黒褐色	土	10YR5/6黄褐土粒（2~3mm大）を少量含む。
	2	10YR3/1	黒褐色	土	10YR5/6黄褐土粒（2~4mm大）をF1よりやや多く含む。
SD1107a	1	10YR2/3	黒褐色	土	中心にφ15cmの礫を含む。10YR6/4土粒を微量含む。極少の酸化鉄分を微量含む。
	2	10YR2/2	黒褐色	土	10YR4/6土粒・同BLを30%混入する。極少の酸化鉄分を微量含む。
	3	10YR2/2	黒褐色	土	10YR4/6土粒を5%含む。極少の酸化鉄分を微量含む。
	4	10YR2/2	黒褐色	土	10YR6/4土粒・同BLを40%を混入する。
	5	10YR3/4	暗褐色	土	10YR2/2の土粒を微量含む。
	6	10YR4/6	褐色	土	地山の崩落と考えられる層。10YR3/4BLを20%混入。φ1cm程度の酸化鉄分の塊を1個含む。
	7	10YR4/6	褐色	土	10YR3/4BLを5%混入。極少の酸化鉄分を微量含む。10YR6/4（地山A）を上方に10%含む。
	8	10YR3/4	暗褐色	土	10YR2/2の土粒を10%含む。7.5YR5/8を下方に集中的に混入する。10YR4/6土粒を10%含む。
SD1107b	1	10YR2/2	黒褐色	土	5YR5/8明赤褐色の小礫を微量含む。φ1cmとφ5mmの炭化物をそれぞれ1個ずつ含む。φ3cm程度の礫を1個含む。地山粒を微量含む。（地山A）
	2	10YR2/2	黒褐色	土	φ1cm程度の礫を4個含む。φ6cmの礫を3層との間に含む。1層、7層に比べてしまりが弱い層。地山粒を微量含む。（地山A）
	3	10YR2/3	黒褐色	土	φ5cmの炭化物を1個含む。酸化鉄分を微量含む。地山粒微量含む。（地山B）
	4	10YR4/6	褐色	砂質土	10YR3/3の土粒を20%含む。
	5	10YR2/3	黒褐色	土	地山粒を3より多量の20%含む(地山B)
	6	10YR2/2	黒褐色	土	地山粒を20%含む。（地山A）
SD1463b	7	10YR2/2	黒褐色	土	φ2cmの礫を1個含む。地山粒を微量含む。（地山A）
	8	10YR2/2	黒褐色	土	φ2cmの礫を1個含む。φ1cm程度の地山BLと地山粒を20%含む。（地山A）
	9	10YR1.7/1	黒色	土	ほぼ均質ながら地山粒を微量含む。（地山A）
	10	10YR2/3	黒褐色	土	10YR1.7/1土粒を微量含む。地山粒10YR5/8を50%含む。（地山B）
	11	10YR2/2	黒褐色	土	φ1cm程度の地山BLと地山粒を30%含む。（地山B）
	12	10YR2/2	黒褐色	土	小振りな地山BLと地山粒を5%含む。(地山B)
	13	10YR2/3	黒褐色	土	地山粒を微量含む。（地山Ｂ）
SD1463ｃ	1	10YR2/1	黒色	土	極小の酸化鉄分を少々含む。地山粒を微量含む。
	2	10YR2/1	黒色	土	10YR2/2の極大のBLを中央部に含む。また、そのBLに集中的に地山粒を含む。10YR2/2のBL外の地山粒は微量。
	3	10YR3/4	暗褐色	土	10YR2/2の土粒を40%含む。φ3cmの地山BL1個と地山粒を全体の30%含む。
	4	10YR2/1	黒色	土	φ3cmの地山BL1個と地山粒を全体の30%含む。
	5	10YR2/2	黒褐色	土	10YR1.7/1のφ1cm程度のBLと土粒を10%、地山BLと地山粒を40%含む。
	6	10YR2/2	黒褐色	土	φ4cmの10YR1.7/1のBLを1個含む。φ5mm程度の地山BLと地山粒を10%含む。極小の酸化鉄分を微量含む。
	7	7.5YR4/6	褐色	砂質土	10YR2/3のBLを50%近く含む。周囲地山同様、酸化した土と考えられる。
	8	10YR2/2	黒褐色	砂質土	形の不明瞭な地山BLと地山粒を30%含む。
SD1179d	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	φ8cm、φ4cm、φ3cm、の礫をそれぞれ1個ずつ含む。φ5mm程度の炭化物を3個含む。極小の酸化鉄分を微量含む。地山粒(10YR5/8：地山A)を微量含む。φ5mm以下の極小の礫を少々含む。
	2	10YR2/2	黒褐色	土	地山粒を10%含む。φ2cm程度の酸化鉄分の礫を1個含む。φ2cm程度の10YR3/3のBLを2個含む。
	3	10YR2/2	黒褐色	土	地山粒を30%含む。極小の酸化鉄分を少量含む。
	4	10YR2/2	黒褐色	土	地山BLと地山粒を40%含む。極小の酸化鉄分を微量含む。
	5	10YR2/2	黒褐色	土	地山粒を30%含む。
	6	7.5YR3/4	暗褐色	土	地山Aが酸化した土と考えられる。10YR2/2のBLと土粒を10%含む。
	7	10YR2/2	黒褐色	粘質土	1と同じ10YR2/2ながら比較的暗い層。遺構の底部を中心にφ8cm~5cm程度の礫を10個程含む。φ3cmの地山BLとφ5cmの地山BL(10YR4/4：地山B)を1個ずつ含む。
	8	10YR2/2	黒褐色	土	地山粒を30%含む。地山Bの土粒を微量混入する。
	9	10YR2/2	黒褐色	粘質土	φ2cmの地山BLと地山粒を含む。極小の酸化鉄分を微量含む。遺構底部にφ3cm程度の礫を3個含む。
SD1179e	1	10YR2/2	黒褐色	土	φ5cmとφ3cmとφ1cmの礫をそれぞれ1個ずつ含む。それ以外は均質な層。
	2	10YR2/2	黒褐色	粘質土	φ2cmとφ1cmの礫を1個ずつ含む。地山粒を微量含む。1よりも色調が暗い。
	3	10YR2/2	黒褐色	土	1と同様に、2に比べて明るい色彩の10YR2/2。均質な層。
	4	10YR2/2	黒褐色	粘質土	φ5mm程度の地山BLと地山粒を10%含む。
	5	10YR2/2	黒褐色	土	地山粒を10%含む。
	6	10YR2/2	黒褐色	粘質土	φ3cm~φ1cmの地山BLと地山粒を10%含む。SD1464F土。
f	1	10YR4/6	褐色	土	盛土。
	2	10YR3/3	暗褐色	土	耕作土。
SD1218	3	10YR2/2	黒褐色	土	φ5mmの10YR3/4土BL・粒をまばらに10%含む。酸化鉄分を微量含む。
	4	10YR2/2	黒褐色	土	5よりも10YR3/4土BL・粒を多量20%含む。
	5	10YR2/2	黒褐色	土	10YR3/4土粒をほんの微量含む。ほぼ均質な層。
	6	10YR2/2	黒褐色	土	10YR3/4土粒、同BLを40%混入する。植物の根による撹乱あり。
	7	10YR2/2	黒褐色	土	φ5cm程度の10YR3/4土BLを中央部に少量含む。それ以外に10YR3/4土粒を10%含む。
	8	10YR2/2	黒褐色	土	10YR3/4土ブロック・粒を50%近く含む。極小の酸化鉄分を微量含む。
	9	10YR4/6	褐色	土	10YR1.7/1のBLと土粒を40%含む。
	10	10YR1.7/1	黒色	土	10YR4/6土ブロック・粒を20%含む。
SD1179	11	10YR2/3	黒褐色	土	φ3cmとφ2cmの礫を1個ずつ含む。10YR3/4土粒、酸化鉄分を微量含む。
	12	10YR4/6	褐色	土	10YR2/2の土粒を50%近く含む。10YR4/6土が酸化した土と考えられる。
	13	10YR2/2	黒褐色	土	φ1cm程度の地山BLと10YR4/6土粒を30%含む。(地山B)
	14	10YR2/2	黒褐色	土	10YR4/6土粒と酸化鉄分を微量に含む。植物根による撹乱あり。

BL：ブロック



第73図　吉原Ⅰ遺跡SD3・1179出土遺物



第74図　吉原Ⅰ遺跡SD1227・1504溝跡

遺構番号	層位	土　色	土質	備　考
SK1505a	1	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。炭化粒を含む。
	2	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを多く含む。炭化粒を含む。
	3	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒を少量含む。ぼそぼそしている。
	4	10YR2/3　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	5			4と同層と思われるが、崩落している。
SD1504	6	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	7	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを多く含む。
SD1504b	1	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	2	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	3	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロック（大）を多く含む。
	4	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを下部に中程度含む。
	5	10YR2/2　黒褐色	土	比較的均一な層。
	6			ST1528覆土
SD1227c	1	10YR1.7/1 黒色	土	φ 1cm～5mmの地山ブロックと地山粒を微量含む。極小の酸化鉄分を微量含む。
	2	10YR2/2　黒褐色	土	φ 1cm～5mmの地山ブロックと地山粒を20%含む。10YR1.7/1の土粒を5%含む。
	3	10YR2/2　黒褐色	土	φ 1cmの地山ブロック1個と地山粒を微量含む。極小の酸化鉄分を1個含む。
	4	10YR1.7/1 黒色	土	形のはっきりしないφ 5cm～5mmの地山ブロックと地山粒を50%近く含む。
	5	10YR2/2　黒褐色	土	φ 3cm～5mmの地山ブロックと地山粒を10%含む。10YR2/3のブロックと土粒を10%含む。
SD1227d	1	10YR2/2　黒褐色	砂質土	地山粒をわずかに含むが、均一な層。
	2	10YR2/2　黒褐色	砂質土	地山粒を少量含む。
	3	10YR2/2　黒褐色	砂質土	ブロック状に入っている。
	4	7.5YR3/4　暗褐色	砂質土	10YR2/2砂質土を斑状に中程度含む。

c類　幅2.5m以上を測るもの

ＳＤ100・191・801（第67～70図）

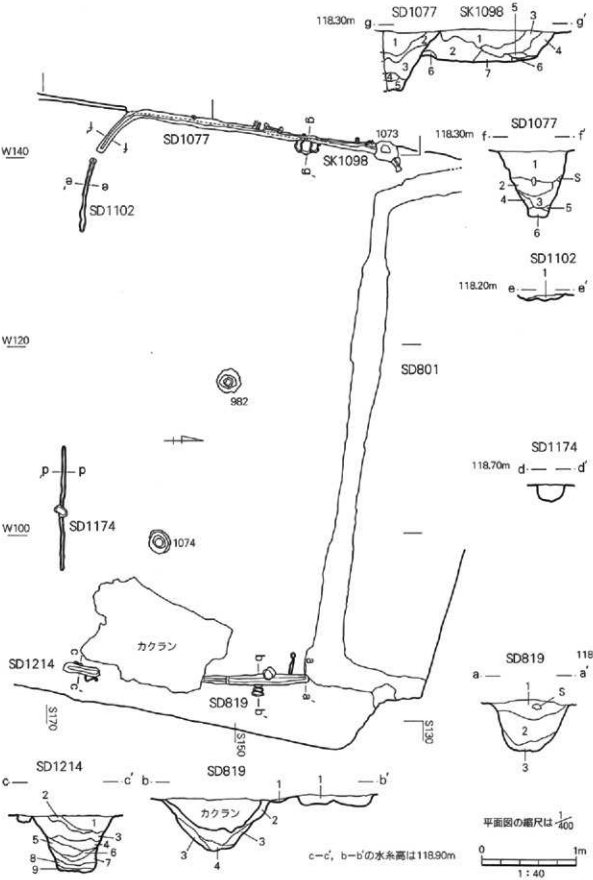
調査区中央北側に位置し、中世の掘立柱建物跡を区画する堀跡である。北辺を除く三辺が検出され、南北53m以上、東西52mの範囲を区画する。堀跡内部には掘立柱建物跡が７棟検出されている。幅2.5～６m、確認面からの深さは0.9～1.2mを測る。主軸方位は南北軸でＮ－８°－Ｅである。一部未精査の部分もあるが、壁の立ち上がりは緩やかで、底面には一部段差や凹凸が確認された。底面の形状からは、防御用または土橋などの施設があったものと推測される。

堀跡は北西角から二又に分かれており、北側は調査区外となり不明であるが、東側に伸びる溝跡は幅が1.4mと小さく、確認面からの深さも70㎝前後と浅くなる。

遺物は外面全体にススの付着した土師質土器皿（68－１）や須恵器系陶器の擂鉢（68－３）、甕（68－４、５）、瓷器系陶器甕（68－６、７）、砥石、凹石、磨石、石鉢などの石製品、覆土上層から黒瓦片（68－10、13）が出土した。

d類　上記の分類に入らないもの

d類として、幅0.6m前後で蛇行して走るＳＤ124などがある。時期は不明である。その他に、ＳＤ27・34・245・246・249・501・502・504・511・512・516・522・719・720・721・1103・1105・1108など がある。上記の遺構は現代まで農道として使用された部分の遺構確認面で検出された溝跡であり、道路状遺構の可能性がある。農道は明治の字限図でも確認される。時期は出土遺物がないため、不明である。



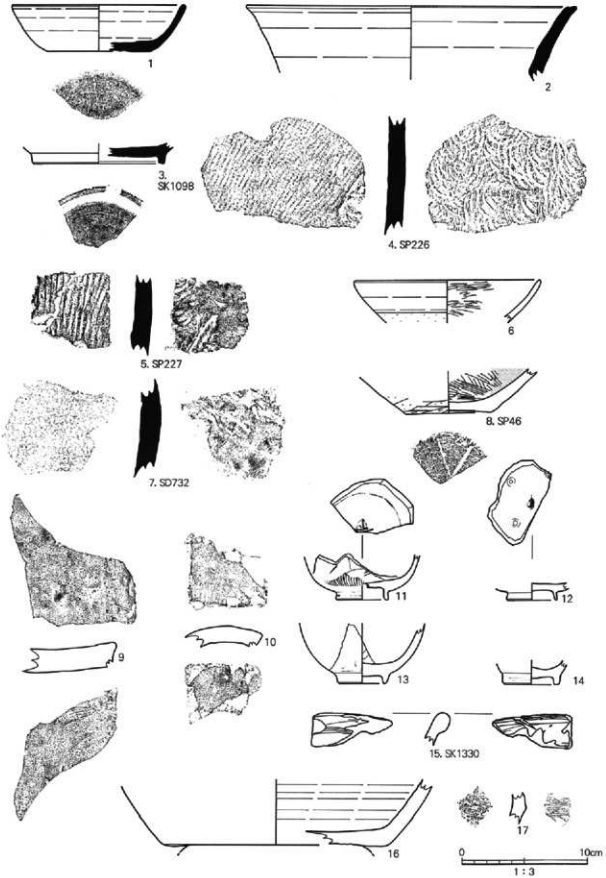
第75図　吉原Ⅰ遺跡SD819・1214・1174・1102・1077溝跡

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SD819a	1	10YR3/1　黒褐色	土質砂	砂粒やや多量。
	2	10YR2/3　黒褐色	砂質土	φ2mmの礫あり。砂粒少量。
	3	10YR3/1　黒褐色	砂質土	砂粒やや多量。
SD819b	1	10YR3/4　暗褐色	砂均質	SP覆土
	2	10YR2/3　黒褐色	砂質土	φ5cmの礫あり・砂粒少量。
	3	7.5YR2/2　黒褐色	砂質土	地山主体・10YR2/3砂質土やや少量。
	4	10YR3/1　黒褐色	砂質土	砂粒やや多量。
SD1214c	1	10YR4/6　褐色	土	10YR2/2土粒、同ブロックを中程度含む。
	2	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
	3	10YR2/3　黒褐色	砂質土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	4	10YR5/6　黄褐色	土	10YR2/2土粒・同ブロックを中程度含む。
	5	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
	6	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒を少量含む。
	7	7.5YR3/4　暗褐色	砂質土	比較的均一な層。
	8	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	9	10YR6/8　明黄褐色	土	
SD1174d	1	10YR2/2　黒褐色	土	φ1～5mm地山ブロックと地山粒を5%含む。極小の酸化鉄分を微量含む。
SD1102e	1	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒を10%含む。極小の酸化鉄分を微量含む。
SD1077f	1	10YR3/4　暗褐色	砂質土	10YR1.7/1の土粒を微量含む。φ2cm～8cmの地山ブロックと地山粒を30%含む。φ5cmを最大とする礫を20%含む。
	2	10YR4/6　褐色	砂	地山由来と思われる。φ5mm～3cmの礫を多量に含む。10YR2/3の土を薄層縞状に含む。
	3	10YR2/3　黒褐色	土	φ5cm程度の10YR4/4土ブロックを一片含む。φ1cmの礫を1個含む。地山粒を微量含む。
	4	10YR4/4　褐色	砂質土	地山の基層。均質。
	5	10YR4/4　褐色	砂質土	φ3cm程度の礫を多量含む。(地山中央)　10YR2/3を粒状に40%含む。
	6	10YR2/2　黒褐色	砂	10YR6/4土粒を30%含む。φ3～4cmの地山由来の礫を多量に含む。
SD1077g	1	10YR2/2　黒褐色	土	φ2cm程度の地山ブロックと地山粒を40%含む。φ5mmの酸化鉄分を1個含む。φ1cm程度の礫を微量含む。
	2	10YR2/2　黒褐色	土	φ2cm程度の礫を1よりも多く含む。地山粒を少量含む。
	3	10YR2/1　黒色	土	φ2cm程度の地山ブロック1個と地山粒を微量含む。
	4	10YR1.7/1　黒色	土	φ1cm程度の地山ブロックをまんべんなく30%含む。
	5	10YR1.7/1　黒色	土	4層より大ぶりなものの、形のはっきりしない地山ブロックと地山粒を30%含む。
SK1098g	1	10YR2/2　黒褐色	土	φ5cmを最大の大きさとする、地山ブロックと地山粒を30%含む。
	2	10YR2/1　黒色	土	地山粒・同ブロックを、6よりも多く40%含む。
	3	10YR2/2　黒褐色	土	地山粒・同ブロックを、6・7層よりも多く50%含む。
	4	10YR2/1　黒色	土	φ5mmの炭化物を1個含む。僅少の酸化鉄分を微量含む。
	5	10YR4/6　褐色	土	10YR1.7/1の粒土を微量含む。
	6	10YR1.7/1　黒色	粘質土	φ1cm程度の地山ブロックを10%含む。
	7	10YR1.7/1　黒色	粘質土	φ2～1cmの地山ブロック・地山粒を30%含む。極少の酸化鉄分を微量含む。

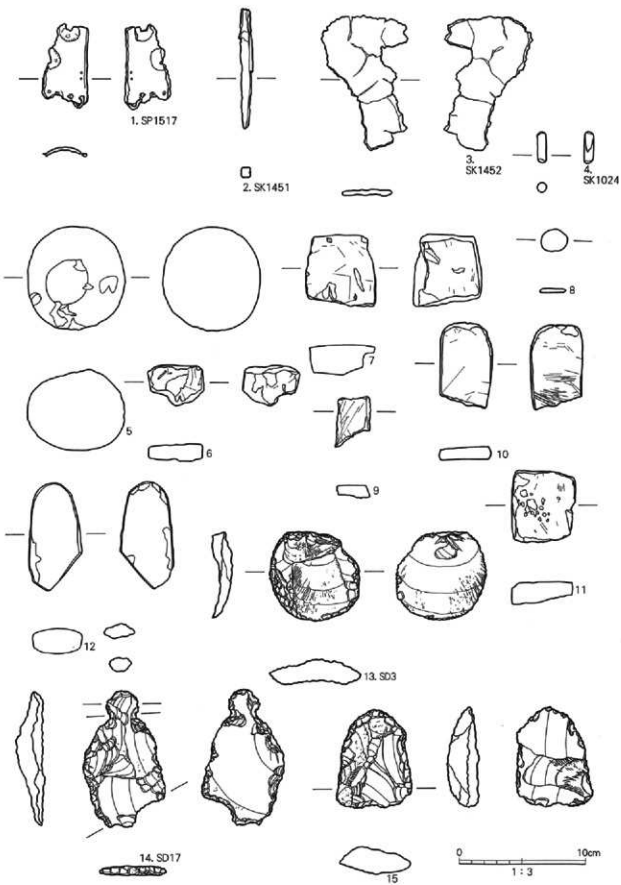
(7)　その他出土遺物（第76・77図）

本遺跡において平面図の掲載していない遺構、またはグリッド、表土から出土した遺物のうち、図化したものについて以下に概述する。

76－1は底部切離しがヘラ切の須恵器坏、76－2は底部外面がヘラケズリ調整された須恵器高台坏である。76－3は須恵器甕の口縁部、76－4は須恵器甕体部片である。外面は平行タタキ、内面は同心円状のアテが施される。76－6はロクロ成形の土師器坏であり、外面体部下半がヘラケズリ、内面がミガキ調整される。76－7は赤褐色を呈する須恵器質の土器片である。76－8は土師器鉢で、体部外面はヘラケズリ、内面はミガキ、黒色処理される。底部に木葉痕が認められる。76－9は赤瓦片、76－10は黒瓦片である。76－11～14は肥前系の磁器碗である。76－15～17は瓦質土器である。15は鉢口縁部で、内外面ともミガキ調整される。16は鉢底部で、脚部分が剥離しているが、本来は4脚付くものと思われる。17は鉢の体部片で、菊花状のスタンプ文が施されている。77－1～3は金属製品である。1は板状の鉄製品で、穿孔が全部で6ヶ確認された。そのうちの1ヶにはリングが通される。2は棒状鉄製品である。3は鉄鍋の破片と考えられる。77－4～10は石製品である。4は滑石製の石製品で、丁寧な加工がなされる。6・7・9・10・11は砥石である。77－12～15は石器である。これらの石器は磨滅しており、周辺の遺跡からの流れ込みによるものと考えられる。12は磨製石斧、13、15はスクレーパー、14は石匙である。石匙はその先端を加工しなおし、再利用している。



第76図　吉原Ⅰ遺跡その他出土遺物（1）



第77図　吉原Ⅰ遺跡その他出土遺物（2）

表3　吉原Ⅰ遺跡出土遺物観察表（1）

挿図番号	遺物番号	出土地点・層位	器種	種別	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	外面特徴	内面特徴	底部特徴	備考
4	1	SB30　E67	坏	土師器				ナデ、ケズリ	ミガキ		
5	1	SB40　E65	坏	土師器				ナデ	ミガキ、黒色		
8	1	SB55　E61	甕	須恵器				平行	ヘラナデ		
	2	SB55　E65	壺	須恵器	(20.0)			ロクロ	ロクロ		
10	1	SB92　E61	甕	須恵器				格子目	無文		
	2	SB92　E64	坏	土師器				マメツ	ミガキ、黒色	丸底	
11	1	SB93　E67	鉢	須恵器				ロクロ調-ケズリ	ロクロ		
	2	SB93　E69	坏	須恵器	(14.0)			ロクロ	ロクロ		
	3	SB93　E67	壺	須恵器	(22.2)			ロクロ	ロクロ		
	4	SB93　E66	壺	須恵器				ロクロ	ロクロ		
	5	SB93　E67	甕	須恵器				平行	同心円		
	6	SB93　E67	甕	須恵器				平行	同心円		
	7	SB93　E68	甕	須恵器				平行	同心円		
	8	SB93　E68Y	甕	須恵器				平行			
	9	SB93　E67F1	甕	須恵器				ロクロ	ロクロ		
	10	SB93　E67	壺	須恵器				平行			
	11	SB93　E68F1~F2	甕	土師器				ハケメ	ハケメ		
	12	SB93　E67F6	坏	土師器	(25.6)			ナデ	ナデ		
	13	SB93　E65	甕	土師器				ハケメ	ハケメ		
13	1	SB94　E68	壺	須恵器	(10.1)			ロクロ	ロクロ		
	2	SB94　E68	瓶	須恵器	(15.0)	8.6		ロクロ	ロクロ		
	3	SB94　E61	壺	須恵器				平行	ロクロ		
	4	SB94　E66	坏	土師器				ケズリ	ミガキ	ヘラケズリ	
	5	SB94　E66	鉢	土師器		1.5		ハケメ	ミガキ、黒色		
	6	SB94　E66	砥石	石製品	1.5		0.65				
	7	SB94　E68	甕	須恵器				平行	同心円		
	8	SB94　E68	甕	須恵器				平行	同心円		
	9	SB94　E68	甕	須恵器				平行	同心円		
	10	SB94　E68	甕	須恵器				平行	同心円		
	11	SB94　E68	甕	須恵器				平行	平行		
14	12	SB94　E68	甕	須恵器	41.0						
	13	SB94　E69②	甕	須恵器					平行		
	14	SB94　E69②	甕	須恵器				平行	同心円		
	15	SB94　E66	甕	須恵器				平行	同心円		
15	1	SB97　E66	壺	須恵器		4.5		平行	ロクロ		
	2	SB97　E66	壺	須恵器				平行	ロクロ		
	3	SB97　E66	甕	土師器				ハケメ	ハケメ		
	4	SB97　E64	甕	土師器				ハケメ	ハケメ		
	5	SB97　E66F	甕	土師器				ロクロ	ハケメ		
18	1	SB118　E62	坏	土師器	(13.2)			平行	ミガキ、黒色		
	2	SB118　E65	甕	須恵器				ハケメ	平行		
20	1	SB119　E63	瓶	須恵器	(16.0)			ナデ	ロクロ		
	2	SB119　E65	鉢	須恵器	(15.8)	(8.2)		調-ケズリ	ロクロ		
	3	SB119　E66	坏	須恵器	13.6		3.8	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	4	SB119　E65	坏	須恵器	(14.5)	9.6	3.75	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	5	SB119　E65	坏	須恵器	(13.8)	(12.0)	4.1	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	6	SB119　E66	坏	須恵器	(14.2)	(10.0)	3.6	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	7	SB119　E65	坏	須恵器		(10.0)		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	8	SB119　E65	高台付坏	須恵器	(16.4)	(10.2)	4.8	ロクロ	ロクロ		
	9	SB119　E66F	高台付坏	須恵器		10.6		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	10	SB119　E63	坏	土師器		(9.8)		ヘラケズリ	マメツ、黒色		
21	1	SB95　E64F	坏	土師器				ロクロ	ミガキ		
33	1	ST1　F上	鉢	須恵系陶器		—					
37	3	SK1307　F上	鉢	須恵系陶器	(26.0)	—	—		ロクロ		
	4	SK1307　F上	甕	須恵系陶器	—	—	—	ロクロ	ナデ		
	5	SK1307　F下	甕	須恵系陶器	—	6.5	—	ナデ	ナデ		
39	2	ST1323	砥石	石製品	13.3		4.8				下部欠損 砥面4 面
44	1	SK65	甕	須恵器							
	2	SK65	甕	須恵器		(7.4)		平行			
	3	SK1348	坏	須恵器	—	10.0	—	平行	ロクロ	糸切	底-ヘラ記号「×」
45	1	SK207	坏	土師器	17.5		4.4	ロクロ	ナデ	ヘラケズリ	
	2	SK207	坏	土師器	(13.4)			ナデ-ヘラケズリ	ミガキ、黒色		
	3	SK207	甕	土師器				ナデ	ハケメ		
	4	SK207	甕	土師器				ナデ、ハケメ	ハケメ		
	5, 6	SK207	甕	土師器				ハケメ			
	7	SK207	甕	土師器				ハケメ	ナデ		
	8	SK207	甕	土師器				ハケメ	ハケメ		
	9	SK207	甕	土師器				ハケメ	ハケメ		
	10	SK207	甕	土師器		8.75		ハケメ	ハケメ		
49	1	SK283	凹石	石製品	9.5	10.9	4.5	ハケメ			
	2	SK283	凹石	石製品	12.5	10.4	5.4				凹部を除き全体にスス炭付着
	3	SK283	凹石	石製品	12.3		6.7				
50	1	SK645　F1	甕	須恵系陶器	—	(17.4)	—		ナデ		
51	2	SK982　F下	壺	須恵系陶器	—	—	—	ロクロ	ロクロ		
	2	SK982	砥石	石製品	6.4	6.9	3.8				砥面3面
	3	SK982	刀子	金属製品	28.9	2.3	0.85				
52	1	SK1462	砥石	石製品	8.4	3.4	1.7				砥面4面
	2	SK1462	砥石	石製品	11.1	6.1	4.4				下部欠損砥面2 面
	3	SK1462	砥石	石製品	—	—	1.9				

表4　吉原Ⅰ遺跡出土遺物観察表（2）

挿図番号	遺物番号	出土地点・層位	器種	種別	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	外面特徴	内面特徴	底部特徴	備考
54	1	SK1326　F中～下	皿	瀬戸美濃陶器	―	5.6	―	灰釉（灰緑釉）	輪ドチ痕		大窯期
	3	SK1327　F下	砥石	石製品	9.4	5.0	3.3				砥面4面
57	1	SK1525	甕	須恵器	―	―	―	タタキ			
	2	SK1525	甕	瓷器系陶器	―	―	―				
	3	SK1525	甕	瓷器系陶器	―	―	―	ナデ			内面スス？付着
	4	SK1481	甕	瓷器系陶器	―	(15.4)	―		ナデ		
58	1	SK1456　F中	擂鉢	陶器	―	(13.0)	―		使用によるマメツ		
59	1	SE1073	茶臼	石製品							
63	1	SD101　F1	甕	須恵器				ロクロ	ロクロ		
	2	SD101	坏	土師器		(8.0)		ヘラケズリ	ミガキ	ヘラケズリ	
	3	SD219	甕	須恵器				平行	同心円		
64	1	SD1490	坏	須恵器	14.0	7.95	4.15	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	海綿骨針多い
	2	SD1490	甕	須恵器	―	―	―	平行	同心円		
65	1	SD261	坏	須恵器	(14.0)	(7.0)	4.3	ロクロ	ロクロ	糸切	ヘラ記号「×」
68	1	SD191	皿	土師質土器	(8.8)	5.2	2.0	ロクロ	ロクロ	スス付着により不明	スス付着
	2	SD100	皿	土師質土器	(14.8)	(11.4)	2.1	マメツ	マメツ	マメツ	
	3	SD191	擂鉢	須恵器系陶器				ロクロ	卸し目		
	4	SD801　F上	甕	須恵器系陶器	―	―	―				
	5	SD100	甕	須恵器系陶器				平行			
	6	SD100	甕	瓷器系陶器				ナデ	ナデ		
	7	SD801	甕	瓷器系陶器	―	―	―		ナデ		
	8	SD100　F上層	砥石	石製品	4.7	4.2	3.2				
	9	SD100	砥石	石製品	4.5	2.5	1.2				
	10	SD801　F下	平瓦	瓦	―	―	1.8				
	11	SD801		石製品	8.9	8.5	4.75				砥面5面
	12	SD100　F	砥石	石製品	5.2	3.2	2.0				
	13	SD801　F上	平瓦	黒瓦	―	―	1.65	マメツ	マメツ		
69	14	SD801	凹石	石製品	6.5	7.1	4.6				
	15	SD191	凹石	石製品	8.7	7.3	5.2				
	16	SD801	凹石	石製品	10.8	9.7	6.3				
	17	SD801	磨石	石製品	8.9	7.8	6.1				
	18	SD191	石皿状	石製品	13.2	11.1	2.0				
	19	SD191	石鉢	石製品	(26.4)	(19.4)	18.9				
70	20	SD100　F下層	石鉢	石製品	(17.4)	20.4	14.4				
	21	SD100	石鉢	石製品	(24.9)						
73	1	SD3　F2	甕	瓷器系陶器				ナデ	ナデ		
	2	SD3　F2	甕	瓷器系陶器				ナデ	ナデ		
	3	SD3　F2	擂鉢	瓷器系陶器	(11.8)			ナデ			
	4	SD1179	甕	瓷器系陶器	―	―	―	ナデ	ナデ		
	5	SD1179	甕	瓷器系陶器	―	(17.4)	―				
	6	SD3　F	砥石	石製品	9.2	4.9	2.0				
	7	SD3　F1	砥石	石製品							
	8	SD1179	砥石	石製品	14.4	4.3	2.0				砥面4面
	9	SD3	凹石	石製品	3.3	2.4	2.9				
76	1	49-29G	坏	須恵器	(13.6)	(8.2)	3.6	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	2	SK1098	高台付坏	須恵器	―	(10.4)	―			回・ヘラ削り	内・外面平滑
	3	I	甕	須恵器	(26.2)			ロクロ	ロクロ		
	4	SP226	甕	須恵器				平行	同心円		
	5	SP227　F上	甕	須恵器				平行	同心円		
	6	I	坏	土師器	(14.6)			ロクロ,ケズリ	ミガキ		
	7	SD732　F上	甕	須恵器	―	―	―	格子目			
	8	SP46　F	鉢	土師器		(7.0)		ヘラケズリ	ミガキ、黒色	木葉痕	
	9	53-30G	平瓦	赤瓦			1.8				
	10	I	瓦	黒瓦			1.7				
	11	L　検出面	碗	磁器	―	(4.0)	―				
	12	49-29G	皿	磁器		(4.0)					
	13	I（表土）	碗	磁器		3.6					
	14	34-42G	碗	磁器		4.4					
	15	SK1330	鉢	瓦質土器	―	―	―	ミガキ	ミガキ		
	16	確認面		瓦質土器	―	―	―				
	17	I（表土）	鉢	瓦質土器				スタンプ文			
77	4	SK1024		石製品	2.45	0.7	0.7				
	5	確認面	磨石	石製品	8.15	7.6	6.3				
	6	I	砥石	石製品	4.3	3.2	1.3				
	7	34-42G	砥石	石製品	5.6	5.5	2.4				
	8	I	砥石	石製品	3.9	2.7	0.9				
	9	49-24G		石製品	2.0	1.8	0.3				
	10	41-38G	砥石	石製品	6.4	4.1	1.0				
	11	49-24G	砥石	石製品	5.7	5.0	1.7				被熱
	12	I	磨製石斧	石製品	8.3	4.2	2.0				
	13	SD3	スクレーパー	石器	9.2	8.9	5.9				
	14	SD17	石鏃	石器							
	15	38-37G		石器							

表5　吉原Ⅰ遺跡出土古銭観察表

挿図番号	遺物番号	出土地点	層序	種別	初鋳（年）	計測値（mm） 径	厚さ	整理番号
37	1	ST1200	F	天聖元寶	1023	25	1.5	41
39	1	ST1323	Y	景徳元寶	1004	24	1.5	42
48	1	SK262	F	開元通寶	621			
54	2	SK1326	F	永楽通寶	1408	24.5	1.5	43
53	2	SK1387	Y直	成平元寶	998	24.5	1.5	44
53	1	SK1387	F	天聖元寶カ		24	1.5	45
		SK1387	F	不明		-	-	46
56	1	SK1445	F上	皇宋通寶	1039	25	1	47
		SK1446	F上	紹聖元寶カ		24.5	-	48
		SK1446	F上	不明		-	-	49
56	3	SK1447	F上	天聖元寶カ		24.5	1	50
		SK1447	F下	皇宋通寶カ		-	-	51
		SK1448	F下	元寶通寶カ		25	1.5	52
		SK1448	F上	不明		-	-	53
		SK1448	F下	天〇元寶		-	-	54
56	4	SK1449	F下	聖宋元寶	1101	24	1	55
55	4	SK1460	F上	開元通寶	621	23	1	56
55	5	SK1460	F上	皇宋通寶	1039	24	1.5	57
55	6	SK1460	F上	元〇〇寶		24	1	59
55	7	SK1460	F上	天聖元寶	1023	24.5	1	58
		SK1460	F上	天〇元寶		26	1.5	60
		SK1460	F上	不明		-	-	61
		SK1460	F下	元〇通寶		24	1	62
		SK1520	F上	不明		-	-	63
56	2	SK1530	F下	天聖通寶カ	1078	24	1.5	64
		SK1530	F下	嘉祐通寶カ	1056	25	1.5	65
		グリッド		元〇〇寶		23.5	1	66

表6　吉原Ⅰ遺跡出土金属製品観察表

挿図	番号	出土遺構	層序	種別	計測値（cm） 長さ	幅	厚さ		整理番号
37	2	ST1200	F	棒状鉄製品	16.7	1.4	1.2	長頸式鉄鏃と推定されるが、先端部は死んでおり、鏃身部は見当たらない。現状で18cm弱。鏃身部があれば20cm 超になると考えられる。途中で折れ曲がっている。悪性の錆の発生が認められた。錆の状況から鍛造品と推定。	DZ1
39	3、4	ST1323	床直	入八双金物	8.4	4.65	0.5	薄い板状鉄器。形状は生きており、なんらかの装飾品と考えられる。所々に見える穿孔のような穴は腐食してあいた錆穴。クワ形のような形状。	DZ2
42	1	ST1526	F上	斧	8.9	1.4	0.9		
51	3	SK982	F	短刀	28.9	2.3	0.85		
55	1	SK1324	F	板状鉄製品	5.1	2.9	0.35	板状鉄器。二枚の板を重み合わせたような形状の製品。端に金具のような突起がある。	DZ8
55	2	SK1324	F	鉄製品	8	1.4	0.6	鉄製品。突起物が五つあり、その内の二つの先端が二股に分かれた形状。しかし、先端部は死んでいるため、本来の形状は不明。本体部は緩やかに湾曲。	DZ3
55	3	SK1460	F	刀子	11.3	1.3	0.3		DZ7
56	5	SK1448		刀子	3	1.3	0.6	No.4鉄製品。形状から刀子の一部ではないかと推察される。	DZ4
56	6	SK1447	F	金具	1.8	0.7	0.45	鉄製品。両端に先端が二股に分かれ、返しのある小金具。明確に返しと判断できるものは一つだけである。	DZ6
77	1	SP1517	F	鉄製品	6	3.5	0.2	鉄製品。リング付板状鉄器。穿孔が全部で6ヶ確認できた。4ヶは短辺に、2ヶが長辺に存在する。短辺の方の1ヶにはリングが通されている。短辺の方の残3ヶにはリングの残片と考えられる棒状の突起がみられる。又、接続用と考えられる1cm 5mm 程度の金具が2ヶ付着している。金具の中心には突起状の装飾、周囲には放射状の装飾も確認できる。	DZ10
77	2	SK1451	F（上）	棒状鉄製品	9.45	0.8	0.8		DZ5
77	3	SK1452	F	鉄鏃カ	10.3	6.7	0.5	鋳造品。板状鉄器。鏃とヒビの状況から鋳造品と推定される。	DZ11

3　まとめ

今回の調査では奈良～平安時代と中世の遺構と遺物が出土している。

奈良～平安時代

奈良～平安時代の遺構は掘立柱建物跡を中心とし、土坑・溝跡などが調査区の東側に多く検出された。

掘立柱建物跡の規模は、２×３間の側柱建物が９棟を主体に、２×２間の総柱の建物が３棟確認される。２×３間以上の建物跡の柱穴掘り方は、平面形が概して方形や隅丸方形を呈し、大型で、２×２間の総柱の建物やそれ以外の建物の柱穴掘り方は、平面形が円形や楕円形を呈し、小型のものであるため、建物の規模・性格などにより、柱穴の掘り方も変えたものと考えられる。

主軸方向では、座標北を向くもの及び座標北から西に１°～９°振れるものと、座標北から東に３°～20°振れるものの大きく三つに分けられる。建物どうしの切り合いは、ＳＢ90→ＳＢ91、ＳＢ92→93、ＳＢ94→93で認められ、同じ主軸方向の中でも時期差があると判断される。また、ＳＢ90・91の先後関係から、東に振れる一群から、西へ振れる一群への変遷が考えられる。以上から、建物群は少なくとも３時期以上の変遷が考えられ、年代は出土遺物から、８世紀後葉～９世紀前半頃にあてられる。

ＳＤ101・121・218・219・820溝跡は、出土遺物などから、奈良～平安時代に帰属する溝跡で、当該期の掘立柱建物跡を区画する溝跡と考えられる。区画する範囲は南北77m、東西70mを測る。ＳＤ218はＳＢ99と重複関係にあり、溝跡が構築された時期と建物跡の間にも時期差が認められる。溝跡内部には２×２間の総柱の建物跡が位置しているのみであるが、中世の遺構が当該期の遺構を破壊した結果と推測される。

中世

中世の遺構は掘立柱建物跡・竪穴状遺構を中心に、それらを区画する堀跡、溝跡、土坑、ピットなどが調査区中央部に多数検出された。

掘立柱建物跡はＳＢ185を除き、ＳＤ100・191・801堀跡の内部に検出され、ＳＢ178や183などの廂付きの大型建物を中心とし、ＳＢ177などの小型の建物を周辺に配置されている。

建物どうしの切り合いはＳＢ179→ＳＢ181で認められ、主軸方向では座標北を向くもの、座標北からやや東に振れるもの、座標北から西に振れるものと大きく三つに分けられる。ＳＢ179・181の先後関係から、北から東に振れる一群から、西に振れる一群への変遷が考えられる。建物跡からの出土遺物がなく、年代根拠に乏しいが、掘立柱建物跡群を区画する堀跡と同時期と考え、14～16世紀にあてられる。

竪穴状遺構は、掘立柱建物跡群が構築される地区とは異なる場所に検出され、溝跡による区画がなされている。主軸方向から、座標北から８°～17°西に振れる一群、座標北から20°～30°以上西に振れる一群の、大きく二つのグループに分けられる。前者はＳＤ３、後者はＳＤ1504・1227と主軸方向を同じくする。

竪穴状遺構の年代は、瓷器系陶器片や北宋銭が出土していること、竪穴状遺構を区画する溝跡や周辺の土坑から、須恵器系・瓷器系陶器、瀬戸美濃系の皿などが出土することから、掘立柱建物跡と同じ14～16世紀にあてられる。

本遺跡における中世の集落は、堀跡内部はいわゆる「方形居館」の形態をなし、在地の有力層などが居住したものと推測され、堀跡外部は貯蔵施設や作業場的な空間としての利用が考えられる。

出土遺物からも笄や短刀など、一般の人々では持つことのできないであろう遺物が出土し、有力層の存在を物語っているものと思われる。

Ⅳ　吉原Ⅱ遺跡

1　遺跡の概観

(1)　調査区と層序

吉原Ⅱ遺跡の範囲は、南北200m、東西250mの22,000㎡の範囲に広がる。地目は水田で、付近の標高は122～123mを測る。平成９・12・14年度の３次にわたり発掘調査が行われ、１・２次調査は街区道路工事、３次調査は民間の店舗建設に伴うものである。第１次調査区をＡ区、２次調査区をＢ区、３次調査区をＣ区と呼称する。

調査区のグリッドは現場調査段階でその都度、各調査区にあわせた任意のグリッドを設定したが、報告書作成にあたり公共座標をもとにグリッドを改めて設定しなおした。国土座標平面直角座標系第Ⅹ系：Ｘ＝－196,920.00、Ｙ＝－45,040.00を原点とし、南をＳ、西をＷと表記し、そこから１ｍを最小単位とするグリッドの設定を行った。

基本層序は概ね３層に分けられた。具体的には、Ⅰ層が褐灰色土（表土、耕作土）、Ⅱ層が黒色土（遺物包含層）、Ⅲ層が黄褐色土（地山）である。Ⅰ層は現況の水田耕作土である。Ⅱ層は部分的にみられる層で、Ⅲ層が地山である。Ⅱ層下部から遺物の包蔵が認められ、遺構の検出面はⅢ層直上面であった。全体的に粘性が強く、Ⅱ、Ⅲ層には凝灰岩質の小礫の混入が認められた。

(2)　遺構と遺物の分布

調査で検出された主な遺構は、奈良～平安時代の掘立柱建物跡７棟、竪穴住居跡１棟、土坑、溝跡、河川跡、柱穴などで、登録した数は260を超える。

掘立柱建物跡７棟はＡ区で検出され、Ｂ区には検出されていない。Ｃ区には柱穴と考えられる遺構が確認され、部分的な調査であり建物跡と認定するにはいたらなかったが、掘立柱建物跡はＣ区及びＡ区の東へ広がっていたものと推測される。

建物跡はいずれも南北方向で、建物の長軸も全て南北方向にもつ。主軸方向から少なくとも２時期以上の変遷が認められる。

竪穴住居跡は１棟確認されている。この竪穴住居の廃絶後、ＳＢ５が構築されている。

これらの建物跡の周辺に溝跡が検出されている。溝跡は建物跡と同方向であることから、同時期の遺構で、区画などを目的としたものと考えられる。

河川跡は、Ａ・Ｂ区で検出され、東西に走っている。最上層に近・現代の遺物が混入するが、下層からは奈良～平安時代の土器片や木製遺物、自然木などが多く出土し、遺存状態も良好であった。

遺物はおもに竪穴住居跡や河川跡から出土した。須恵器坏や土師器坏・鉢、赤焼土器坏などの土器が出土し、耳皿、風字硯、墨書土器などの特徴的な遺物も出土している。時期的には、奈良時代末～平安時代前半の８世紀末～９世紀後半があてられる。

2　検出された遺構と遺物

(1)　竪穴住居跡

本調査区では平安時代の竪穴住居跡が1棟検出された。以下に概述する。

ＳＩ01（第78～80図）

位置　ＳＢ05がＳＩ01の北東隅を切っている。またＳＤ130が本遺構の南に位置している。

規模　東西が調査区外となり全体の規模は不明であるが、平面形が南北約6.5m、東西5.8m以上の方形を呈する。確認面からの深さが約6cmと浅く、壁の立ち上がりは不明瞭である。

カマドは、南壁東寄りに焼土と炭が検出されたが、ソデなどは確認できず、遺存状態は良くない。

柱穴は4基確認され、主柱穴となる。また、周溝がカマド部分を除き全周する。周溝は幅8～12cm、床面からの深さ3cm前後を測る。

主軸方向　Ｎ－2°－Ｗ

出土遺物　遺物はカマド周辺、柱穴から比較的多く出土した。器種は、須恵器壷、坏（79－1～4）、高台坏（79－5）、壷、甕、土師器坏（79－9）、土師器甕などがある。

須恵器坏は底部切離しがヘラ切で、ヘラ切後、ナデなどの調整は見受けられない。高台坏は大型の形態で、底部切離しはヘラ切である。壷（79－6）は肩部に最大径を持つ形態で、ロクロ痕が明瞭に残る。9は内面にミガキ、黒色処理される。土師器甕は非ロクロ成形のもので、長胴形の大型のもの（80－15、16、21）と小型のもの（80－10～13）が認められる。口縁部付近はナデ、体部外面は縦方向、体部内面は横方向のハケメ調整が施されている。底部は編物痕と木葉痕が確認された。

(2)　掘立柱建物跡

掘立柱建物跡として確認できたものは7棟である。この他にも多くの小ピットを検出したが、積極的に建物跡とするまでに至らなかった。

内訳は2×3間が1棟、2×2間（廂付）が2棟、調査区外に伸びるなどの理由から、規模不明なものが4棟である。

建物の主軸方向は南北方向を基調とし、全て長軸を南北にもつ。主軸方位は座標北に対し西に振れるもの（ＳＢ02・03・04・06・07）と、座標北に対し東に振れるもの（ＳＢ01・05）と大きく二つのグループに分けられる。

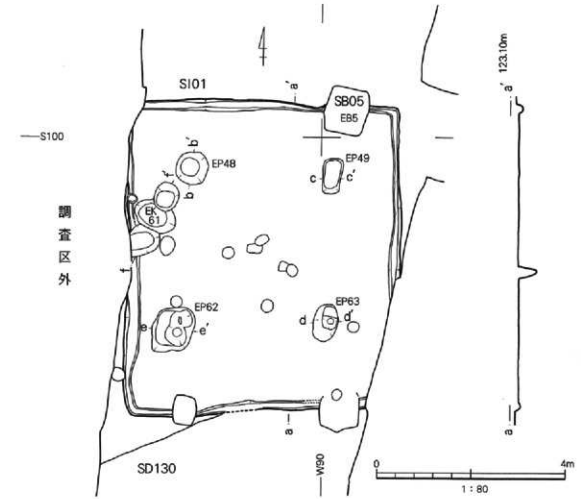
重複関係は掘立柱建物跡どうしでは確認されなかったが、ＳＩ01とＳＢ05について認められ、ＳＢ05がＳＩ01を切っている。以下に各建物跡について概述する。

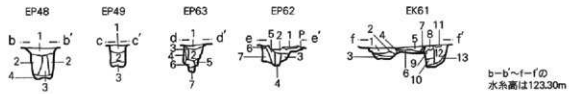
ＳＢ01（第81～84図）

規模　ＳＤ123と重複関係にあり、切られている。梁行4.3m、桁行6.2mを測る2（北1間）×2間の母屋に、南に廂が付く南北棟の建物跡である。柱間は梁行が2.1～2.2m、桁行が1.9～2.2mを測る。

主軸方向　Ｎ－7°30′－Ｅ

柱穴　掘り方は平面形が方形や隅丸方形で、長軸80～120cm、短軸70～116cmを測る。確認面か

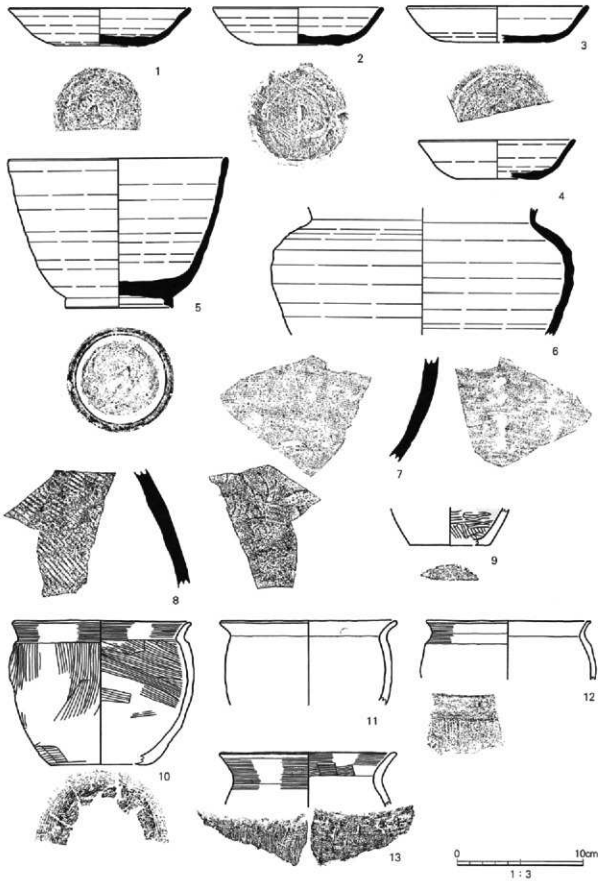




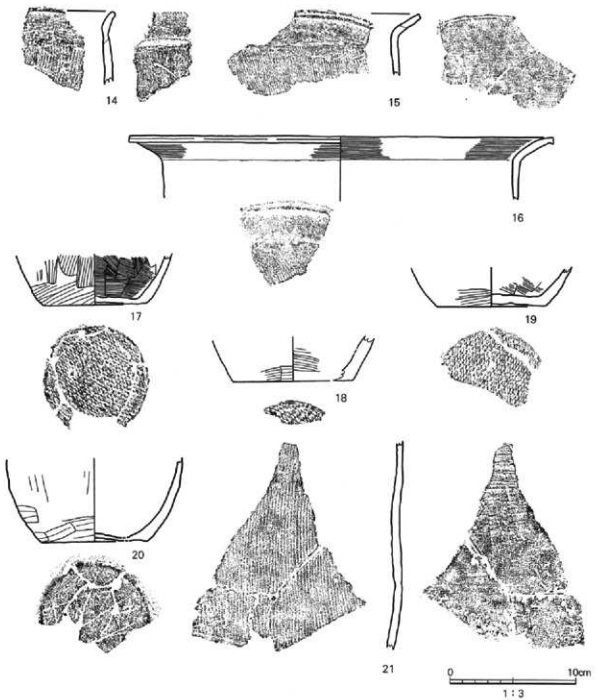
第78図　吉原Ⅱ遺跡SI01竪穴住居跡

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SI01				
EP48	1	10YR2/2 黒褐色	土	
	2	10YR3/4 暗褐色	土	黒土のブロックを含む。
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	黒土のブロックを含む。
	4	10YR4/2 灰黄褐色	土	
EP49	1	10YR2/2 黒褐色	土	
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。黒土ブロックを含む。
	3	10YR4/4 褐色	土	黒土ブロックを含む。
EP63	1	10YR5/6 黄褐色	シルト	粘土ブロックが混じる。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	φ 2～20mm程の礫が混じる。
	3	10YR4/2 灰黄褐色	土	砂粒を含む。
	4	10YR3/2 黒褐色	土	砂粒を含む。
	5	10YR5/4 鈍黄色	土	
	6	10YR6/4 にぶい黄褐色	粘土	
	7	暗灰色	粘土	
EP62	1	2.5YR4/8 赤褐色	土	焼土。
	2	10YR3/2 黒褐色	土	
	3	10YR5/4 にぶい黄褐色	土	粘土ブロックを含む。
	4	10YR2/2 黒褐色	土	炭粒微。
	5	10YR4/4 褐色	土	粘土ブロックを含む。
	6	10YR5/3 にぶい黄褐色	土	砂粒を含む。
	7	10YR4/6 褐色	土	地山ブロックを含む。

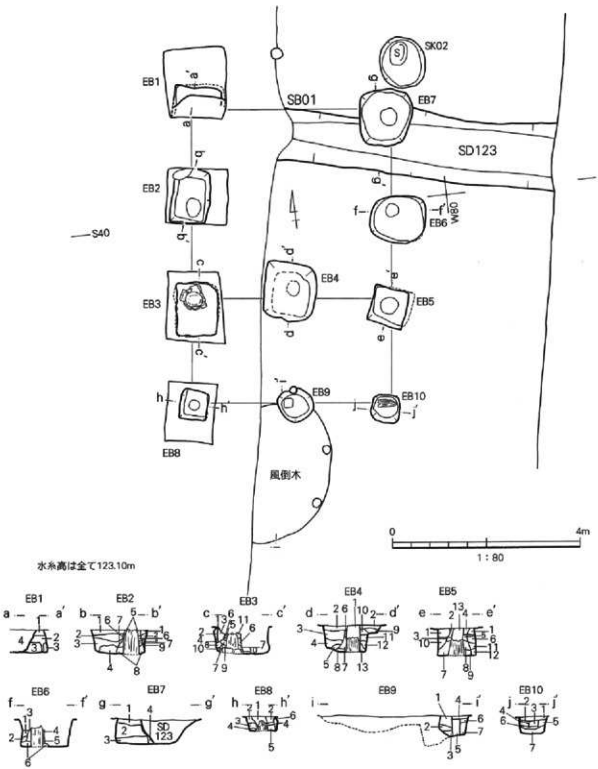
遺構番号	層位	土色	土質	備考
EK61	1	10YR2/2 黒褐色	土	地山ブロックを若干含む。
	2	10YR2/3 黒褐色	土	暗い色調の地山ブロックを含む。
	3	10YR2/1 黒色	土	
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックの層。
	5	10YR3/2 黒褐色	土	地山ブロックを含む。
	6	10YR3/1 黒褐色	土	炭化物を含む。遺物を含む。
	7	10YR4/4 褐色	土	地山ブロックを含む。
	8	10YR3/2 黒褐色	土	遺物を含む。
	9	10YR3/3 暗褐色	土	地山ブロックを含む。
	10	10YR3/1 黒褐色	土	
	11	10YR4/1 褐灰色	土	
	12	10YR4/6 褐色	土	地山ブロックを含む。
	13	10YR3/1 黒褐色	土	



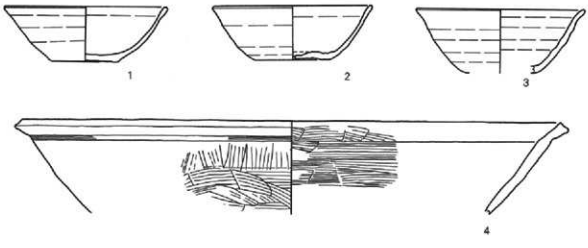
第79図　吉原Ⅱ遺跡SI01出土土器（1）



第80図　吉原Ⅱ遺跡SI01出土土器（2）



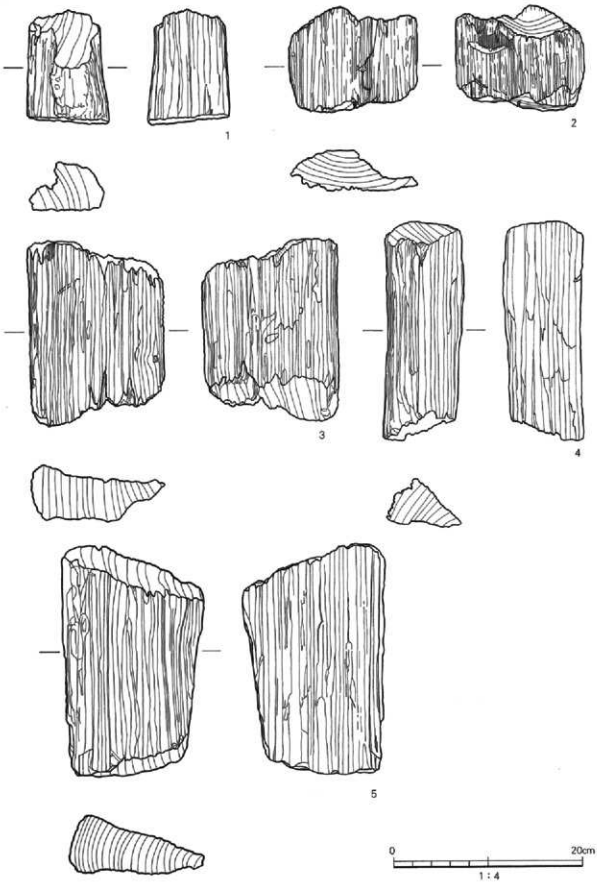
第81図　吉原Ⅱ遺跡SB01掘立柱建物跡



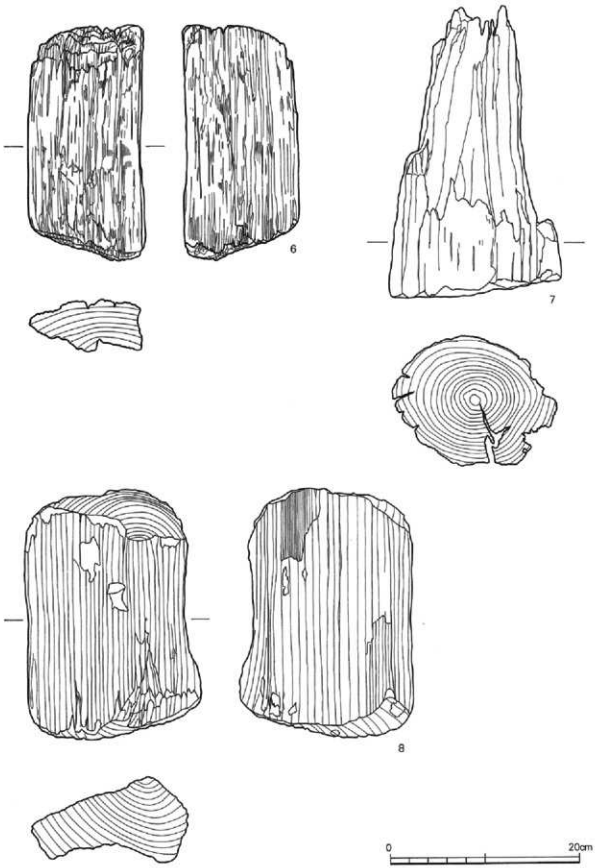
第82図　吉原Ⅱ遺跡SB01出土土器

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SB01				
EB1	1	10YR4/2 炭黒褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	5Y5/3 にぶい黄褐色	シルト	砂粒を含む。粘土ブロックを含む。
	4	10YR5/1 褐灰色	土	焼黒。
EB2	1	10YR5/6 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR3/2 黒褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	2.5Y4/4 オリーブ褐色	土	地山ブロックを含む。粘土ブロックを含む。
	4	2.5Y3/2 黒褐色	土	粘土ブロックを含む。
	5	2.5GY3/1 暗オリーブ灰色	シルト	
	6	2.5GY4/1 暗オリーブ灰色	シルト	砂粒を含む。
	7	2.5GY5/1 オリーブ褐色	シルト	砂粒を含む。
	8	2.5GY4/1 暗オリーブ灰色	シルト	
	9	2.5Y5/6 黄褐色	土	
EB3	1	10YR4/1 褐灰色	土	
	2	10YR6/8 明黄褐色	粘土	
	3	10YR5/8 黄褐色	シルト	砂粒が混じる。
	4	10YR4/1 褐灰色	シルト	若干砂粒が混じる。
	5	7.5GY5/1 緑灰色	粘土	
	6	7.5GY4/1 暗緑灰色	粘土	
	7	10GY4/1 暗緑灰色	粘土	黒土のブロックを含む。
	8	10Y5/2 オリーブ灰色	粘土	
	9	5GY3/1 暗オリーブ灰色	粘土	
	10	5G5/1 緑灰色	粘土	
	11	10Y R3/1 黒褐色	シルト	黒土のブロックが主体。
EB4	1	10YR3/1 黒褐色	土	若干粘土ブロックを含む。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR5/8 黄褐色	シルト	褐色粘土が主体。
	4	10YR4/2 灰黄褐色	土	褐色粘土ブロックを含む。
	5	10YR6/8 明黄褐色	粘土	
	6	2.5Y5/2 灰黄褐色	シルト	
	7	5GY5/1 オリーブ灰色	粘土	
	8	7.5GY2/1 緑黒色	粘土	
	9	10YR4/6 褐色	土	地山ブロックを含む。
	10	10YR5/3 にぶい黄褐色	土	褐色粘土ブロックを含む。
	11	10YR4/2 灰黄褐色	土	褐色粘土ブロックを含む。
	12	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
	13	2.5GY4/1 暗オリーブ灰色	粘土	

遺構番号	層位	土色	土質	備考
EB5	1	10YR4/4 褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	7.5Y5/3 灰オリーブ色	土	若干粘土が混じる。
	3	5GY3/1 暗オリーブ灰色	土	若干粘土が混じる。黒土が混じる。
	4	2.5Y3/2 黒褐色	土	若干粘土が混じる。
	5	10Y4/2 オリーブ灰色	土	若干粘土が混じる。
	6	10YR4/6 褐色	土	
	7	7.5GY4/1 暗緑灰色	シルト	黒土が混じる。
	8	7.5GY3/1 暗緑灰色	シルト	黒土が混じる。
	9	10GY4/1 暗緑灰色	シルト	黒土が混じる。
	10	10YR3/4 暗褐色	土	地山ブロックを含む。
	11	2.5Y3/3 暗オリーブ褐色	土	地山ブロックを含む。
	12	10YR2/2 黒褐色	土	地山ブロックを含む。
	13	10YR2/1 黒色	土	
EB6	1	10Y3/1 オリーブ黒色	土	
	2	7.5Y3/2 オリーブ黒色	シルト	
	3	10GY4/1 暗緑灰色	シルト	粘土ブロックを含む。
	4	7.5GY4/1 暗緑灰色	シルト	粘土ブロックを含む。
	5	10GY4/1 暗オリーブ灰色	シルト	粘土ブロックを含む。
	6	10GY3/1 暗緑灰色	シルト	粘土ブロックを含む。
EB7	1	10YR3/1 黒褐色	土	φ1～10mmの砂を含む。
	2	7.5YR4/3 褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	7.5YR2/2 黒褐色	シルト	地山ブロックを含む。
	4	7.5YR4/1 褐灰色	土	
EB8	1	10YR3/1 黒褐色	土	
	2	10YR4/4 褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR5/6 黄褐色	シルト	φ1～5mm程の砂を含む。
	4	10YR4/2 灰黄褐色	土	
	5	10YR5/6 黄褐色	シルト	φ1～5mmの砂を含む。
	6	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	砂粒を含む。
EB9	1	10YR4/1 褐灰色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR4/1 褐灰色	土	地山ブロックを含む。(1より多い)
	3	10YR4/6 褐色	シルト	
	4	10YR4/1 褐灰色	土	φ3～10mmの石を含む。
	5	10YR2/1 黒色	シルト	
	6	10YR3/3 暗褐色	土	地山ブロック含む。
	7	10YR3/3 暗褐色	土	地山ブロック含む。(6より少ない)
EB10	1	10YR4/2 灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR3/3 暗褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR3/1 黒褐色	土	
	4	10YR3/1 黒褐色	土	地山ブロックを含む。
	5	10YR4/1 褐灰色	土	
	6	10YR3/2 黒褐色	土	地山ブロックを含む。
	7	10YR2/2 黒褐色	土	地山ブロックを含む。



第83図　吉原Ⅱ遺跡SB01出土礎板



第84図　吉原Ⅱ遺跡SB01出土礎板・木柱

らの深さは30～60cmで、廂部分の柱穴は母屋部分の柱穴に比べ、小型で確認面からの深さも浅い。

断面形は側壁が一部オーバーハングする。柱根がＥＢ２～６、８で遺存しており、直径35cm前後のクリ材である。ＥＢ３では、柱根の下に礎板が７枚敷かれていた。礎板は長さ12～26cm、幅８～17cm、厚さ４～９cmを測り、大きさなどに規格性は特に見受けられない。

出土遺物　柱穴覆土より赤焼土器坏（82－１～３）、土師器塊（82－４）、内面が黒色処理される、土師器坏片が出土した。

ＳＢ02（第85図）

規模　ＳＢ01の南方に位置し、梁行3.8m、桁行5.8mを測る２×２間に北面に廂が付く南北棟の建物跡である。柱間は梁行が1.7～2.1m、桁行が2.1～2.2mを測る。

主軸方向　Ｎ－１°－Ｗ

柱穴　掘り方は平面形が方形で、長軸70～100cm、短軸60～85cmを測る。確認面からの深さは14～58cmを測る。断面形は、壁が一部オーバーハングして掘り込まれる。ＥＢ３で柱根が遺存していた。

出土遺物　遺物は出土していない。

ＳＢ03（第86・87図）

規模　ＳＢ02の南に位置する。梁行4.6m、桁行6.6mを測る２×３間規模の南北棟の建物跡である。柱間は梁行がＥＢ１・２・３間で2.2・2.4m、桁行が2.0～2.3mを測る。

主軸方向　Ｎ－５°－Ｗ

柱穴　掘り方は平面形が隅丸方形で、長軸84～116cm、短軸72～92cmを測る。確認面からの深さは36～54cmを測る。断面形は側壁が一部オーバーハングする。ＥＢ10では柱根が遺存していた。

出土遺物　柱穴覆土から須恵器坏（87－１～３）、須恵器甕（87－４・６）、赤焼土器坏が出土した。須恵器坏は底部の切離しが糸切とヘラ切が混在する。87－６は被熱による火ハネ痕が認められる。

ＳＢ04（第86・87図）

規模　ＳＢ03の東に位置する。東側が調査区外となるため、全体の規模は不明であるが、南北6.5mを測る1×４間以上の建物跡である。柱間は北から1.2・2.1・1.8・1.4mを測る。

主軸方向　Ｎ－６°－Ｗ

柱穴　掘り方は平面形が方形で、径70～86cm、確認面からの深さは14～46cmを測る。

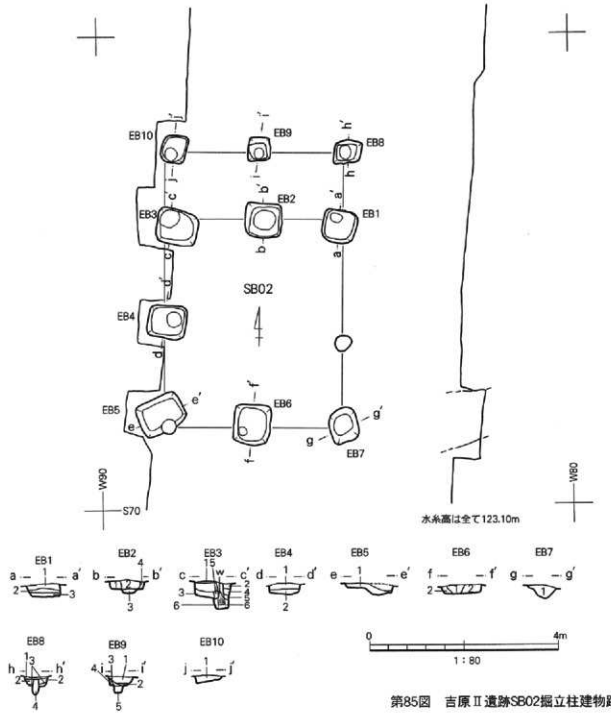
出土遺物　柱穴覆土から須恵器甕（87－５）、底部切離しがヘラ切の須恵器坏片が出土した。

ＳＢ05（第88図）

規模　東側が調査区外となり、ＳＩ01を切っている。全体の規模は不明であるが、南北5.3m、東西1.8m以上を測る３×１間以上の規模の建物跡で、柱間は南北、東西ともに1.7～1.8mを測る。

主軸方向　Ｎ－７°－Ｅ

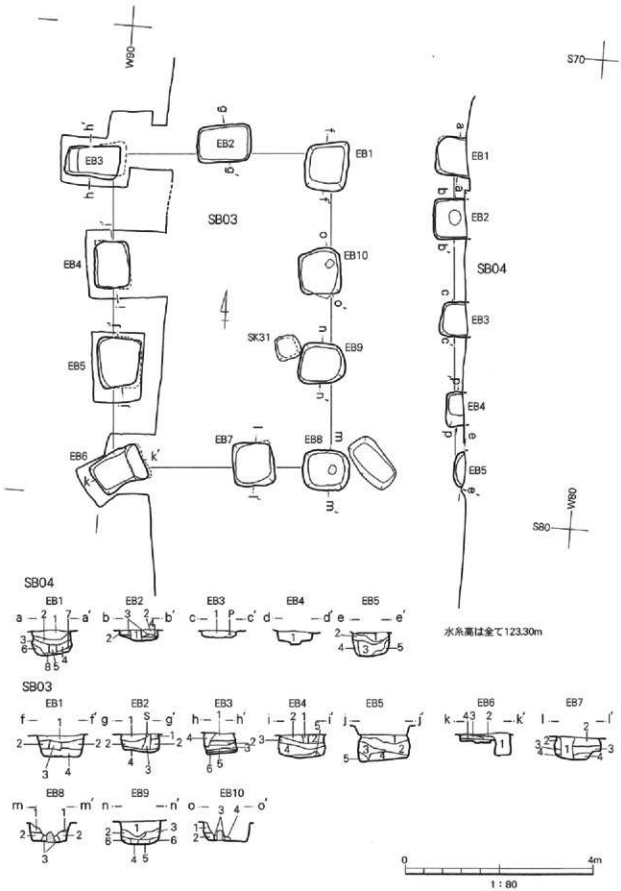
柱穴　掘り方は平面形が方形で、長軸66～100cm、短軸44～90cmを測る。確認面からの深さは20～42cmを測る。断面形は側壁が一部オーバーハングする。



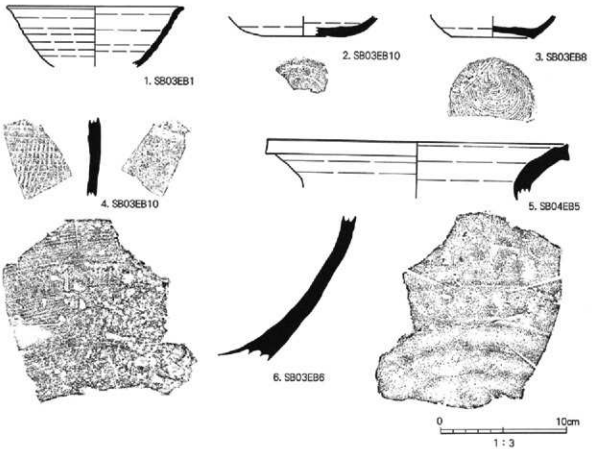
第85図　吉原Ⅱ遺跡SB02掘立柱建物跡

遺構番号	層 位	土　色	土 質	備　考
SB02				
EB1	1	10YR3/1　黒褐色	土	φ 20～40mmの石を含む。
	2	10YR3/3　暗褐色	土	
	3	10YR4/4　褐色	砂質土	
EB2	1	10YR6/6　明黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR4/2　灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。φ 5～30mmの石を含む。
	3	10YR4/1　褐灰色	土	
	4	10YR2/1　黒色	土	地山ブロックを含む。
EB3	1	10YR4/1　褐灰色	土	
	2	10YR6/6　明黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR5/6　黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR3/1　黒褐色	土	
	5	10YR4/1　褐灰色	シルト	
	6	5BG5/1　青灰色	シルト	
EB4	1	10YR3/1　黒褐色	土	
	2	10YR4/1　褐灰色	土	地山ブロックを含む。φ 10～40mmの石を含む。

遺構番号	層 位	土　色	土 質	備　考
EB5	1	10YR3/3　暗褐色	土	地山ブロックを含む。φ 10～30mmの石を含む。
EB6	1	10YR3/1　黒色	土	φ 10～30mmの石を含む。
	2	10YR2/2　黒褐色	土	φ 10～30mmの石を含む。地山ブロックを含む。
EB7	1	10YR2/1　黒色	土	φ 10～30mmの石を含む。
EB8	1	10YR4/1　褐灰色	土	
	2	10YR3/6　黄褐色	土	地山ブロックを若干含む。
	3	10YR3/1　黒褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR3/1　黒褐色	土	
EB9	1	10YR5/2　灰黄褐色	土	
	2	10YR3/1　黒褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR3/1　黒褐色	土	地山ブロックを少し含む。
	4	10YR4/3　にぶい黄褐色	土	
	5	10YR2/1　黒色	土	
EB10	1	10YR3/1　黒褐色		地山ブロックを含む。



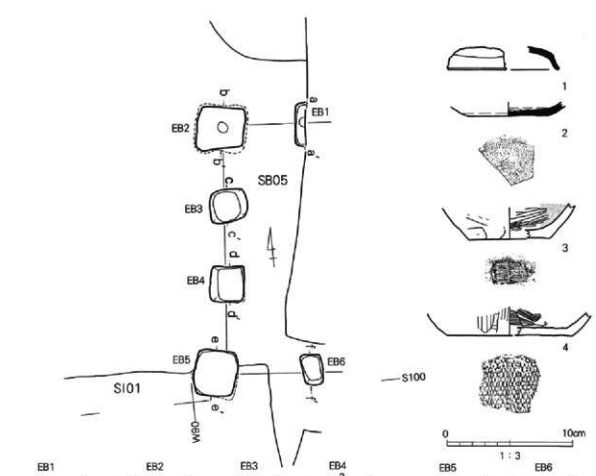
第86図　吉原Ⅱ遺跡SB03・04掘立柱建物跡



第87図　吉原Ⅱ遺跡SB03・04出土土器

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SB04				
EB1	1	10YR5/2 灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10Y4/1 灰色	土	φ10~30mmの石を含む。
	3	10YR4/4 褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR3/2 黒褐色	土	地山ブロックを含む。
	5	10YR2/1 黒色	土	
	6	10YR3/1 黒褐色	土	地山ブロックを含む。
	7	10YR2/1 黒色	シルト	
	8	10YR3/3 暗褐色	砂質土	
EB2	1	10YR3/2 黒褐色	土	
	2	10YR4/1 褐灰色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR4/4 褐色	土	
	4	10YR4/2 灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。
EB3	1	10YR4/2 灰黄褐色	土	地山ブロック含む。
EB4	1	10YR3/2 黒褐色	土	地山ブロックを含む。
EB5	1	10YR4/4 褐色	土	地山を含む。
	2	10YR4/1 褐灰色	土	
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR3/1 黒褐色	土	
	5	10YR3/2 黒褐色		
SB03			土	
EB1	1	10YR4/1 褐灰色	土	
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR3/1 黒褐色	土	
	4	10YR3/2 黒褐色	土	地山ブロックを含む。
EB2	1	10YR3/2 黒褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR3/4 暗褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR2/3 黒褐色	土	
	4	10YR3/1 黒褐色	土	
EB3	1	10YR3/1 黒褐色	土	
	2	10YR3/2 黒褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR3/3 暗褐色	土	
	4	10YR3/4 暗褐色	土	
	5	10YR5/8 黄褐色		
	6	10YR4/4 褐色		

遺構番号	層位	土色	土質	備考
EB4	1	10YR4/1 褐灰色	土	
	2	10YR4/6 褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR3/1 黒褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR4/4 褐色	土	地山ブロックを含む。
	5	10YR2/1 黒色	シルト	
EB5	1	10YR3/2 黒褐色	土	地山ブロック含む。
	2	10YR4/1 褐灰色	土	地山ブロック含む。
	3	10YR4/6 褐色	土	地山ブロック含む。
	4	10YR4/4 褐色	土	地山ブロック含む。φ50~100mmの礫を含む。
	5	10YR3/4 暗褐色	土	
EB6	1	10YR4/2 灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR5/4 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR4/1 褐灰色	土	
	4	10YR3/1 黒褐色	土	
EB7	1	10YR3/1 黒褐色	土	
	2	10YR3/4 暗褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR3/3 暗褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR2/1 黒色	土	
EB8	1	10YR4/1 褐灰色	土	地山ブロックを若干含む。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10Y4/2 オリーブ灰色	土	地山ブロックを含む。
EB9	1	10YR4/2 灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR4/4 褐色		地山ブロックを含む。
	4	10YR3/3 暗褐色	土	地山ブロック含む。
	5	10YR2/1 黒色	シルト	
	6	10YR3/2 黒褐色	土	地山ブロックを含む。
EB10	1	10YR4/4 褐色	土	地山ブロックを含む。φ5~20mmの石を含む。
	2	10YR3/4 暗褐色	土	地山ブロックを含む。φ2~10mmの石を含む。
	3	7.5Y4/3 暗オリーブ色	土	φ5~20mmの石を含む。
	4	10YR3/4 暗褐色	土	φ5~20mmの石を含む。



第88図　吉原Ⅱ遺跡SB05掘立柱建物跡・出土土器

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SB05				
EB1	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	土	
	3	10YR4/1 褐灰色	土	
	4	10YR5/8 黄褐色	土	地山ブロックの層。
	5	10YR5/6 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
EB2	1	10YR5/6 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR4/4 褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR4/6 褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR4/2 灰黄褐色	土	
	5	10YR3/1 黒褐色	土	炭化物を含む。
	6	10YR5/8 黄褐色	土	
	7	10YR4/2 灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	8	10YR4/2 灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	9	10YR4/4 褐色	土	地山ブロックを含む。
	10	10YR4/6 褐色	土	
EB3	1	10YR4/2 灰黄褐色	土	下層に土器あり。
	2	10YR5/6 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR3/2 黒褐色	土	
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	5	10YR2/1 黒色	土	

遺構番号	層位	土色	土質	備考
EB4	1	10YR4/2 灰黄褐色	土	炭化物若干混じる。
	2	10YR5/6 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR5/4 にぶい黄褐色	土	
	4	10YR3/2 黒褐色	土	炭化物若干混じる。
	5	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	6	10YR4/2 灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	7	10YR4/6 褐色	土	地山ブロックを含む。
	8	10YR4/1 褐灰色	土	
	9	10YR5/4 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
EB5	1	10YR3/1 黒褐色	土	SI01の周溝
	2	10YR3/2 黒褐色	土	
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR3/3 暗褐色	土	地山ブロックを含む。
	5	10YR4/3 暗褐色	土	地山ブロックを含む。
	6	10YR4/2 灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	7	10YR4/4 褐色	土	地山ブロックを含む。
EB6	1	10YR3/2 黒褐色		地山ブロックを含む。

出土遺物　柱穴覆土から須恵器蓋（88－1）、底部切離しが糸切の坏（88－2）、土師器鉢（88－3）、土師器甕（88－4）、赤焼土器の小型甕が出土した。3は内面がミガキ、黒色処理される。3、4は底部に編物痕が認められる。

ＳＢ06（第89図）

規模　南部が調査区外となり、全体の規模は不明であるが、梁行6.2m、桁行6.4m以上を測る２×３間以上の規模の建物跡で、柱間は梁行が2.8・3.4m、桁行が2.1～2.3mを測る。

主軸方向　Ｎ－5°－Ｗ

柱穴　掘り方は平面形が隅丸方形で、長軸74～120cm、短軸66～80cmを測る。確認面からの深さは28～46cmである。断面形は、側壁が一部オーバーハングする。建物隅の掘り方が、建物の中心に向かって斜めに掘られている。柱根がＥＢ２、３、５～８で遺存していた。

出土遺物　遺物は出土していない。

ＳＢ07（第90図）

規模　ＳＢ06の西、ＳＤ126の東に位置する。南部が調査区外となるため、全体の規模は不明であるが、梁行5.0m、桁行6.0m以上を測る２×３間以上の規模の建物跡で、柱間は梁行が2.4・2.6m、桁行が1.8～2.1mを測る。

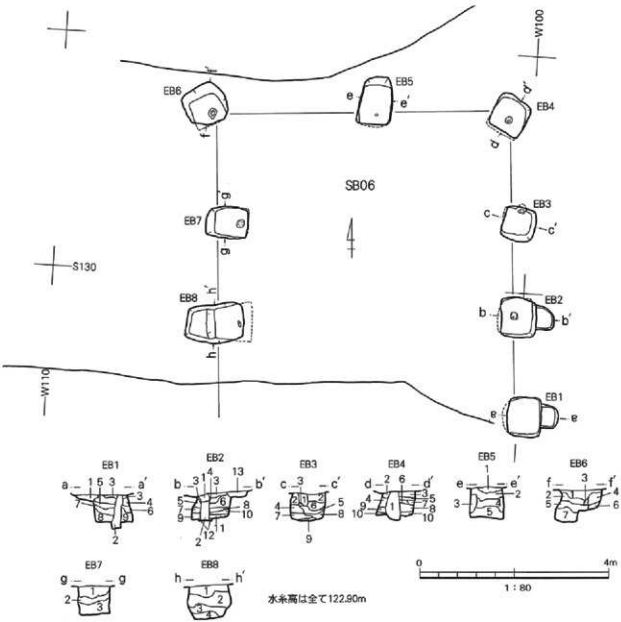
主軸方向　Ｎ－6°－Ｗ

柱穴　掘り方は平面形が隅丸方形や長方形で、長軸66～106cm、短軸46～84cmを測る。確認面からの深さは28～46cmを測り、断面形は側壁が一部オーバーハングする。建物隅の掘り方が、建物の中心に向かって斜めに掘られている。

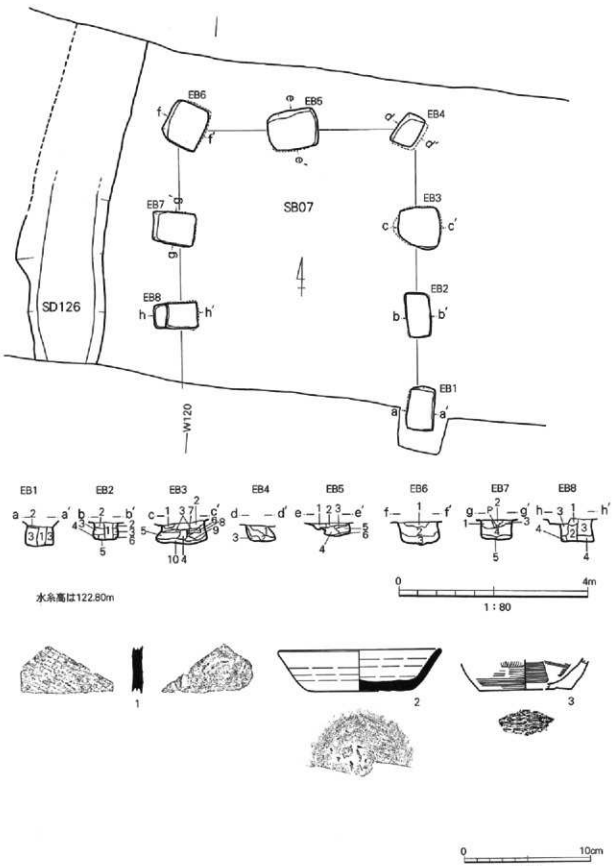
出土遺物　柱穴覆土から須恵器坏（90－2）、甕（90－1）、土師器甕底部（90－3）が出土した。須恵器坏は底部切離しが全てヘラ切のものである。

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SB06				
EB1	1	10YR5/6 黄褐色	土	地山ブロックを含む。粘土ブロックを含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	シルト	
	3	10YR5/4 にぶい黄褐色	土	灰白色粘土ブロックを含む。
	4	10YR4/4 褐色	土	灰白色粘土ブロックを含む。
	5	10YR4/2 灰黄褐色	土	黒色粘土ブロックを含む。
	6	10YR3/4 暗褐色	シルト	褐色粘土ブロックを含む。
	7	10YR4/6 褐色	粘土	
	8	10YR5/6 黄褐色	粘土	
	9	10YR3/2 黒褐色	粘土	
EB2	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	
	2	10YR3/2 黒褐色	シルト	
	3	10YR5/2 灰黄褐色	土	灰白色の粘土ブロックを含む。
	4	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト	粘土ブロックを含む。
	5	10YR6/4 にぶい黄橙色	シルト	褐色粘土を含む。
	6	10YR6/6 明黄褐色	シルト	褐色粘土を含む。
	7	10YR3/2 黒褐色	粘土	
	8	10YR3/3 暗褐色	粘土	
	9	10YR3/3 暗褐色	粘土	
	10	10YR4/6 黄褐色	粘土	
	11	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	褐色粘土と黒色粘土の混合層
	12	10Y5/2 オリーブ灰色	粘土	
	13	10YR6/3 にぶい黄橙色	土	地山ブロックを含む。粘土ブロックを含む。
EB3	1	10YR3/2 黒褐色	土	
	2	10YR4/2 灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	
	4	10YR5/2 灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	5	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	
	6	10YR5/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	7	10YR2/2 黒褐色	土	
	8	10YR5/2 灰黄褐色	土	
	9	10YR6/6 明黄褐色	土	

遺構番号	層位	土色	土質	備考
EB4	1	10YR2/1 黒褐色	シルト	粘質締。
	2	10YR3/3 暗褐色	土	
	3	10YR3/4 暗褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	粘土ブロックを含む。
	5	10YR4/4 褐色	土	地山ブロックを含む。炭粒を含む。
	6	10YR3/3 暗褐色	土	粘土ブロックを含む。
	7	10YR5/6 黄褐色	粘土	
	8	10YR4/4 褐色	土	炭粒を含む。
	9	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	炭粒を含む。
	10	10YR6/6 明黄褐色	粘土	
EB5	1	10YR4/4 褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR5/4 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。粘土ブロックを含む。
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	
	4	10YR3/3 暗褐色	土	
	5	10YR4/2 灰黄褐色	土	
EB6	1	10YR3/2 黒褐色	土	
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	
	3	10YR3/2 黒褐色	土	
	4	10YR4/2 灰黄褐色	土	
	5	10YR4/2 灰黄褐色	土	
	6	10YR5/4 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。粘土ブロックを含む。
	7	10YR4/2 灰黄褐色	土	
EB7	1	10YR3/2 黒褐色	土	
	2	10YR5/4 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。粘土ブロックを含む。
EB8	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	
	1	10YR3/2 黒褐色	土	
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	
	3	10YR4/2 灰黄褐色	土	
	4	10YR4/4 褐色	土	



第89図　吉原Ⅱ遺跡SB06掘立柱建物跡



第90図　吉原Ⅱ遺跡SB07掘立柱建物跡・出土土器

表７－(１)　吉原Ⅰ遺跡掘立柱建物跡計測表

掃図番号	番　号	方　向	規　模	規　模 (m) 梁　行	規　模 (m) 桁　行	柱間寸法 (m) 梁　行	柱間寸法 (m) 桁　行	柱穴の深さ (cm)	備　考
4	SB　30	N －　0° －	2×3	5	7.2	2.4～2.6	2.3～2.6	10～42	
5	SB　40	N －　20° －　E	1×2	5.1	5以上	5.1	2.4～2.5	8～36	
6	SB　45	N －　4° －　E	2×2	4	5.3	1.9～2.1	2.6～2.7	8～46	
7	SB　50	N －　3° －　W	2×2	4.7	6.1	2.2～2.4	1.8～2.2	6～60	西面に廂
8	SB　55	N －　5° －　W	2×3	5.4	8.1	1.4～2.7	2.5～2.8	8～56	南（3間）
9	SB　90	N －　3° －　E	1×2	2.2	4	2.2	1.9～2.1	18～52	
9	SB　91	N －　9° －　W	1×2	1.9	4	1.9	1.9～2.0	32～52	
10	SB　92	N －　4° －　W	2×3	3.9	4.8	1.9	1.5	24～70	SB93←
10	SB　93	N －　4° －　W	2×3	4.7	6.1	2.3～2.4	1.8～2.3	32～52	SB92・94→
12	SB　94	N －　3° －　W	2×3	3.8	4.8	1.9	1.6～1.7	16～58	SB93←
21	SB　95	N －　0° －	1×2	2.0以上	3.8	2	1.8～2.0	10～28	総柱
22	SB　96	N －　3° －　E	2×2	3	3.2	1.4～1.6	1.5～1.7	18～48	総柱
15	SB　97	N －　0° －	2×3	4.3	6.4	2.1～2.2	2.1	44～68	
16	SB　98	N －　1° －　W	2×3	4.4	6.8	2.2	2.0～2.4	18～40	
17	SB　99	N －　0° －	2×3	4.4以上	6.5	2.2	2.1～2.4	20～48	
18	SB　118	N －　3° －　W	2×4	4.5以上	7.4	2.2～2.4	1.7～2.0	30～74	
19	SB　119	N －　3° －　W	2×3	3.8	7.4	1.8～2.0	1.7～1.8	28～56	
23	SB　120	N －　1° －　W	2×2	3.4	3.4	1.7	1.6～1.8	28～60	総柱
24	SB　201	N －　9° －　E	2×2	2.7	3.1	1.3～1.4	1.5	42～50	総柱

表７－(２)　吉原Ⅱ遺跡掘立柱建物跡計測表

掃図番号	番　号	方　向	規　模	規　模 (m) 梁　行	規　模 (m) 桁　行	柱間寸法 (m) 梁　行	柱間寸法 (m) 桁　行	柱穴の深さ (cm)	備　考
81	SB　01	N －　7°30′ －　E	2×2	4.3	6.2	2.1～2.2	1.9～2.2	30～60	南面に廂
85	SB　02	N －　1° －　W	2×2	3.8	5.8	1.7～2.1	2.1・2.3	14～58	北面に廂
88	SB　03	N －　5° －　E	2×3	4.6	6.6	2.2～2.4	2.0～2.3	36～54	
88	SB　04	N －　6° －　W	4×	6.4以上		1.2～2.1		14～46	
88	SB　05	N －　7° －　E	1×3	1.8以上	5.3	1.7～1.8	1.7～1.8	20～42	
89	SB　06	N －　5° －　W	2×3	6.3	6.4以上	2.8・3.4	2.1～2.3	54～72	
90	SB　07	N －　6° －　W	2×3	5	6	2.4・2.6	1.8～2.1	28～46	

遺構番号	層位	土　色	土質	備　考
SB07				
EB1	1	10YR2/2　黒褐色	土	柱堀跡。
	2	10YR4/3　にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR5/4　にぶい黄褐色	土	10YR2/2土ブロックを含む。
EB2	1	10YR2/2　黒褐色	土	柱堀跡。
	2	10YR4/3　にぶい黄褐色	土	地山ブロックを中程度含む。
	3	10YR2/2　黒褐色	土	10YR4/3土ブロック,地山ブロックを含む。
	4	10YR4/3　にぶい黄褐色	土	地山ブロックを多く含む。
	5	10YR4/3　にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	6			5と同じ
EB3	1			掘り方埋土
	2			掘り方埋土
	3			掘り方埋土
	4	10YR2/2　黒褐色	土	柱堀跡。
	5			掘り方埋土
	6			掘り方埋土
	7			掘り方埋土
	8			掘り方埋土
	9			掘り方埋土
	10			掘り方埋土
EB4	1	10YR3/1　黒褐色		ややにぶい色調。地山ブロックを含む。
	2	10YR4/3　にぶい黄褐色	粘土	地山ブロックを含む。
	3	10YR3/1　黒褐色	土	地山ブロックを含む,グライ化。
EB5	1	10YR5/4　にぶい黄褐色	土	
	2	10YR3/1　黒褐色	土	やや明るい色調。
	3	10YR5/4　にぶい黄褐色	粘土	
	4	10YR5/4　にぶい黄褐色	土	ややにぶい色調。10YR3/1粘土粒を含む。
	5	10YR3/1　黒褐色	土	地山ブロックを含む。
	6		粘土	3と同じ
EB6	1	10YR5/4　にぶい黄褐色	土	10YR3/1粘土ブロックを含む。
	2	10YR5/4　にぶい黄褐色	土	地山ブロック及び、褐色粘土ブロックを含む。
	3	10YR3/1　黒褐色	粘土	
EB7	1	10YR3/1　黒褐色	粘土	地山ブロックを含む。
	2	10YR3/1　黒褐色	粘土	土器片含む。地山粒を含む。
	3			1と同じ。
	4	10YR4/1　褐灰色	粘土	黒土ブロックを含む。
	5	10YR6/6　明黄褐色	粘土	
EB8	1	10YR4/3　にぶい黄褐色	シルト	
	2	10YR4/2　灰黄褐色	シルト	
	3	10YR3/2　黒褐色	粘土	褐色粘土を含む。
	4	10YR5/6　黄褐色	粘土	黒土ブロックを含む。

（3）　土坑

本遺跡で、土坑として登録した遺構は10基を超える。全て奈良～平安時代に帰属する。以下に主な土坑について個別に概述する。

ＳＫ59（第91図）

規模　　Ａ区、ＳＩ01とＳＤ130の間に位置する。東側が調査区外となるため、全体の規模は不明であるが、平面形が楕円形を呈すると考えられる。南北2.2m、東西２m以上を測り、確認面からの深さは約50cmである。覆土は黒褐色土を基調とし、３層に大別される。

出土遺物　比較的多くの遺物が出土している。須恵器蓋（91－1）、坏（91－2）、壺（91－3）、土師器坏（91－4、5）、甕（91－6、7）が出土した。土師器坏は底部が平底の、体部から口縁部にかけて内湾する器形で、体部外面がケズリ、内面がミガキ、黒色処理される。底部には木葉痕が認められる。

ＳＫ131（第92図）

規模　　Ａ区南部に位置する。平面形が楕円形を呈し、長径1.4m、短径0.8mを測る。確認面からの深さは38cmを測る。

出土遺物　底部切離しがヘラ切の須恵器坏（92－2、3）、土師器甕（92－1）、内面が黒色処理される土師器坏片が出土した。

ＳＫ132（第92図）

規模　　Ａ区、ＳＫ131の北西に位置し、北側は調査区外となる。平面形は円形を呈すると考えられる。径は東西0.9mを測り、確認面からの深さは56cmである。

出土遺物　遺物は出土していない。

ＳＫ02（第92図）

規模　　Ａ区、ＳＢ01ＥＢ７の北東に位置する。平面形は楕円形を呈し、長径1.0m、短径0.9mを測り、確認面からの深さは約20cmである。

出土遺物　砥石（92－4）が出土した。全面が砥面として利用されている。その他に、内面が黒色処理される土師器坏、赤焼土器坏片が出土している。

ＳＫ06（第93図）

規模　　ＳＢ01の南に位置する。平面形は円形を呈し、長径1.0m、短径0.9mを測り、確認面からの深さは約40cmである。

出土遺物　遺物は出土していない。

ＳＫ07（第93図）

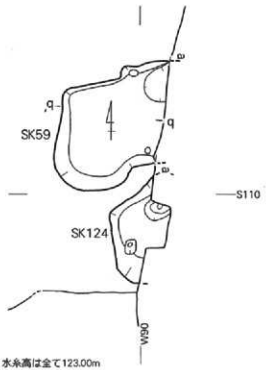
規模　　ＳＫ06の南に位置する。平面形は円形を呈し、長径1.7m、短径1.5mを測り、確認面からの深さは約12cmである。

出土遺物　遺物は出土していない。

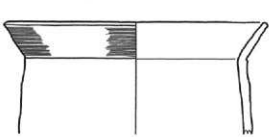
ＳＫ01（第93図）

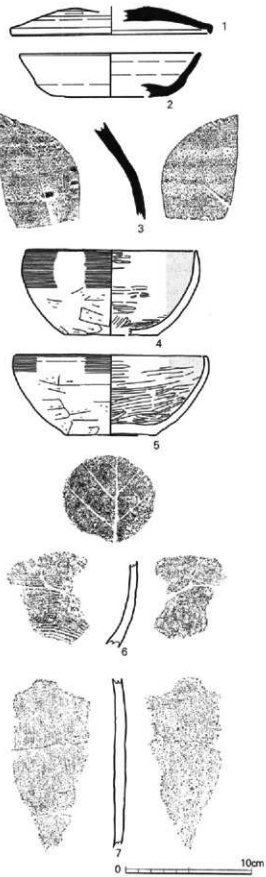
規模　　Ａ区、ＳＢ01の北に位置する。平面形は楕円形を呈し、長径1.7m、短径1.0mを測り、確認面からの深さは約25cmである。

出土遺物　遺物は出土していない。

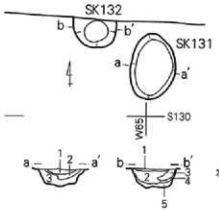


遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK59	1	10YR2/1 黒色	土	遺物を含む。
	2	10YR7/6 明黄褐色	粘土	
	3	10YR6/4 にぶい黄橙色	シルト	黒土ブロックを含む。
	4	10YR7/6 明黄褐色	粘土	2に近似

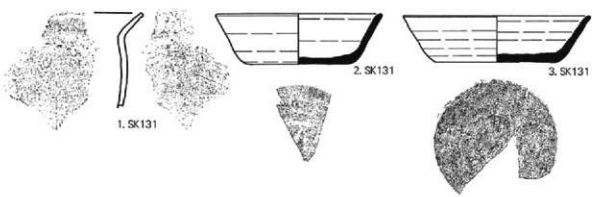

8. SK124

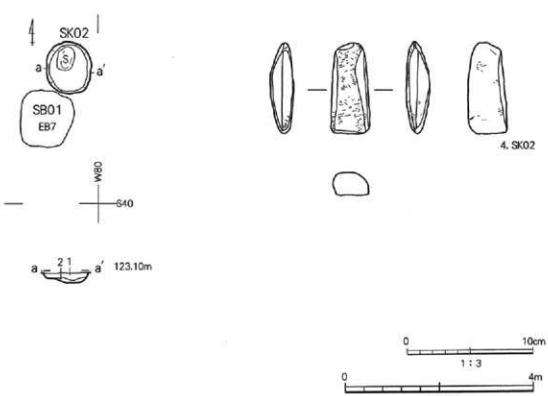


第91図　吉原Ⅱ遺跡SK59・124土坑・出土土器

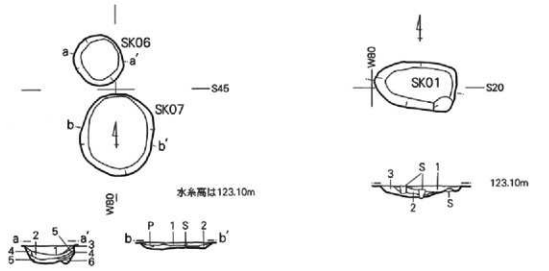


遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK131	1	10YR3/2 黒褐色	土	遺物を含む。
	2	10YR7/6 明黄褐色	粘土	黒土のブロックを含む。
	3	10YR2/1 黒色	シルト	炭化物を含む。
SK132	1	10YR3/2 黒褐色	土	
	2	10YR2/2 黒褐色	シルト	遺物を含む。
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト	褐色粘土ブロックを含む。遺物を含む。
	4	10YR6/6	粘土	
	5	10YR5/4	粘土	
SK02	1	10YR3/1 黒褐色	シルト	φ1～20mmの砂を含む。
	2	10YR4/6 褐色	シルト	砂っぽい。

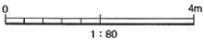




第92図　吉原Ⅱ遺跡SK131・132・02土坑・出土遺物



遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK06	1	10YR3/3 暗褐色	土	地山ブロックを含む。φ5～20mmの砂を含む。
	2	10YR3/2 黒褐色	土	
	3	10YR4/1 褐灰色	シルト	
	4	10YR2/1 黒色	砂質土	
	5	10YR3/1 黒褐色	粘土	
	6	10YR4/1 褐灰色	土	地山ブロックを含む。
SK07	1	10YR4/1 褐灰色	土	炭化物土器を含む。
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
SK01	1	10YR3/1 黒褐色	シルト	φ1～10mmの砂を含む。
	2	10YR4/6 褐色	シルト	地山ブロックを含む。
	3	10YR2/2 黒褐色	粘質土	



第93図　吉原Ⅱ遺跡SK01・06・07土坑

（4）　溝跡・河川跡

調査で溝跡は大小含めて、８条検出されている。そのほとんどが区画などを目的としたものと考えられる。以下に主なものについて個別に概述する。

ＳＤ123（第81図）

規模　　ＳＢ01と重複関係にあり、同遺構を切る、東西に伸びる溝跡である。幅1.1～1.4m、確認面からの深さは50cm前後を測る。検出長は約5.8mである。底面は平坦で、断面形は逆台形状を呈している。

出土遺物　底部切離しが糸切の須恵器坏、甕（98－６）、赤焼土器坏（98－４、５）、が出土している。

ＳＤ126（第90図）

規模　　ＳＢ07の西に位置し、南北に伸びる溝跡である。幅1.3～1.8m、確認面からの深さは30cm前後を測る。検出長は約7.0mである。北半にいくにつれ、確認面からの深さが徐々に浅くなる。底面は平坦で、断面形は逆台形状を呈する。

出土遺物　遺物は出土していない。

ＳＤ130（第94～97図）

規模　Ａ区、ＳＩ01の南に位置する。東西が調査区外となり全体の規模は不明であるが、幅9.1mの東西に伸びる河川跡である。２次調査（Ｂ区）ではＳＤ131として遺構登録した。

最上層からは近・現代の遺物が出土するため、当初、近・現代の溝跡と捉えていたが、精査を進めると、下層から奈良～平安時代の遺物と共に自然木などが多く出土した。

覆土下層は、小礫が混じる砂で構成されており、ある程度の水流をもった河川跡と考えられる。遺物の出土状況から、最終的な埋没年代が近・現代と考えられる。

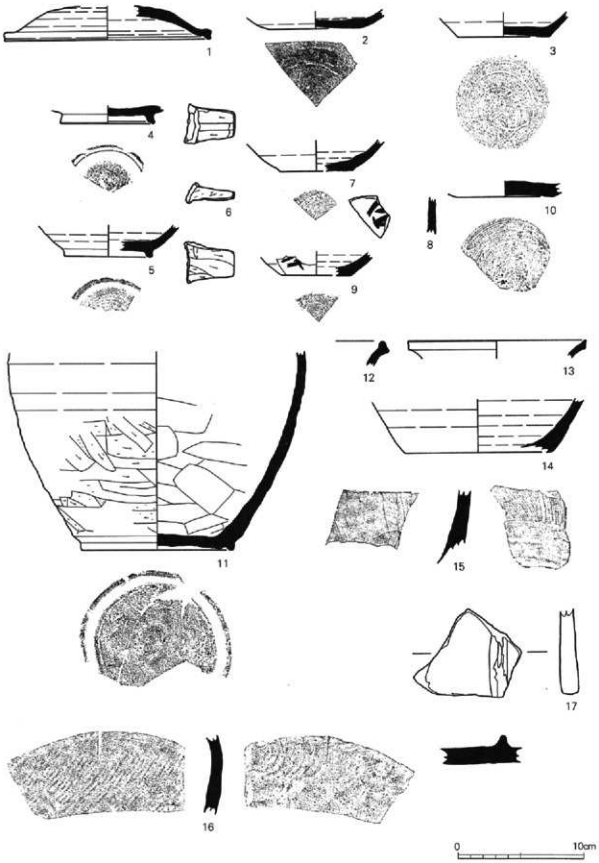
出土遺物　覆土から奈良～平安時代及び近・現代の多くの遺物が出土した。そのうち、主に奈良～平安時代の遺物について図化し、以下に概述する。

須恵器では蓋・坏・高台坏・双耳坏・壷・甕・風字硯が出土している。蓋は天井部が丸みを持つもの（94－１）、坏は底部切離しがヘラ切と糸切が混在する。坏の中には、体部外面に「合」（94－７）などの墨書がなされるものや、内面に墨痕があり、墨溜めに使用したと考えられるもの（94－３）も出土した。高台坏の底部切離しも坏同様、糸切とヘラ切が混在する。94－６は双耳坏の耳部分である。94－11は底部が砂底の壷で、当地域にはあまり確認されず、北東北に類例が多い。甕は外面が平行タタキ、内面が同心円状のアテが施されるものが大半である。94－17は風字硯である。

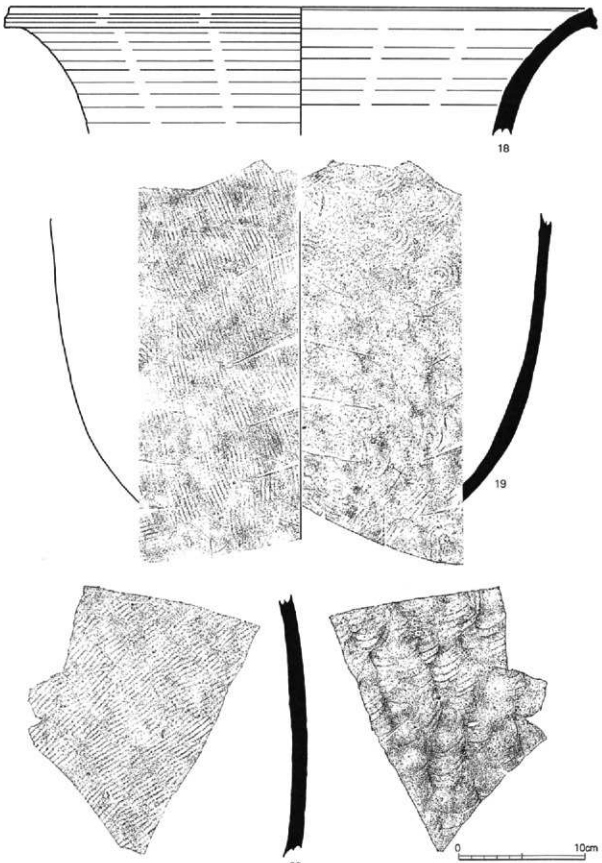
土師器では、坏・鉢・甕が出土している。96－30は鉢で、体部外面がケズリ、内面がミガキ、黒色処理される。31～37は甕で、非ロクロ成形でハケメ調整がなされている。底部は編物痕と木葉痕の２種類が確認される。

赤焼土器では、坏・甕・耳皿が出土している。坏は底部切離しが糸切の、底径が小さいもので、ロクロ痕も明瞭に残る。耳皿（97－40）は底部切離しが糸切で、耳の部分が欠損する。

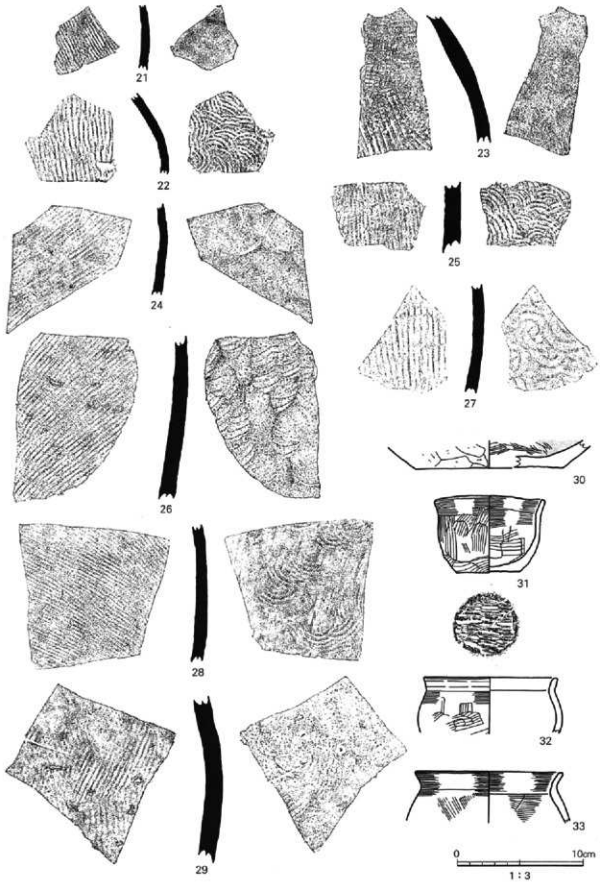
その他、近世以降の遺物として、釘（97－41）、黒瓦（97－42）などが出土した。



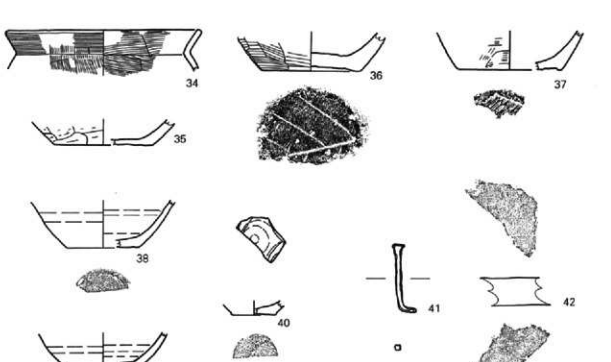
第94図　吉原Ⅱ遺跡SD130出土遺物（1）



第95図　吉原Ⅱ遺跡SD130出土遺物（2）



第96図　吉原Ⅱ遺跡SD130出土遺物（3）

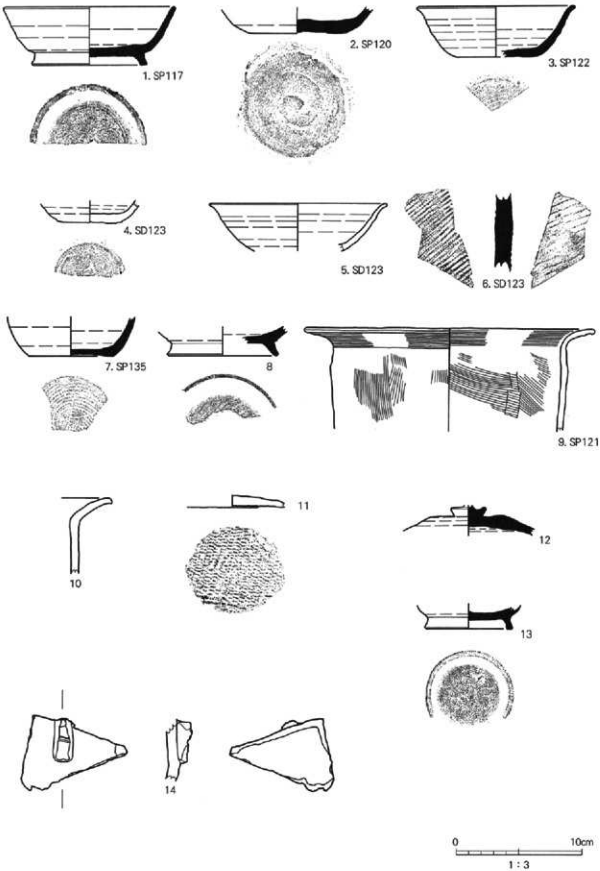


第97図　吉原Ⅱ遺跡SD130出土遺物（4）

（5）　その他出土遺物（第98図）

1次調査で出土した遺物のうち、平面図の掲載していない遺構、またはグリッド、表土から出土し、図化した遺物について以下に概述する。

98－1は底部切離しがヘラ切の須恵器高台坏、98－2はヘラ切の須恵器坏である。98－3は底部切離しが糸切の須恵器坏、98－4、5は赤焼土器坏である。98－6は須恵器甕で外面に平行タタキ、内面に平行アテが施される。98－7は須恵器壺の底部片で、底部切離しが糸切、ヘラ記号「×」がなされる。98－8は底部切離しが糸切の須恵器高台坏である。98－9は体部が長胴形になる土師器甕で、口縁部はナデ、体部外面は縦方向、内面は横方向のハケメ調整が施される。90－10、11は非ロクロ成形の土師器甕である。11は底部で編物痕が確認される。98－12は須恵器蓋で、天井部が平坦になるものである。98－13は須恵器高台坏、98－14は須恵器壺で、双耳瓶の耳部分と考えられる。



第98図　吉原Ⅱ遺跡その他出土遺物

第２次調査は、吉原Ⅱ遺跡の街区道路部分にかかる、調査面積約315㎡について、平成12年８月21日～９月８日まで実施した。

検出された奈良～平安時代の遺構は溝跡５条、ピット１基である。掘立柱建物跡や竪穴住居跡は検出されず、本調査区が遺跡の西側の縁辺にあたると判断される。以下、第２次調査（B区）において検出された遺構と遺物について概述する。

（6）　SP132土器埋設遺構（第99・100図）

規模　　B区南端、SD131の南に位置する。平面形が不整円形で、径44cm、確認面からの深さが約10cmを測る。覆土は３層からなり、黒褐色土を基調に、炭化物が多く含まれる。

出土遺物　覆土から、土師器甕が横位に倒れた状態で出土した。土師器甕はピット内の東寄りに位置し、その直下から一部木質の残る炭化物が出土しているため、樹皮状のものに土器が乗せられていた可能性が考えられる。

甕は、底部が欠損しているが、非ロクロ成形の、口縁部が短く「く」の字に外反する器形で、体部下半がヘラケズリ調整される。

（7）　溝跡・河川跡

SD116溝跡（第101図）

規模　　B区北半で検出された、南北に伸びる溝跡で、南半部は調査区外となる。幅0.5～1.4m、確認面からの深さは15～60cmを測る。検出長は9.2mである。底面は凹凸があり、壁の立ち上がりは緩やかで、断面形はU字型を基本とする。

出土遺物　覆土から、須恵器甕（101－1）が出土している。

SD129（第102図）

規模　　B区南半で検出された、東西に伸びる溝跡で、東西は調査区外となる。幅65cm、確認面からの深さは30cm前後を測る。検出長は2.7mである。底面は平坦で、壁の立ち上がりは緩やかである。断面形はU字型を呈する。

出土遺物　遺物は出土していない。

SD130（第102図）

規模　　B区南半、SD129の南に検出された、東西に伸びる溝跡で、東西は調査区外となる。幅60～85cm、確認面からの深さは10cm前後を測る。検出長は2.7mである。底面は平坦で、壁の立ち上がりは緩やかである。断面形はU字型を呈する。

出土遺物　遺物は出土していない。

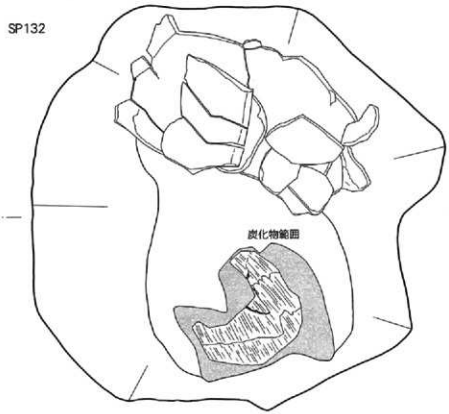
SD135（第102図）

規模　　B区南半、SD130の南に検出された、東西に伸びる溝跡で、東西は調査区外となる。幅110～150cm、確認面からの深さは30cm以上を測る。検出長は2.7mである。底面は平坦で、壁の立ち上がりは緩やかである。断面形はU字型を呈する。覆土下層に砂礫が多く含まれているため、ある程度の水流をもつ溝跡と考えられる。

出土遺物　遺物は出土していない。

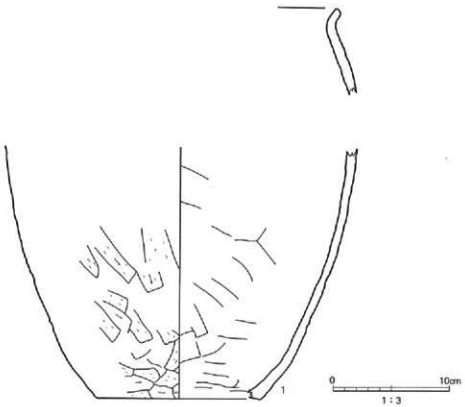
SD131（第102～105図）

規模　　B区南半、SD135の南に検出された、東西に伸びる溝跡で、東西は調査区外となる。規模・形状および覆土から１次調査のSD130と同一遺構と判断される。



遺構番号	層位	土色	土質	備考
SP132	1	10YR2/1　黒色	シルト	
	2	10YR5/2　灰黄褐色	粗砂	10YR2/2黒褐色シルトブロックを20%含む。
	3	10YR2/2　黒褐色	シルト	炭化物を多く含む。

第99図　吉原Ⅱ遺跡２次SP132土器埋設遺構



第100図　吉原Ⅱ遺跡２次SP132出土土器

幅4.0～4.5m、確認面からの深さは1.3mを測る。検出長は2.7mである。底面は平坦で、壁の立ち上がりは緩やかである。断面形は逆台形状を呈する。

出土遺物　覆土下層から土器などの多くの遺物が出土した。木製遺物の遺存状況も良好で、図化した木器の他、加工痕のある木片や自然木も出土している。以下、種別ごとに概述する。

須恵器では、坏・高台坏・双耳坏・壺・甕・鉢などが出土している。坏（103－１～４、６）は底部切離しがヘラ切と糸切が混在し、ヘラ切が多い。高台坏（103－７、８）も坏同様、底部切離しが糸切とヘラ切が混在する。

土師器では、坏・甕が出土している。坏は底部が平底の、体部外面がケズリ、内面がミガキ、黒色処理されるもの（104－17、18、20）で、底部には木葉痕が認められる。また黒色処理されない坏（104－19）も少量ながら出土する。甕は非ロクロ成形で、ハケメ調整の施されるもの（104－21、24）である。

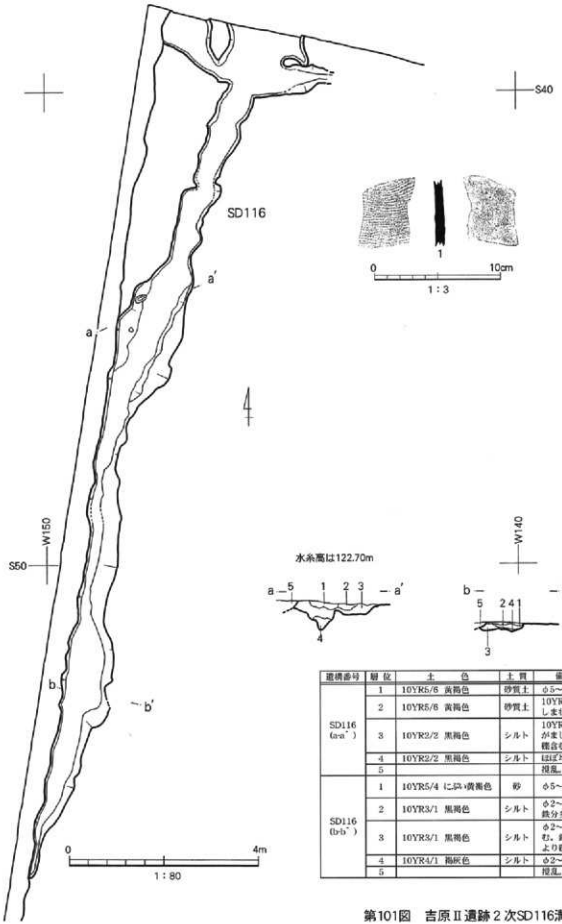
赤焼土器では坏・高台坏・甕などが出土している。高台坏（104－22）は高台が「ハ」の字に開くものである。104－23は小型の甕で、口縁部付近にススが付着している。

木製遺物では、皿（105－１、２）、椀（105－３）、曲物の底板（105－４、５）などが出土した。

（８）　その他出土遺物（第106図）

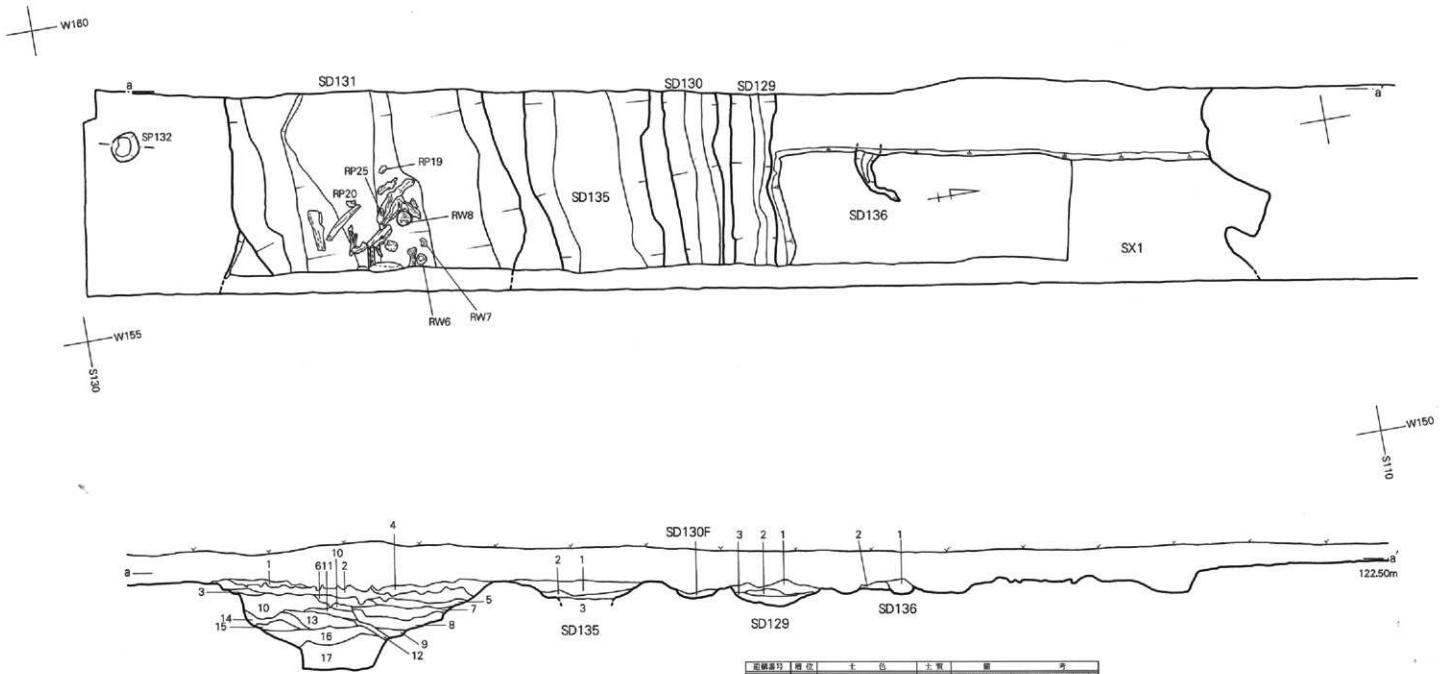
２次調査において出土した遺物のうち、平面図の掲載していない遺構、グリッド、表土から出土し、図化した遺物について以下に述べる。

106－１、２は須恵器坏で、１は底部切離しがヘラ切、２は糸切である。２の底部には墨書が確認される。106－３は須恵器の稜埦と考えられる。106－４は須恵器甕、106－５は須恵器壺の底部で、外面及び底部にハケメのような調整が施されている。



遺構番号	層位	土色	土質	備考
SD116 (a-a′)	1	10YR5/6 黄褐色	砂質土	φ5～10mmの礫含む。
	2	10YR5/6 黄褐色	砂質土	10YR2/2黒褐色シルト、しま状に含む。
	3	10YR2/2 黒褐色	シルト	10YR4/4褐色砂ブロックがまじる。φ5～30mmの礫含む。
	4	10YR2/2 黒褐色	シルト	ほぼ均質
	5			撹乱。
SD116 (b-b′)	1	10YR5/4 にぶい黄褐色	砂	φ5～10mmの礫を含む。
	2	10YR3/1 黒褐色	シルト	φ2～10mmの礫含む。鉄分多量に含む。
	3	10YR3/1 黒褐色	シルト	φ2～5mmの礫多量に含む。鉄分多量に含む。2より礫の混入多い。
	4	10YR4/1 褐灰色	シルト	φ2～5mmの礫少量含む。
	5			撹乱。

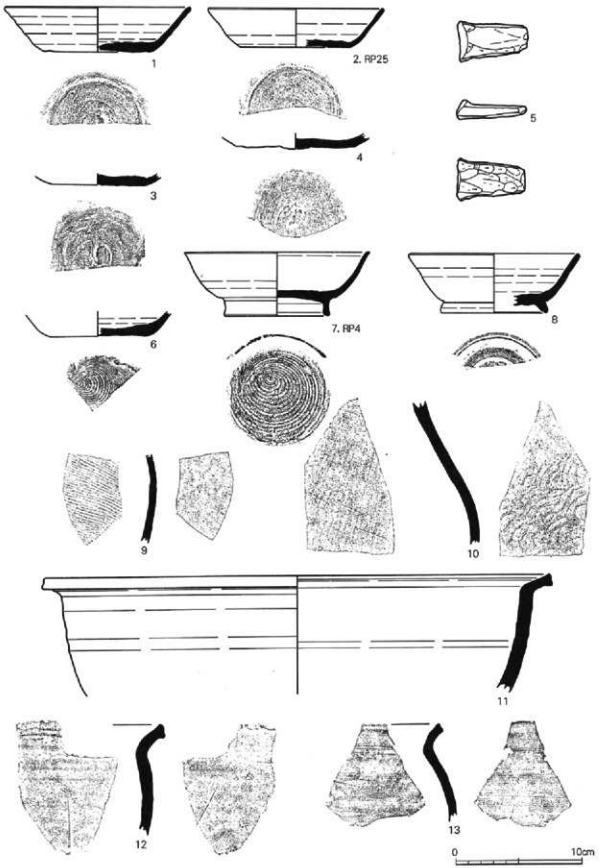
第101図　吉原Ⅱ遺跡２次SD116溝跡・出土土器



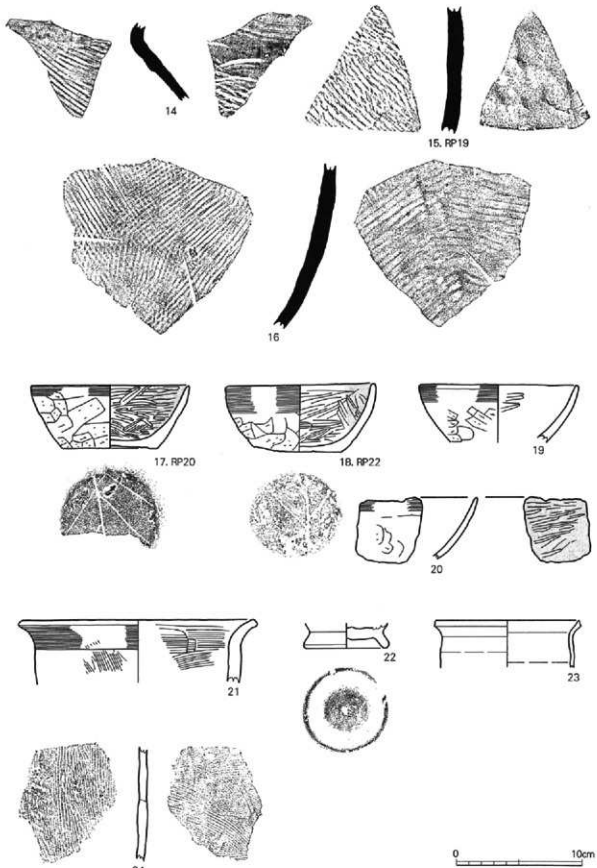
遺構番号	層位	土色	土質	備考
SD135	1	10YR4/4 褐色	砂礫	φ1～5cmの礫を含む。
	2	10YR3/2 黒褐色	細砂	グライ化している。
	3	10YR2/3 黒褐色	砂礫	φ1～5cmの礫を含む。
SD130	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	細砂	炭化物を少し含む。
SD129	1	10YR2/3 黒褐色	粘土	炭化物を少し含む。φ1～3mmの礫を含む。
	2	10YR3/1 黒褐色	細砂	10YR4/2灰黄褐色砂粒を層状に含む。
	3	10YR3/3 暗褐色	細砂	10YR4/3にぶい黄褐色砂粒を層状に含む。
SD136	1	10YR2/3 黒褐色	砂礫	φ1～5cmの礫を含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	粘砂	10YR4/3にぶい黄褐色シルトブロックを5%含む。

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SD131	1	10YR5/8 明黄褐色	砂礫	凝灰岩質の小ブロックを非常に多く含む。ぼそぼそする。
	2	10YR2/1 黒色	粘土	炭化物を少し含む。粘分を含む。
	3	10YR2/2 黒褐色	シルト	凝灰岩質の小ブロックを少し含む。
	4	10YR2/2 黒褐色	粘土	炭化物を少し含む。粘分を多く含む。
	5	10YR3/1 黒褐色	細砂	炭化物を少し含む。2.5Y5/3黄褐色砂粒を層状に含む。
	6	10YR2/2 黒褐色	シルト	
	7	10YR3/1 黒褐色	細砂	2.5Y5/3黄褐色砂粒を層状に含む。
	8	10YR3/2 黒褐色	細砂	2.5Y4/2暗灰黄色砂粒を層状に含む。炭化物を多く含む。
	9	10YR4/3 にぶい黄褐色	細砂	2.5Y4/2暗灰黄色砂粒を層状に含む。炭化物を少し含む。
	10	10YR2/3 黒褐色	粘土	粘分を含む。
	11	10YR2/2 黒褐色	シルト	2.5Y4/3暗灰黄色砂粒をブロック状に含む。
	12	10YR2/3 黒褐色	シルト	炭化物を含む。
	13	10YR2/2 黒褐色	シルト	2.5Y5/3黄褐色砂粒を層状に含む。炭化物を含む。
	14	10YR2/2 黒褐色	シルト	2.5Y4/3オリーブ褐色砂粒をブロック状に含む。
	15	10YR2/1 黒色	シルト	2.5Y5/3黄褐色砂粒を層状に含む。炭化物を含む。
	16	10YR2/2 黒褐色	細砂	10YR5/4にぶい黄褐色砂礫を多量に含む。遺物を含む。
	17	2.5Y4/2 暗灰黄色	細砂	φ0.5～10mmの礫を多量に含む。遺物を含む。

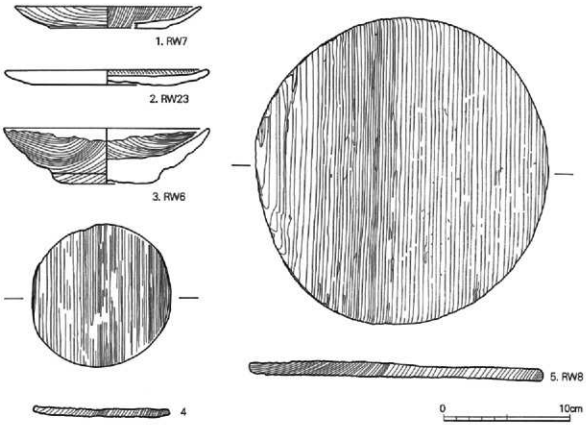
第102図　吉原Ⅱ遺跡２次SD131・135・130・129・136溝跡



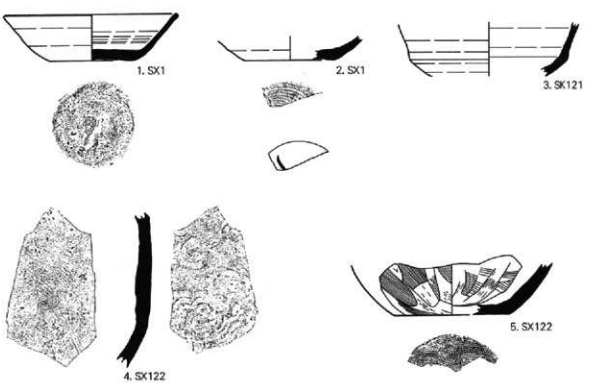
第103図　吉原Ⅱ遺跡２次SD131出土土器（１）



第104図　吉原Ⅱ遺跡２次SD131出土土器（２）



第105図　吉原Ⅱ遺跡２次SD131出土木製品



第106図　吉原Ⅱ遺跡２次その他出土遺物

表8　吉原Ⅱ遺跡出土遺物観察表（1）

挿図番号	遺物番号	出土地点・層位	器種	種別	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	外面特徴	内面特徴	底部特徴	備考
79	1	SI01　カマドワキ	杯	須恵器	(14.2)	7.0	3.05	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	2	SI01	杯	須恵器	(13.5)	7.4	3.05	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	3	SI01　カマドワキ	杯	須恵器	(14.2)	(8.2)	3.0	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	4	SI01　Y上	杯	須恵器	(12.4)	(6.6)	3.1	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	5	SI01　EP63	高台付杯	須恵器	(17.2)	8.6	11.8	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	6	SI01　カマドワキ	壺	須恵器				ロクロ	ロクロ		
	7	SI01	壺	須恵器				ロクロ	ロクロ		
	8	SI01	甕	須恵器				平行	同心円		
	9	SI01　Y上	杯	土師器		6.4			ミガキ→黒色	木葉痕	
	10	SI01　焼土	甕	土師器	14.2	7.8	11.4	ハケメ	ハケメ	編物痕	
	11	SI01　Y上	甕	土師器	(13.8)			マメツ	ナデ？		
	12	SI01	甕	土師器	(13.2)				マメツ		
	13	SI01　Y上	甕	土師器	13.9			ハケメ	ハケメ		
80	14	SI01　焼土	甕	土師器				ハケメ			
	15	SI01　EP62	甕	土師器				ハケメ	ハケメ		
	16	SI01　EP63	甕	土師器	(35.6)			マメツ	マメツ		
	17	SI01　焼土	甕	土師器		8.2		ハケメ	ハケメ	編物痕	
	18	SI01	甕	土師器		(9.4)		ハケメ	ハケメ	編物痕	
	19	SI01	甕	土師器		(8.8)		ハケメ	ハケメ	編物痕	
	20	SI01	甕	土師器		8.4		ハケメ	マメツ	木葉痕	
	21	SI01　焼土	甕	土師器				ハケメ	ハケメ		
82	1	SI01　EB9	杯	赤焼土器	12.8	5.4	4.35	ロクロ	ロクロ	糸切？	
	2	SI01　EB9	杯	赤焼土器	(12.4)	(6.0)	4.25	ロクロ	ロクロ	糸切	
	3	SI01　EB9	杯	赤焼土器	(13.4)			ロクロ	ロクロ		
	4	SI01　EB9	鉢	土師器	42.8						
83	1	SI01　EB3	礎板	木製品	12.4	9.7	5.5				
	2	SI01　EB3	礎板	木製品	11.0	13.5	4.0				
	3	SI01　EB3	礎板	木製品	19.7	14.1	6.3				
	4	SI01　EB3	礎板	木製品	23.0	8.3	4.5				
	5	SI01　EB3	礎板	木製品	24.3	15.0	6.6				
84	6	SI01　EB3	礎板	木製品	24.9	12.4	5.4				
	7	SI01　EB3	杭根	木製品	30.6	18.3	13.7				
	8	SI01　EB5	礎板	木製品	26.1	18.4	8.7				
87	1	SI03　EB1	杯	須恵器	(14.0)			ロクロ	ロクロ		
	2	SI03　EB10	杯	須恵器		(6.4)		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	3	SI03　EB8	杯	須恵器		6.5		ロクロ	ロクロ	糸切	墨書
	4	SI03　EB10	壺？	須恵器				平行			
	5	SI04　EB5	甕	須恵器		(23.8)		ロクロ	ロクロ		
	6	SI03　EB6	甕	須恵器				ロクロ	ロクロ		
88	1	SI05　EB2	壺	須恵器				ロクロ	ロクロ		
	2	SI05　EB2	杯	須恵器		(6.4)		ロクロ	ロクロ	糸切	
	3	SI05　EB2	杯	土師器		(6.4)		ヘラケズリ	ミガキ→黒色	籾痕	
	4	SI05　EB2	甕	土師器		(10.0)		ハケメ	ハケメ	編物痕	
90	1	SI07　EB4	壺	須恵器				格子目	同心円		
	2	SI07　EB7	杯	須恵器	(12.9)	8.5	3.3	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	3	SI07　EB8	甕	土師器		(7.2)		ハケメ	ハケメ	編物痕	
91	1	SK59	壺	須恵器	(17.9)			ロクロ，ケズリ	ロクロ	糸切	
	2	SK59	杯	須恵器	(14.3)	(6.1)	3.5	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	3	SK59	壺	須恵器				ロクロ	ロクロ，カキ目		
	4	SK59	杯	土師器	(13.5)	(7.4)	6.6	口：ナデ，体：ケズリ	ミガキ→黒色	ヘラケズリ	
	5	SK59	杯	土師器	(15.4)	7.2	6.4	口：ナデ，体：ケズリ	ミガキ→黒色	木葉痕	
	6	SK59	甕	土師器				ハケメ	ナデ？		
	7	SK59	甕	土師器				ハケメ	ハケメ		
	8	SK124	壺	土師器	(20.4)			マメツ	マメツ		
92	1	SK131	甕	土師器				ハケメ	ハケメ		
	2	SK131	杯	須恵器	(13.0)	(8.4)	4.05	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	3	SK131	杯	須恵器	15.0	9.7	3.7	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	4	SK05	砥石	石製品	7.2	3.1	1.85				
94	1	SD130	壺	須恵器	(16.2)			ロクロ	ロクロ	糸切	
	2	SD130	杯	須恵器		(7.4)		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	3	SD130	杯	須恵器		7.35		ロクロ	ロクロ	糸切	内面見込み墨痕，底部墨書
	4	SD130	高台付杯	須恵器		(7.4)		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	5	SD130	高台付杯	須恵器		(7.0)		ロクロ	ロクロ	糸切	
	6	SD130	双耳杯	須恵器				ケズリ	ケズリ		双耳杯の耳の部分
	7	SD130	杯	須恵器		(5.8)		ロクロ	ロクロ	糸切	
	8	SD130	杯	須恵器				ロクロ	ロクロ		墨書「合」か
95	9	SD130	杯	須恵器		(5.6)		ロクロ	ロクロ	糸切	墨書
	10	SD130	杯	須恵器		(7.7)		ロクロ	ロクロ	糸切	
	11	SD130	壺	須恵器		12.0		ロクロ，ヘラケズリ	ヘラナデ？	砂底	
	12	SD130	壺	須恵器				ロクロ	ロクロ		
	13	SD130	壺	須恵器	(14.0)			ロクロ	ロクロ		
	14	SD130	壺	須恵器		(11.8)		ロクロ	ロクロ		
	15	SD130	壺	須恵器				ケズリ	ナデ，ハケメ		
	16	SD130	壺	須恵器				平行タタキ	同心円		
	17	SD130	瓶子類	須恵器			1.4			脚付	
	18	SD130	甕	須恵器	(46.0)			カキ目	ロクロ		
	19	SD130	甕	須恵器				平行	同心円		
	20	SD130	甕	須恵器				平行	同心円		

表9　吉原Ⅱ遺跡出土遺物観察表（2）

挿図番号	遺物番号	出土地点・層位	器種	種別	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	外面特徴	内面特徴	底部特徴	備考
96	21	SD130	甕	須恵器				平行			
	22	SD130	甕	須恵器				平行	同心円		
	23	SD130	甕	須恵器				格子目+平行	同心円		
	24	SD130	甕	須恵器				平行	同心円		
	25	SD130	甕	須恵器				平行	同心円		
	26	SD130	甕	須恵器				平行	同心円		
	27	SD130	甕	須恵器				平行	同心円		
	28	SD130	甕	須恵器				平行	同心円		
	29	SD130	甕	須恵器				平行	同心円		
	30	SD130	鉢	土師器		(11.6)		ヘラケズリ	ミガキ→黒色	木葉痕	
	31	SD130	甕	土師器	12.4	5.2	6.1	ナデ、ハケメ	ナデ、ハケメ	編物痕	
	32	SD130	甕	土師器	(10.5)			ハケメ			
	33	SD130	甕	土師器	(11.6)			ナデ、ハケメ	ナデ、ハケメ		
97	34	SD130	甕	土師器	(15.2)			口：ナデ、体：ハケメ	ハケメ		
	35	SD130	甕	土師器		(7.9)		ヘラケズリ			
	36	SD130	甕	土師器		7.9				木葉痕	
	37	SD130	甕	土師器		(8.4)		ハケメ	マメツ	編物痕	
	38	SD130	坏	赤焼土器		(5.6)		ロクロ	ロクロ	糸切	
	39	SD130	坏	赤焼土器		(5.2)		ロクロ	ロクロ	糸切	
	40	SD130	耳皿	赤焼土器		3.5				糸切	
	41	SD130	釘	鉄製品	5.35	0.95	0.45				
	42	SD130	平瓦	黒瓦							
98	1	SP117	高台付坏	須恵器	(13.4)	9.0	4.65	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	2	SP120	坏	須恵器		8.0		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	墨書あり？
	3	SP122	坏	須恵器	(12.8)	(6.0)	4.05			糸切	
	4	SD123	坏	赤焼土器		5.2		ロクロ	ロクロ	糸切	
	5	SD123	坏	赤焼土器	(13.8)			ロクロ	ロクロ		
	6	SD123	甕	須恵器				平行	平行		
	7	SP135	壷	須恵器		(6.6)		ロクロ	ロクロ	糸切	ヘラ記号「×」
	8	杭No5付近	高台付坏	須恵器		(8.6)		ロクロ	ロクロ	糸切	
	9	SP121	甕	土師器	(22.8)			ハケメ	ハケメ		
	10	杭No5付近	甕	赤焼土器				ロクロ使用？	ロクロ使用？		
	11	遺構確認面	甕	土師器						編物痕	
	12	T.T25	壷	須恵器				ロクロ	ロクロ		打ち欠いている
	13	T.T25	高台付坏	須恵器		6.9		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	14	T.T25	双耳瓶	須恵器							

表10　吉原Ⅱ遺跡２次出土遺物観察表

挿図番号	遺物番号	出土地点・層位	器種	種別	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	外面特徴	内面特徴	底部特徴	備考
100	1	SP132	甕	土師器		(13.2)					
101	1	SD116　F1	甕	須恵器				平行			
103	1	SD131	坏	須恵器	(14.9)	7.2	3.55	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	2	SD131	坏	須恵器	(13.9)	8.6	3.05	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	RP25
	3	SD131	坏	須恵器		(7.4)		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	4	SD131	坏	須恵器		7.8		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	5	SD131	双耳坏	須恵器				ヘラケズリ、ナデ			
	6	SD131	坏	土師器		(8.0)		ロクロ	ロクロ	糸切	
	7	SD131	高台付坏	須恵器	(14.6)	(8.4)	5.1	ロクロ	ロクロ	糸切	RP4
	8	SD131	高台付坏	須恵器	(13.3)	(8.3)	4.75	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	RP19
	9	SD131	壷	須恵器				平行			RP22
	10	SD131	壷	須恵器				平行	同心円		
	11	SD131	鉢	須恵器	(40.0)			ロクロ	ロクロ		
	12	SD131	甕	須恵器				ロクロ	ロクロ		
	13	SD131	甕	須恵器				ロクロ	カキ目		
104	14	SD131	壷	須恵器				平行	同心円		
	15	SD131	甕	須恵器							
	16	SD131	甕	須恵器					平行		
	17	SD131	坏	土師器	(12.4)	7.5	5.0	ナデ、ヘラケズリ	ミガキ→黒色	木葉痕	RP20
	18	SD131	坏	土師器	11.6	7.1	5.3			木葉痕	RP22
	19	SD131	坏	土師器	(12.4)			ナデ、ヘラケズリ	ミガキ		
	20	SD131	坏	土師器				口：ナデ、体：ケズリ	ミガキ→黒色		
	21	SD131	甕	土師器	(19.0)			口：ナデ、体：ハケメ	ハケメ		
	22	SD131	高台付坏	赤焼土器		6.4				糸切→ナデ	RP25
	23	SD131	甕	赤焼土器	(11.5)			ロクロ	ロクロ		
	24	SD131	甕	土師器				ハケメ	ハケメ		
105	1	SD131	皿	木製品	14.8	9.2	16.5				RW7
	2	SD131	皿	木製品	16.2	11.1	1.2				RW23
	3	SD131	椀	木製品	16.2	8.0	4.4				RW6
	4	SD131	曲物底板	木製品	11.3	11.0	0.6				
	5	SD131	曲物底板	木製品	24.1	23.1	1.1				RW8
106	1	SX1	坏	須恵器	14.0	6.6	3.7			ヘラ切	RP3
	2	SX1	坏	須恵器		(7.0)		ロクロ	ロクロ	糸切	
	3	SK121	稜埦	須恵器				ロクロ	ロクロ		
	4	SX122	甕	須恵器				平行？	同心円		
	5	SX122	壷	須恵器		(9.0)		ハケメ	ハケメ	ハケメ調整	

3　まとめ

調査では奈良～平安時代の掘立柱建物跡、竪穴住居跡、土坑、溝跡、河川跡などを検出した。遺構分布からは遺跡の主体がA・C区及びその東側に広がり、B区は遺跡の西縁辺であることを示している。遺物は竪穴住居跡や土坑、河川跡などでまとまった土器類が出土した。以下に遺構と遺物について整理してまとめる。

本遺跡では、掘立柱建物跡を中心とした集落構成がなされ、竪穴住居跡は1棟が検出されているのみである。

掘立柱建物跡の規模は、2×2間（廂付）や2×3間の建物が主体的で、柱穴の掘り方は径0.8～1m、柱根は直径約35cmを測るなど、当該期の一般的な掘立柱建物跡と比較しても大型である。

主軸方向では、座標北から西に振れるもの（SB02～04・06・07）と、座標北から東に振れるもの（SB01・05）の大きく二つに分けられる。また、建物どうしの切り合いは、SI01→SB05で認められる。SI01の主軸方向は座標北からやや西に振れているため、主軸方向が西に振れる一群から東に振れる一群への変遷が想定される。

以上のことから、建物群は少なくとも2時期以上の変遷が考えられ、年代は出土遺物から、8世紀末～9世紀後半頃に比定される。

SD130・131河川跡はA・B区の南方に検出され、覆土から奈良～平安時代の遺物が多く出土した。また木製遺物も保存状態が良好で、多く出土している。最上層から近～現代の遺物が出土することから、最終的な埋没年代は近・現代であるが、河川として機能していたのは奈良～平安時代と考えられる。なお、本遺構は1973年頃の空撮写真では、東西に走る黒い筋として、本遺跡の範囲を超え、西に続いていることが確認できる。

遺物では、須恵器・土師器・赤焼土器などが出土している。須恵器では、坏類の底部切離しがヘラ切と糸切が混在し、ヘラ切がやや多い傾向を示す。また土師器では、平底で身が深く、体部外面にケズリ、内面にミガキ、黒色処理される坏が出土しており、いわゆる有段丸底の坏や、丸底風平底で身の浅い坏は見受けられない。また赤焼土器は、底径が小さい糸切の坏や甕などが出土した。その他、特徴的な遺物として、耳皿や風字硯、施釉陶器（3次調査）などの遺物が出土している。

これらを基として以下に奈良～平安時代の主な遺構の変遷と年代観はⅠ期：SB02～04・06・07・SI01（8世紀末～9世紀前半）、Ⅱ期：SB01・05（9世紀後半）に比定される。しかし、Ⅰ期では建物の位置的関係などから、さらに細分されることも考えられる。遺跡の性格としては、掘立柱建物跡の規模が大型であること、施釉陶器や硯、耳皿などの遺物が出土していることから、一般集落というよりは官衙に関連した集落と考えられる。

Ⅴ　吉原Ⅲ遺跡

1　遺跡の概観

(1)　調査区と層序

吉原Ⅲ遺跡の範囲は南北110m、東西140mの範囲に広がる。地目は水田、宅地で、付近の標高は121～122mを測る。平成11・12・13年度の３次にわたり発掘調査が行われ、１次調査は都市計画道路工事、２・３次調査は民間の店舗建設に伴うものである。第１次調査区をＡ区、２次調査区をＢ区、３次調査をＣ区と呼称する。

調査区のグリッドは現場調査段階でその都度、各調査区にあわせた任意のグリッドを設定したが、報告書作成にあたり公共座標をもとにグリッドを改めて設定しなおした。国土座標平面直角座標系第Ⅹ系：Ｘ＝－197,060.00、Ｙ＝― 45,260.00を原点とし、南をＳ、西をＷと表記し、そこから１ｍを最小単位とするグリッドの設定を行った。

基本層序は概ね４層に分けられた。具体的には、Ⅰ層が暗褐色土（表土、耕作土）、Ⅱ層が暗褐色粘質土（旧耕作土）、Ⅲ層が黒褐色粘質土（遺物包含層）、Ⅳ層が褐色粘質土（地山）である。Ⅰ層は現況の水田耕作土である。Ⅱ層は旧耕作土、Ⅲ層は部分的にみられる層で、耕地整理などの際に既に削平されていた。Ⅳ層が地山である。Ⅲ層下部から遺物の包蔵が認められ、遺構の検出面はⅣ層直上面であった。

(2)　遺構と遺物の分布

第２・３次調査の成果については、既に報告済み（山形市埋蔵文化財調査報告書第11集・山形市埋蔵文化財調査年報－平成13年度－）のため、本書においては、第１次調査の成果について報告する。

調査で検出された主な遺構は、奈良～平安時代の掘立柱建物跡11棟、土坑、杭列跡、溝跡、柱穴などで、登録した数は70を超える。

掘立柱建物跡11棟はいずれも南北方向で、主軸方向から少なくとも２時期以上の変遷が認められる。

杭列跡はＡ区西半・Ｂ区で検出された。南北に伸びる杭列跡で、北側はＳＤ37に切られ、全体の規模は不明であるが、少なくとも南北25m以上を測る。Ｂ区で、西に向かって屈曲することが確認された。掘立柱建物跡と主軸方向を同じくすることから、建物跡を区画する施設と考えられる。

土坑は掘立柱建物跡の周辺に検出され、土器などの遺物が多く出土している。

ＳＤ24溝跡はＡ、Ｂ区で検出された。北東から南西に伸びる溝跡で、覆土の状況などから自然の小河川と考えられる。確認面からの深さは浅いものの、遺物が多く出土した。

遺物はおもに土坑や溝跡から出土した。土器が大半で、須恵器蓋や坏、土師器坏・鉢などが出土し、墨書土器なども出土している。時期的には、奈良時代後葉～平安時代前半の８世紀後葉～９世紀前半があてられる。

その他、近世以降の遺構として、ＳＤ37が検出され、近世の陶磁器などが出土している。

以上のことから、本遺跡の主体である奈良～平安時代の集落は、Ａ区を中心に広がっており、南側にいくにつれ、遺構と遺物の分布は希薄となる様相が窺える。

2　検出された遺構と遺物

(1)　掘立柱建物跡

第1次調査で、掘立柱建物跡として確認できたものは11棟である。この他にも多くの小ピットを検出したが、積極的に建物跡とするまでに至らなかった。

内訳は2×4間（廂付）が1棟、2×3間が2棟（内廂付1棟）、2×2間が2棟（内総柱1棟）、2×1間が2棟、調査区外に伸びるなどの理由から規模不明なものが4棟である。

建物の主軸方向は南北方向を基調とし、その大半が長軸を南北にもつ。主軸方位は座標北を向くもの（SB8・9・10・11）、座標北に対し西に振れるもの（SB1・2・4・5・6・7）と、座標北に対し東に振れるもの（SB3）と大きく三つに分けられる。

重複関係はSB4と5、SB8と10で確認され、SB10→SB8の先後関係がある。以下に各建物跡について概述する。

SB1（第108図）

規模　調査区東半部に位置する。梁行3.4m、桁行3.7mを測る2×1間規模の南北棟の建物跡である。柱間は梁行が1.6～1.7m、桁行が3.7mを測る。

主軸方向　N－7°－W

柱穴　掘り方は平面形が円形で、径25～30cmを測る。確認面からの深さは18～30cmを測る。

出土遺物　遺物は出土していない。

SB2（第109・110図）

規模　SB1の西に位置し、梁行7.0m、桁行8.6mを測る2×4間の母屋に東面に廂が付く南北棟の建物跡である。柱間は梁行が2.6～2.7m、桁行が2.0～2.2mを測る。

主軸方向　N－6°－W

柱穴　掘り方は平面形が隅丸方形で、長軸74～100cm、短軸60～80cmを測る。確認面からの深さは26～56cmを測る。断面形は、側壁が一部オーバーハングして掘り込まれる。廂部分の柱穴は母屋部分の柱穴に比べ、小型で、確認面からの深さも浅い。EB11、12では礎板が遺存していた。礎板は長さ27cm、幅が22cm、厚さが約6cmを測る。

出土遺物　遺物は出土していない。

SB3（第111・112図）

規模　SB2の南に位置する。梁行2.4m、桁行2.5mを測る2×2間規模の総柱の建物跡である。柱間は梁行が1.2m、桁行が1.2～1.3mを測る。

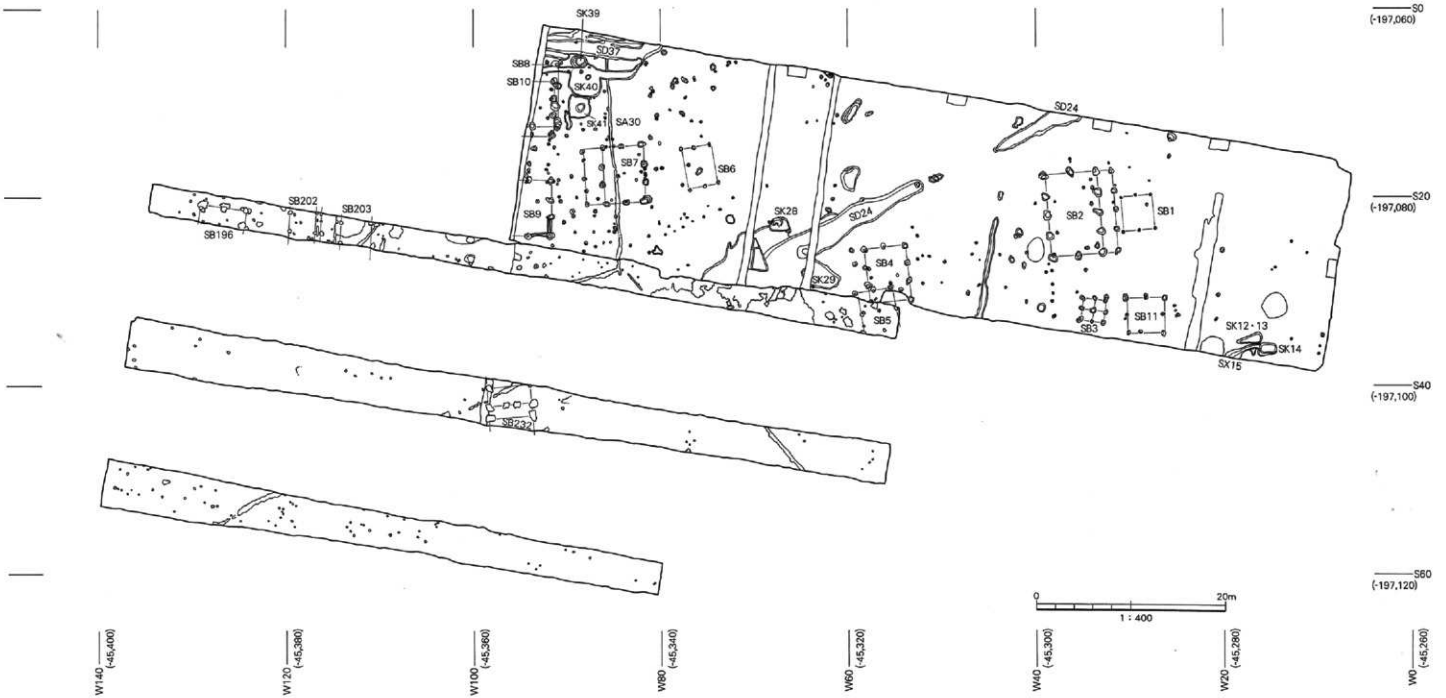
主軸方向　N－7°－E

柱穴　掘り方は平面形が円形や楕円形で、径20～70cmを測る。確認面からの深さは20～48cmを測る。断面形は側壁が一部オーバーハングする。

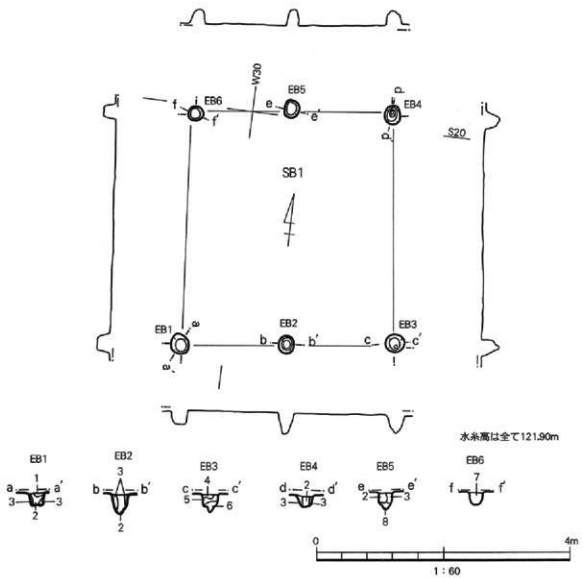
出土遺物　柱穴覆土から須恵器壺（112－1・2）が出土した。壺の肩部で、体部に内外面にハケメによる調整が施されている。他に、土師器甕が出土している。

SB4（第113図）

規模　調査区中央部に位置し、SB5と重複関係にあるが、遺構の直接的な切り合いがないため、先後関係は不明である。梁行4.6m、桁行5.7mを測る2×3間の南北棟の建物跡である。柱間は梁行が2.1～2.5m、桁行が1.8～2.0mを測る。

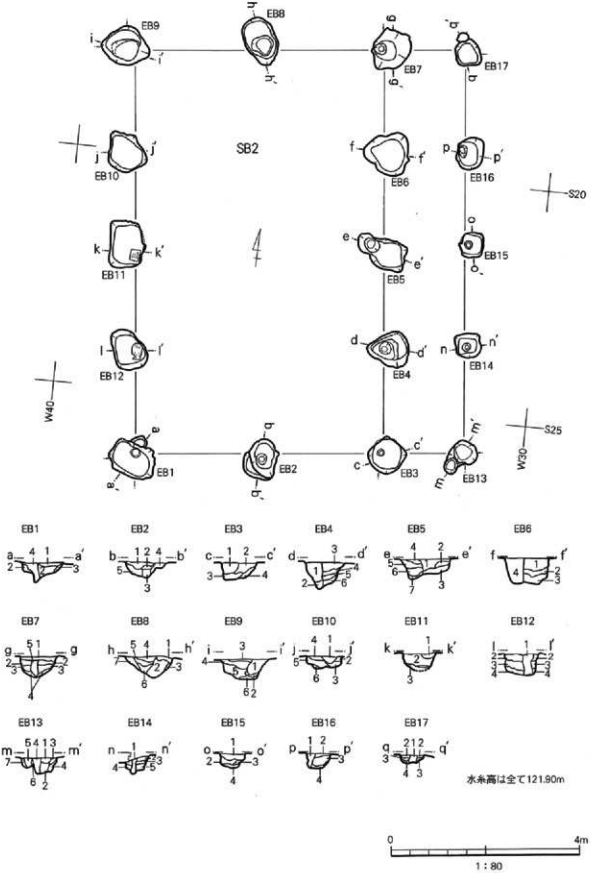


第107図　吉原Ⅲ遺跡遺構配置図



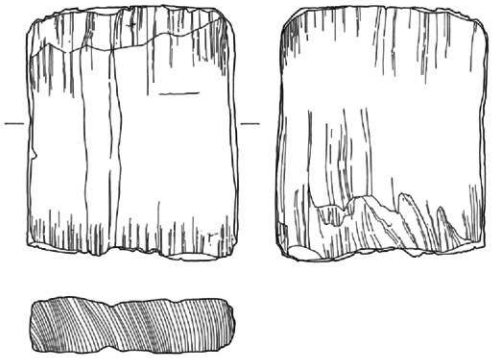
第108図　吉原Ⅲ遺跡SB1掘立柱建物跡

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SB1	1	10YR2/2　黒褐色	土	10YR5/6黄褐色土粒を少量含む。
	2	10YR2/2　黒褐色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒・同ブロックをやや多く含む。
	3	10YR4/6　褐色	粘質土	10YR2/2黒褐色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。
	4	10YR4/6　褐色	土	10YR2/2土ブロックを中程度含む。
	5	10YR2/2　黒褐色	土	やや暗い色調。ほぼ均質な層
	6	10YR2/2　黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	7	10YR2/2　黒褐色	粘質土	10YR5/4にぶい黄褐色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。炭化粒を少量含む。小礫(2～3mm大)を含む。
	8	10YR5/4　にぶい黄褐色	粘質土	10YR2/2黒褐色粘質土粒を少量含む。

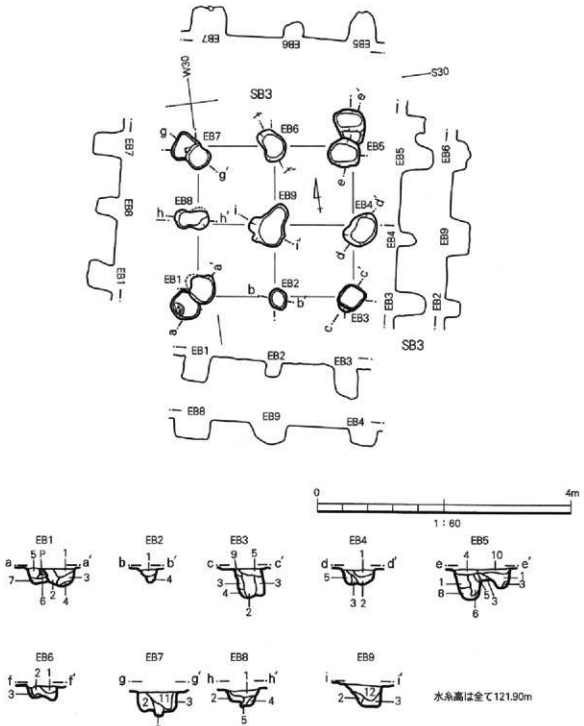


第109図　吉原Ⅲ遺跡SB2掘立柱建物跡

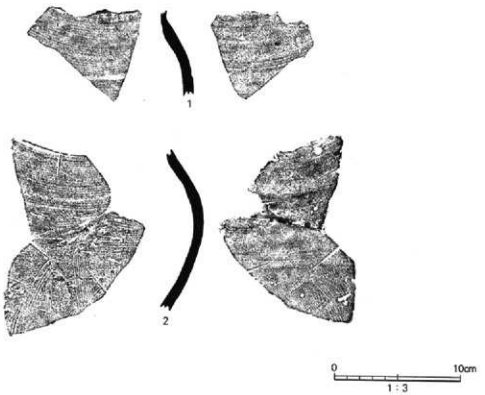
遺構番号	層位	土色		土質	備考
SB2EB1	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	10YR4/6褐色粘質土粒・同ブロックをやや多く含む。
	2	10YR2/2	黒褐色	粘質土	10YR4 /6 褐色粘質土粒・同ブロック・10YR3 /3 暗褐色粘質土粒・同ブロックを多量に含む。
	3	10YR2/2	黒褐色	粘質土	10YR4 /6 褐色粘質土粒(3~5mm)を少量含む。
	4	10YR2/1	黒色	粘質土	10YR4 /6 褐色粘質土粒・同ブロックを少量含む。炭化粒を少量含む。
SB2EB2	1				EB1 F1 と同一。
	2				EB1 F3 と同一。
	3	10YR2/1	黒色	粘質土	10YR5 /6 黄褐色粘質土粒(2~3mm大)をわずかに含む。 柱痕跡。
	4	10YR2/2	黒褐色	粘質土	10YR5 /6 黄褐色粘質土ブロックを多く含む。
	5	10YR2/1	黒色	粘質土	10YR5 /6 黄褐色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。
SB2EB3	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	2				EB1 F1 と同一。
	3	10YR4/6	褐色	粘質土	やや赤味を帯びた色調・10YR2 /1 黒色粘質土粒 (2~4mm大) を少量含む。
	4	10YR4/6	褐色	粘質土	10YR2 /1 黒色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。小礫を少量含む。
SB2EB4	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックをやや多く含む。EB1 F1 と同一→F1 F2 は柱の抜き取り痕。
	2	10YR2/1	黒色	粘質土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	3				EB2 F4 と同一。
	4	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
	5				EB3 F4 と同一。
	6	10YR4/6	褐色	粘質土	10YR2 /1 黒色粘質土粒・同ブロックをやや多く含む。
SB2EB5	1				EB1 F1 と同一。
	2				EB1 F3 と同一。
	3				EB3 F4 と同一。
	4	10YR2/2	黒褐色	粘質土	焼土ブロック・地山粒・同ブロックを中程度含む。炭化粒を少量含む。柱抜き取り痕。
	5	10YR2/2	黒褐色	粘質土	小礫を中程度含む。地山ブロックを5 より少量含む。柱抜き取り痕。
	6	10YR2/1	黒色	粘質土	地山ブロックを5 より少なく含む。小礫を少量含む。柱抜き取り痕。
	7	10YR2/1	黒色	粘質土	地山粒・同ブロックをやや多く含む。柱抜き取り痕。
SB2EB6	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	EB2 F4 と同一。
	2	10YR4/6	褐色	粘質土	EB3 F4 と同一。
	3	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを1 よりやや少なく含む。
	4	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを1 よりやや多く含む。10YR2 /1 黒色粘質土ブロックを少量含む。
SB2EB7	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	10YR4 /6 褐色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。
	2	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	3	10YR2/1	黒色	粘質土	地山粒をわずかに含む。
	4	10YR5/6	黄褐	粘質土	10YR2 /2 黒褐色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。
	5	10YR2/1	黒色	粘質土	地山粒 (2~3mm大) を少量含む。3 よりやや暗い色調。柱痕跡
SB2EB8	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	10YR4 /6 褐色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。小礫やや多く含む。柱抜き取り痕。
	2	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを多く含む。柱抜き取り痕。
	3	10YR4/6	褐色	粘質土	10YR2 /2 黒褐色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。
	4	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを中程度含む (1 よりやや多い)・小礫 (2~3mm大) を含む。
	5	10YR4/6	褐色	粘質土	10YR2 /3 黒褐色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。
	6	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒 (2~6mm大)・同ブロックを少量含む。
	7	10YR5/6	黄褐色	粘質土	10YR2 /2 黒褐色粘質土粒・同ブロックを少量含む。
SB2EB9	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	10YR4 /4 褐色粘質土粒・同ブロック・10YR5 /6 黄褐色粘質土粒・同ブロックを多量に含む。小礫 (1~5mm大) を中程度含む。
	2	10YR2/1	黒色	粘質土	均一な層。 礎板の木質が腐れたもの。
	3	10YR4/6	褐色	粘質土	やや砂まじり。10YR2/2黒褐色粘質土ブロックを中程度含む。小礫をやや多く含む。
	4	10YR2/1	黒色	粘質土	10YR4 /6 褐色粘質土ブロックを少量含む。
	5	10YR4/6	褐色	粘質土	砂まじり。小礫多く含む。10YR2/1黒色粘質土粒・同ブロックを4 より少なく含む。
	6	10YR3/4	暗褐色	粘質土	砂礫・小礫まじり。10YR2/1黒色粘質土粒をわずかに含む。
SB2EB10	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	2	10YR5/6	黄褐色	粘質土	10YR2/2黒褐色粘質土ブロックを中程度含む。
	3	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
	4	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	5	10YR4/6	褐色	粘質土	10YR2/2黒褐色粘質土粒 (2~6mm大) を少量含む。
	6	10YR4/6	褐色	粘質土	砂まじり・10YR2/2黒褐色粘質土粒を少量含む。5 よりしまりがない。
SB2EB11	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒 (2~5mm大)を少量含む。
	2	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを多量に含む。
	3	10YR2/1	黒色	粘質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
SB2EB12	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロック・10YR3/4暗褐色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。小礫を中程度含む。
	2	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	3	10YR5/6	黄褐色	粘質土	10YR2/2黒褐色粘質土粒・同ブロックを少量含む。
	4	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
SB2EB13	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒 (2~4mm大)を少量含む。抜き取り痕。
	2	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロック・10YR3/4暗褐色粘質土ブロックを中程度含む。
	3	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒 (2~6mm大)を中程度含む。
	4	10YR4/6	褐色	粘質土	10YR2/2黒褐色粘質土粒・同ブロックをやや多く含む。
	5	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒を少量含む。1 より明るい色調。
	6	10YR4/6	褐色	粘質土	10YR2/2黒褐色粘質土粒を少量含む。
	7	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
SB2EB14	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	炭化粒・地山粒を少量含む。
	2	10YR4/6	褐色	粘質土	10YR2/2黒褐色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。
	3	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
	4	10YR4/6	褐色	粘質土	10YR2/2黒褐色粘質土ブロックをやや多く含む。
	5	10YR4/6	褐色	粘質土	10YR2/2黒褐色粘質土ブロックを少量含む。
SB2EB15	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを多く含む。EB12F2と同一。炭化粒を少量含む。
	2	10YR5/6	黄褐色	粘質土	10YR2/2黒褐色粘質土粒・同ブロックを少量含む。
	3	10YR2/2	黒褐色	粘質土	やや暗い色調。地山粒・同ブロックを少量含む。
	4	10YR5/6	黄褐色	粘質土	小礫まじり。10YR2/2黒褐色粘質土ブロックをわずかに含む。
SB2EB16	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒 (2~6mm大) を少量含む。抜き取り痕。
	2	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。小礫をやや多く含む。
	3	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	4	10YR4/6	褐色	粘質土	10YR2/2黒褐色粘質土粒を少量含む。
SB2EB17	1	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	2	10YR2/2	黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
	3	10YR5/6	黄褐色	粘質土	10YR2/2黒褐色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。
	4	10YR4/6	褐色	粘質土	10YR2/2黒褐色粘質土粒をわずかに含む。



第110図　吉原Ⅲ遺跡SB2出土礎板

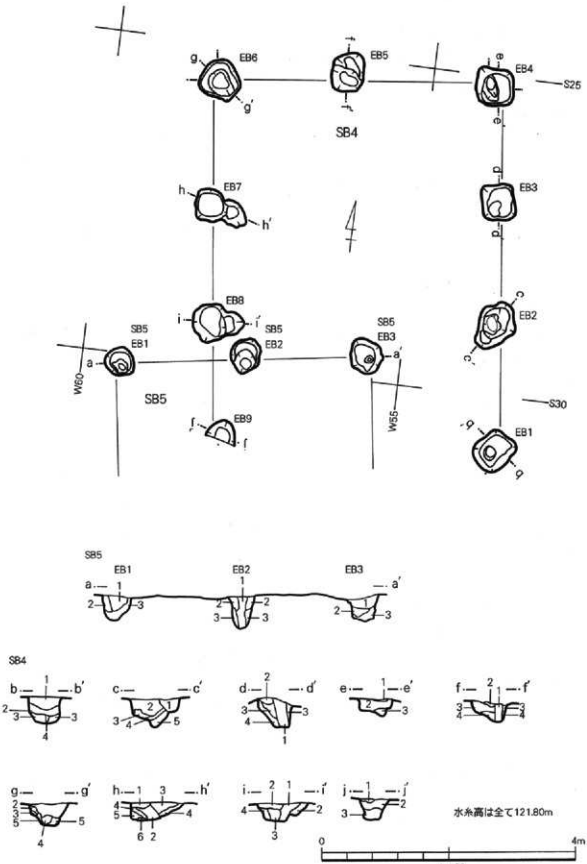


第111図　吉原Ⅲ遺跡SB3掘立柱建物跡



第112図　吉原Ⅲ遺跡SB3出土土器

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SB3	1	10YR2/1　黒色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒（2～6mm大）を中程度含む。
	2	10YR2/1　黒色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒・同ブロックをやや多く含む。
	3	10YR2/1　黒色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒・同ブロックを多量に含む。
	4	10YR5/4　にぶい黄褐色	粘質土	10YR2/1黒色粘質土粒を少量含む。
	5	10YR2/1　黒色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒（2～5mm大）を中程度含む。
	6	10YR2/1　黒色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。土器片を含む。
	7	10YR3/4　暗褐色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒・10YR2/1黒色粘質土粒を中程度含む。
	8	10YR4/6　褐色	粘質土	10YR2/1黒色粘質土粒を少量含む。
	9	10YR4/6　褐色	粘質土	10YR2/1　黒色粘質土粒を少量含む。炭化粒を少量含む。
	10	10YR2/1　黒色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒を少量含む。
	11	10YR2/1　黒色	粘質土	焼土粒をわずかに含む。10YR5/6黄褐色粘質土粒・同ブロックをやや多く含む。
	12	10YR2/1　黒色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒（2～3mm大）を少量含む。炭化粒・焼土粒を含む。



第113図　吉原Ⅲ遺跡SB4・5掘立柱建物跡